KONICA MINOLTA

仕分け名人 V2.2

ユーザーズガイド

FAX 連携版

The Sorting Expert
仕分け名人 V2

はじめに

本書の目的

本書は、「仕分け名人 V2.2（FAX 連携版）」の詳細な操作・設定ガイドです。
仕分け名人の主な機能を目的別に掲載すると同時に、設定内容の詳細について説明します。

本書の対象

本書は、「仕分け名人 V2.2（FAX 連携版）」の設定を行うユーザーや仕分けの管理者を対象にしています。
ご使用のシステム環境やネットワークの設定について、全般的な知識があることを前提としています。

マニュアル体系（本書の位置づけ）

「仕分け名人」には、以下のガイドが含まれています。

ガイド名称	説明
インストールガイド	仕分け名人および受信アプリケーションのインストール方法について説明します。 このガイドは、ダウンロード後のプログラムフォルダーに含まれています。
クイックガイド	インストール後の設定方法と、簡単な操作の手引きを説明します。 このガイドは、仕分け名人をインストールするとスタートメニューに登録されます。
ユーザーズガイド（本書）	仕分け名人および、仕分け名人受信アプリケーションの設定・操作の詳細な説明書です。 このガイドは、仕分け名人をインストールするとスタートメニューに登録されます。

商標について

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、bizhub、仕分け名人はコニカミノルタの登録商標です。
Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Intel およびPentiumはアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標です。
その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

表記について

本書では、取り扱い上の制限や注意などの説明に、下記のマークを使用しています。

注意

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

参考

操作の参考となることや補足説明が書かれています。

画面について

本書に表示されている画面の内容と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

注意事項

お使いの装置や設定、Windows のバージョンによっては、本書の一部またはすべての内容を、無断で複製したり、他言語に翻訳したり、引用したりすることは固くお断りします。また、本書の内容については予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

目次

第１章　本製品について 1
1.1 ソフトウェア構成 2
第２章　操作の流れ 3
第３章　準備 4
3.1 PC の設定を確認する 4
ファイアウォールの例外プログラムの確認 4
仕分け名人が使用するポート番号の確認 4
3.2 複合機の設定情報を確認する 6
管理者パスワードの確認 6
複合機の IP アドレスの確認 6
OpenAPI のアクセス設定 7
SSL 使用の確認 7
ソケットの設定確認 10
DNS ドメイン設定の確認 11
DNS サーバー設定の確認 11
複合機が名前解決を行えるかの確認 12
文書保持設定 13
3.3 仕分け名人を起動する 14
仕分け名人設定アプリケーションを起動する 14
タスクトレイの操作（右クリックメニューの機能） 15
仕分け名人サービス監視機能 16
第４章　メイン画面からの仕分け設定 17
4.1 仕分けスキャンを設定する 18
4.1.1 複合機を登録する 19
4.1.2 複合機に表示する書類ボタンを設定する 26
4.1.3 スキャンファイルのリネームルールを設定する 30
4.1.4 スキャンファイルの仕分け先を設定する 38
4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する 44
4.1.6 仕分けスキャン設定を終了する 55
4.2 BOX スキャンを設定する 56
4.2.1 複合機を登録する 57
4.2.2 BOX を設定する 60
4.2.3 BOX 内ファイルのリネームルールを設定する 65

4.2.4 BOX 内ファイルの仕分け先を設定する 72
4.2.5 BOX 内ファイル仕分け終了時のお知らせ先を設定する 73
4.2.6 BOX スキャン設定を終了する 75
4.3 フォルダー監視を設定する 76
4.3.1 監視フォルダーを設定する 77
4.3.2 監視フォルダー内ファイルのリネームルールを設定する 79
4.3.3 監視フォルダー内ファイルの仕分け先を設定する 82
4.3.4 監視フォルダー内ファイル仕分け終了時のお知らせ先を設定する 83
4.3.5 フォルダー監視設定を終了する 84
4.4 ファクス転送を設定する 85
4.4.1 複合機を登録する 86
4.4.2 ファクス転送用リネームルールを設定する 93
4.4.3 ファクス転送用仕分け先を設定する 100
4.4.4 ファクス転送用仕分け終了時のお知らせ先を設定する 101
4.4.5 ファクス転送設定を終了する 103
4.5 BOX 転送（TSI）を設定する 104
4.5.1 複合機を登録する 105
4.5.2 BOX を設定する 106
4.5.3 BOX 内ファクスデータのリネームルールを設定する 108
4.5.4 BOX 内ファクスデータの仕分け先を設定する 110
4.5.5 BOX 内ファクスデータ仕分け終了時のお知らせ先を設定する 112
4.5.6 BOX 転送（TSI）設定を終了する 114
4.6 アドレス帳を設定する 115
4.7 仕分けを開始・停止する 117
4.8 設定の変更を反映する 120
第 5 章　メニューバーからの設定 123
5.1 全設定データをインポート／エクスポートする 124
5.2 アドレス帳をインポート／エクスポートする 127
5.3 ログ一覧を確認する 130
5.4 通信設定を行う 134
5.5 複合機のパネル表示を設定する 135
5.6 アイコンを設定する 136
5.7 パネル文言を設定する 137
5.8 FTP サーバーを設定する 139
5.9 ログ情報を設定する 140
5.10 バックアップを設定する 141
5.11 通知グループの上限を設定する 143
5.12 メールサーバーを設定する 144

5.13 複合機に登録されている仕分け名人を削除する 145
5.14 BOX スキャンの環境設定を行う 146
5.15 バージョン情報を確認する 147
第 6 章　オペレーターの操作 150
6.1 複合機で仕分け名人を使ってスキャンする 150
6.2 新着通知を確認する 159
6.2.1 ポップアップ画面の操作 159
6.2.2 タスクトレイの操作 161
付録 A　トラブルシューティング 166
A.1 こんな時には 167
A.2 仕分け名人アプリケーションでのエラーメッセージ 175
A.3 複合機のパネルに表示されるエラーメッセージ 177
付録 B　その他の設定 179
B.1 管理者権限を持つユーザーを確認する（Windows） 180
B.2 仕分け名人サービス用のユーザーを作成する（Windows） 181
B.3 仕分け名人サービスにログオンアカウントを設定する（Windows） 184
B.4 ファイアウォールの設定変更（Windows） 187
B.5 仕分け名人アプリケーションが使用するポート番号を変更する（仕分け名人） 191
B.5.1 KonicaMinoltaFTP.exe が使用するポート(21)の変更 191
B.5.2 ScanMfpPanelManager.exe が使用するポート(50002)の変更 192
B.5.3 SortManager.exe が使用するポート(50004)の変更 193
B.6 宛先確認機能の設定を無効にする（複合機） 194
B.7 複合機の受信ファクス転送先フォルダーを設定する（複合機） 195
B.8 仕分け名人サービスの遅延開始を設定する 199
付録 C　用語集 200

第１章　本製品について

「仕分け名人」（FAX 連携版）は、複合機でスキャンしたファイルの転送先フォルダーを、複合機パネル上で指定できるようにするシステムです。転送するスキャンファイルのリネームも行います。また、任意のフォルダーを監視対象フォルダーとして設定することにより、複合機から転送されるスキャンファイルだけでなく、監視対象フォルダーに格納されたドキュメントファイルをリネームして、別のフォルダーへ転送することができます。

仕分け名人に含まれる「仕分け名人 受信アプリケーション」は、仕分け先フォルダーにファイルが格納されたことをポップアップメッセージ表示にてお知らせするアプリケーションです。
FAX 連携版では、複合機で受信したファクスデータの仕分けを行うことができます。

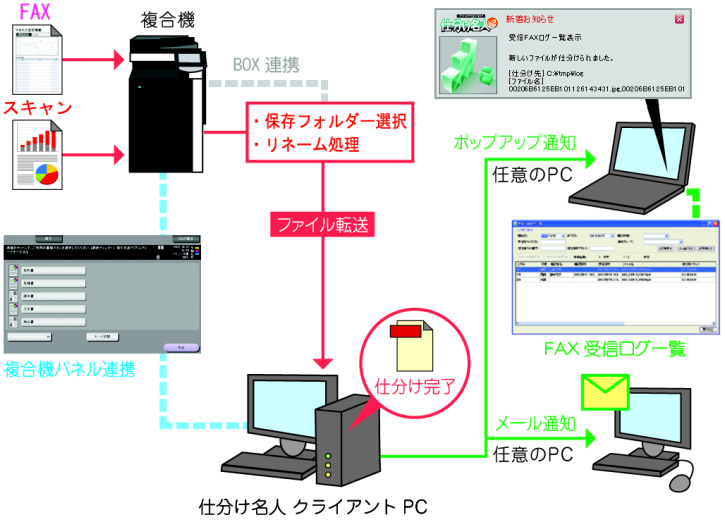
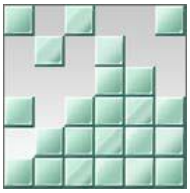


図 1.1　仕分け名人のシステム構成

クライアント PC は、本製品をインストールする PC です。
アプリケーション登録を行うと、複合機のパネルに仕分け名人のボタンが表示され、クライアント PC のフォルダーが表示されます。

1.1 ソフトウェア構成

「仕分け名人」(FAX 連携版) は、以下のソフトウェアで構成されています。

ソフトウェア名称	説明
仕分け名人 アプリケーション 	「仕分け名人設定アプリケーション」と、「仕分け名人サービス」を含むソフトウェアです。 仕分け名人設定アプリケーション 　仕分け名人の機能を使用するために、各種データを設定・変更するアプリケーションです。 仕分け名人サービス 　複合機との連携や仕分け処理を自動的に行います。
仕分け名人 受信アプリケーション 	仕分け名人であらかじめ登録した宛て先 PC で、仕分けが完了した通知を受信し、ポップアップメッセージを表示してお知らせするソフトウェアです。

第 2 章　操作の流れ

インストールした仕分け名人を使用するための設定・操作の流れを以下に示します。二重線で囲んだ設定は、該当する機能を使用する場合に行ってください。

■ PC の設定を確認する　⇒　「3.1 PC の設定を確認する」(4 ページ)

仕分け名人をインストールした PC で、ファイアフォールの設定やポート番号を確認します。

■ 複合機設定情報を確認する　⇒「3.2 複合機の設定情報を確認する」(6 ページ)

使用する複合機の管理者パスワード、IP アドレスなどを確認します。

■ 仕分け名人のメイン画面を表示する　⇒「3.3 仕分け名人を起動する」(14 ページ)

タスクバーのアイコンから仕分け名人のメイン画面を表示します。

■ 仕分けスキャンを設定する　⇒「4.1 仕分けスキャンを設定する」(18 ページ)

複合機へのアプリケーション登録、書類ボタン設定、リネームルール設定、仕分け先設定、お知らせ先設定などを行います。

■ BOX スキャンを設定する　⇒「4.2 BOX スキャンを設定する」(56 ページ)

BOX スキャンを使用する場合は、使用する複合機の登録、BOX 情報の設定、リネームルール設定、仕分け先設定、お知らせ先設定などを行います。

■ フォルダー監視を設定する　⇒「4.3 フォルダー監視を設定する」(76 ページ)

フォルダー監視を使用する場合は、監視フォルダーの設定、リネームルール設定、仕分け先設定、お知らせ先設定などを行います。

■ ファクス転送を設定する　⇒「4.4 ファクス転送を設定する」(84 ページ)

ファクス転送を使用する場合は、使用する複合機の登録、リネームルール設定、仕分け先設定、お知らせ先設定などを行います。

■ BOX 転送（TSI）を設定する　⇒「4.5 BOX 転送（TSI）を設定する」(103 ページ)

受信ファクスの番号に応じて BOX 転送する BOX 転送(TSI)を使用する場合は、複合機の登録、BOX の設定、リネームルール設定、仕分け先設定、お知らせ先設定などを行います。

■ アドレス帳を設定する　⇒「4.6 アドレス帳を設定する」(114 ページ)

アドレス帳を使用する場合は、アドレス帳にファクス番号、宛先などを登録します。

■ 仕分けの運用を開始する　⇒「4.7 仕分けを開始・停止する」(116 ページ)

仕分けの運用を開始します。

■ オペレーターが複合機を使用する　⇒「第 6 章　オペレーターの操作」(149 ページ)

複合機でスキャンした画像は仕分け名人を使用して仕分けます。

第 3 章　準備

3.1 PC の設定を確認する

仕分け名人のインストール完了後、ご使用の PC で以下を確認ください。

ファイアウォールの例外プログラムの確認

仕分け名人アプリケーションの下記プログラムは、複合機や他の PC と通信を行います。

・KonicaMinoltaFTP.exe
・ScanMfpPanelManager.exe
・SortManager.exe

これらの通信が Windows ファイアウォールでブロックされないよう、仕分け名人インストール時には上記の 3 プログラムが Windows ファイアウォールの例外プログラムとして自動的に設定されます。しかし、インストール時に Windows ファイアウォールの設定に失敗した場合や、他のファイアウォールをご使用の場合は、手動でファイアウォールの設定を変更する必要があります。
Windows ファイアウォールの設定方法については、「B.4　ファイアウォールの設定変更(Windows)」(186 ページ) を参照してください。その他のファイアウォールアプリケーションをご使用の場合は、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

仕分け名人が使用するポート番号の確認

仕分け名人に含まれる 3 つのプログラムは、複合機との通信に以下のポート番号を使用します。

プログラム	使用するポート番号
KonicaMinoltaFTP.exe （FTP サーバー）	21
ScanMfpPanelManager.exe （パネル連携アプリケーション）	50002
SortManager.exe （仕分けアプリケーション）	50004

ご使用の PC でこれらのポート番号がすでに使用されている場合、複合機との接続に失敗します。これらのポート番号が使用されていないか、以下の方法で確認してください。

使用中のポート番号を確認する方法

1. 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンド プロンプト」を選択します。
   コマンドプロンプトが起動します。
2. コマンドプロンプトで「netstat -a」と入力します。
   以下のような一覧が表示されます。

```
C:¥WINDOWS¥system32¥cmd.exe
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥sales01>netstat -a

Active Connections

  Proto  Local Address          Foreign Address        State
  TCP    sales0008:smtp         sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:http         sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:epmap        sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:https        sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:microsoft-ds sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:1028         sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:ms-sql-s     sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:3389         sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:5001         sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:8009         sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:8080         sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:netbios-ssn  sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:427          sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:1130         10.201.117.31:netbios-ssn  ESTABLISHED
  TCP    sales0008:1494         shidc01.kmjp.local:1026  ESTABLISHED
  TCP    sales0008:1501         mb06.kmjp.local:22028  ESTABLISHED
  TCP    sales0008:1502         shidc02.kmjp.local:1026  ESTABLISHED
  TCP    sales0008:1517         mb01.kmjp.local:18585  ESTABLISHED
  TCP    sales0008:2315         65.55.192.61:http      SYN_SENT
  TCP    sales0008:3017         sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:1031         sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:23000        sales0008:0            LISTENING
  TCP    sales0008:42424        sales0008:0            LISTENING
  UDP    sales0008:microsoft-ds  *:*
  UDP    sales0008:isakmp       *:*
  UDP    sales0008:1029         *:*
  UDP    sales0008:1034         *:*
  UDP    sales0008:ms-sql-m     *:*
  UDP    sales0008:1485         *:*
  UDP    sales0008:2967         *:*
  UDP    sales0008:3456         *:*
  UDP    sales0008:4500         *:*
```

使用中のポート番号

   [Proto]欄＝「TCP」、[State]欄＝「LISTENING」が現在使用中のポートです。ポート番号は[LocalAddress]欄のコロン（：）の右側の数値です。
3. 使用中のポート番号に「21」「50002」「50004」がないか確認します。
4. 上記のポート番号が使用中の場合は、「B.5　仕分け名人アプリケーションが使用するポート番号を変更する（仕分け名人）」（190 ページ）を参照して、未使用のポート番号を使用するように変更します。

3.2 複合機の設定情報を確認する

複合機に仕分け名人を登録する前に、以下の複合機の情報を確認します。アプリケーション登録の方法については「4.1 仕分けスキャンを設定する」（18 ページ）で説明します。

□管理者パスワード　※
□複合機の IP アドレス　※
□OpenAPI のアクセス設定　※
□SSL 使用　※
□ソケットの設定　※
□DNS ドメイン設定
□DNS サーバー設定
□文書保持設定　※

※必須の項目です。必ず確認してください。

注意

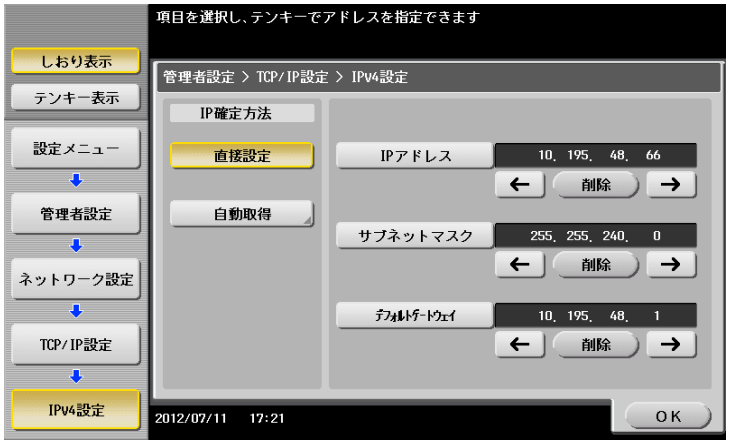
・ 複合機のネットワーク設定を変更した場合は、変更を反映させるために必ず複合機の主電源を落として再起動を行ってください。
・ 複合機の表示画面や文言は、お使いの機種によって異なります。

管理者パスワードの確認

複合機の管理者パスワードを確認します。

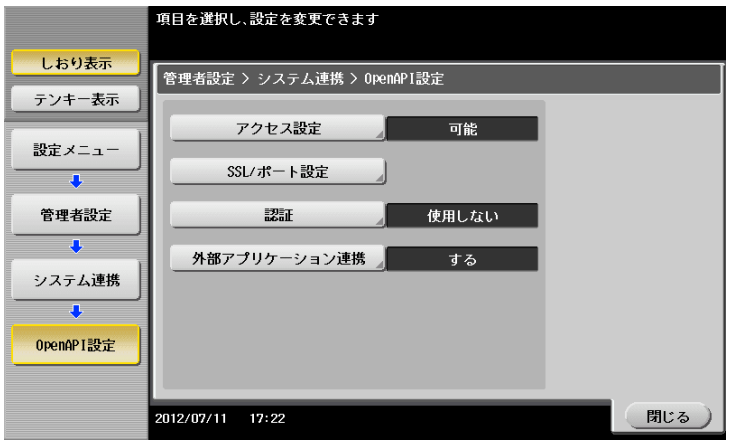
複合機の IP アドレスの確認

1. 複合機で「設定メニュー」→「管理者設定」→「管理者パスワード入力」→「ネットワーク設定」→「TCP/IP 設定」→「IP（または IPv4）設定」を選択します。
2. 「IP アドレス」欄で IP アドレスを確認します。



OpenAPI のアクセス設定

1. 複合機で「設定メニュー」→「管理者設定」→「管理者パスワード入力」→「システム連携」→「OpenAPI 設定」を選択します。
2. 「アクセス設定」欄を確認し、「不可」の場合は「可能」に変更します。



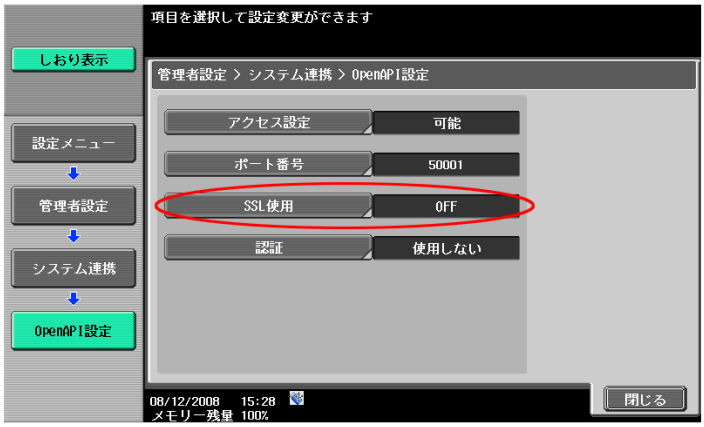
SSL 使用の確認

PC との通信に SSL を使用するかどうかを確認します。

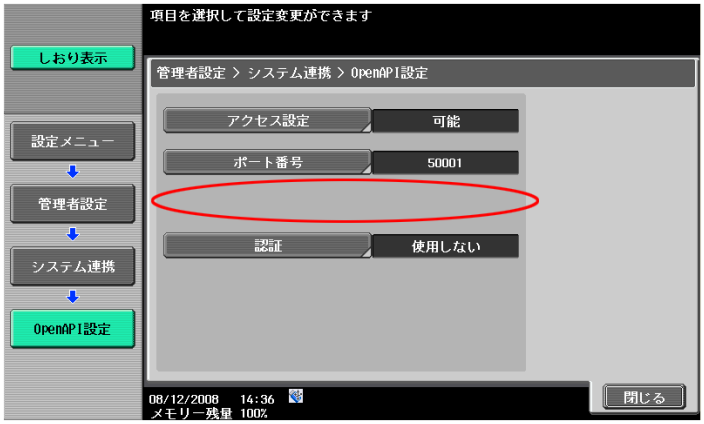
1. 複合機で「設定メニュー」→「管理者設定」→「管理者パスワード入力」→「システム連携」→「OpenAPI 設定」（→「SSL/ポート設定」）を選択します。
2. 「ポート番号」欄と「認証」欄の間の表示を確認します。お使いの機種によっては、「SSL/ポート設定」を選択します。

SSL を使用しない設定の場合

複合機が SSL を使用しない設定の場合は、「SSL 使用」欄が「OFF」になっています。



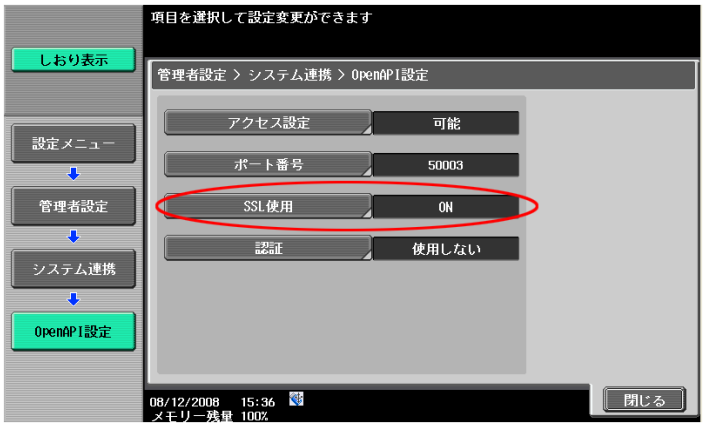
設定により、「SSL 使用」欄が表示されていない場合もあります。



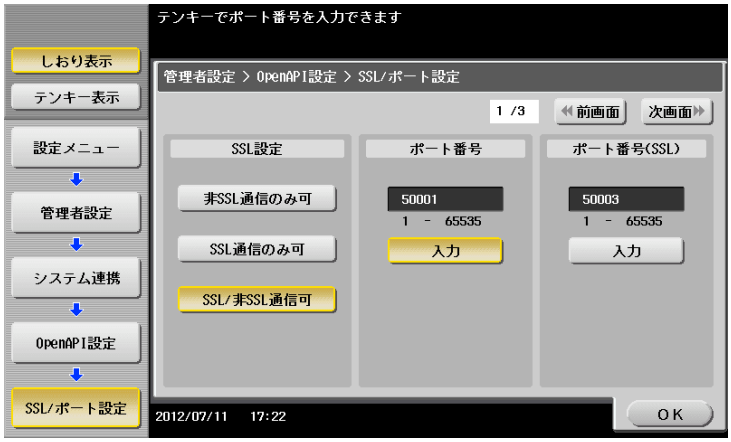
お使いの機種によっては、「OpenAPI 設定」→「SSL/ポート設定」を選択すると、ポート番号設定の表示画面のみ表示されます。

SSL を使用する設定の場合

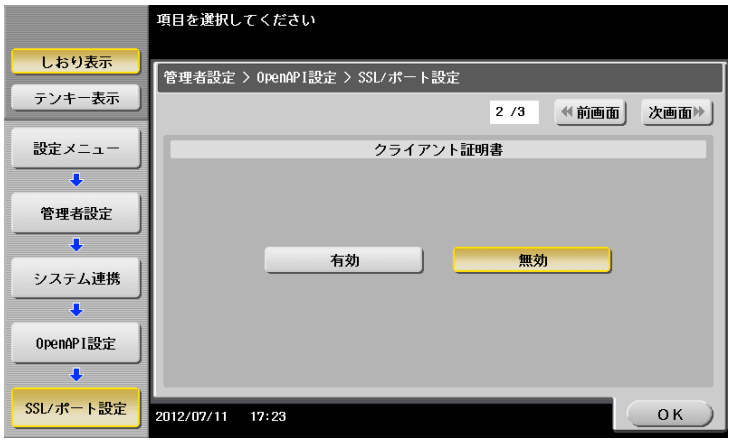
複合機が SSL を使用する設定の場合は、「SSL 使用」欄が「ON」になっています。



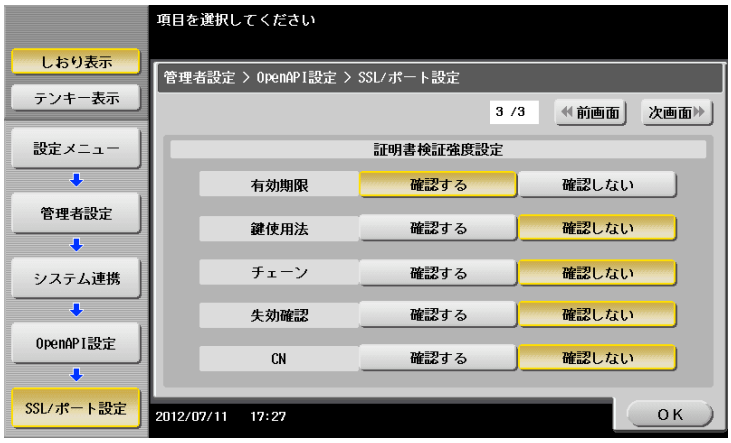
お使いの機種によっては、「OpenAPI 設定」→「SSL/ポート設定」を選択すると、SSL 設定の画面が表示されます。SSL/非 SSL 通信の選択を行い、使用するポート番号を入力します。



次画面で、クライアント証明書の有効／無効を設定します。



クライアント証明書を有効にする場合は、必要に応じて次画面で設定を行ってください。



注意

仕分け名人の SSL 設定は、複合機の SSL の設定に合わせてください。SSL 設定が一致していないと、複合機で仕分け名人が使用できません。仕分け名人での SSL 設定については、「5.4　通信設定を行う」（133 ページ）を参照してください。

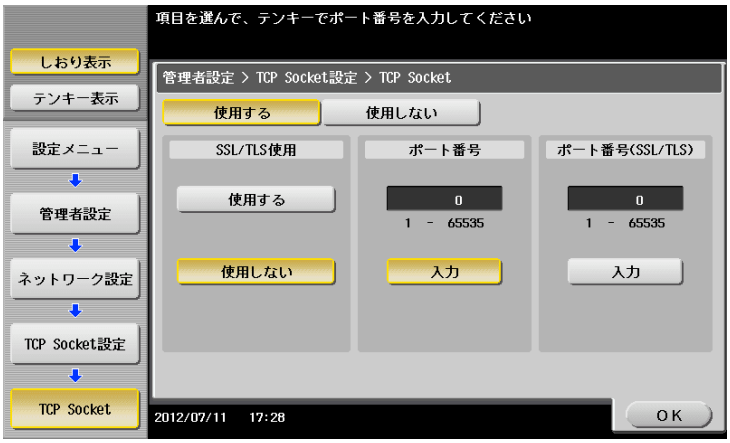
参考

OpenAPI 設定画面で「SSL 使用」欄が表示されていない場合、PageScope Web Connection を使用してセキュリティの設定をすることで表示させることができます。詳細については、複合機のマニュアルを参照してください。

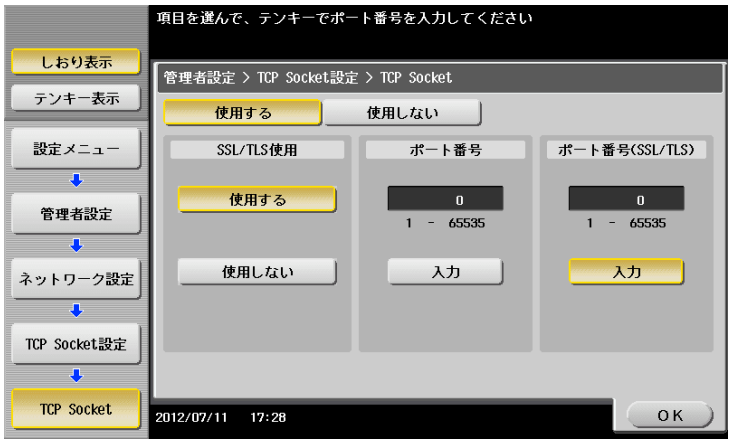
ソケットの設定確認

複合機のソケットの使用有無と、SSL/TLS の使用およびポート番号の設定を行います。BOX 機能を使用する場合、ソケットの使用が必須となります。

1. 複合機で「設定メニュー」→「管理者設定」→「管理者パスワード入力」→「ネットワーク設定」→「Tcp Socket 設定」→「Tcp Socket」を選択します。
2. Tcp Socket を「使用する」を選択します。



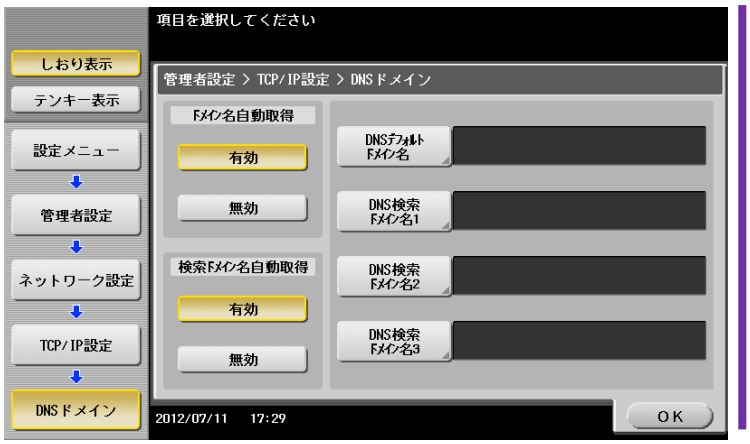
SSL/TLS を使用する場合は、必要に応じてポート番号（59158/59159）を入力します。



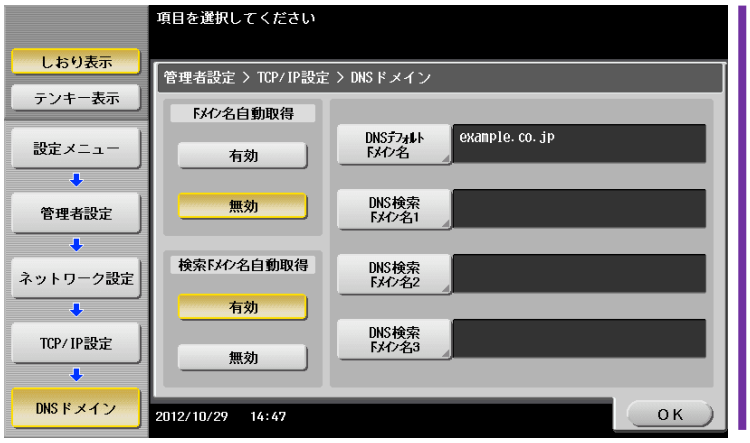
DNS ドメイン設定の確認

複合機の DNS ドメイン設定を、ご使用のネットワーク環境（LAN または WAN）の設定に合わせます。ネットワーク環境の DNS ドメイン設定については事前にネットワーク管理者に問い合わせてください。

1. 複合機で「設定メニュー」→「管理者設定」→「管理者パスワード入力」→「ネットワーク設定」→「TCP/IP 設定」→「DNS ドメイン」を選択します。
2. ネットワーク環境に合わせ、「ドメイン名自動取得」欄で「有効」ボタンまたは「無効」ボタンを選択します。



「無効」ボタンを選択した場合は、必要に応じて他の項目も入力してください。

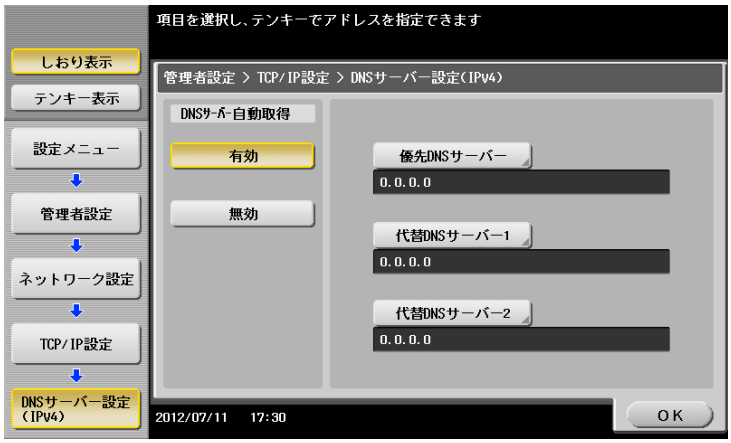


DNS サーバー設定の確認

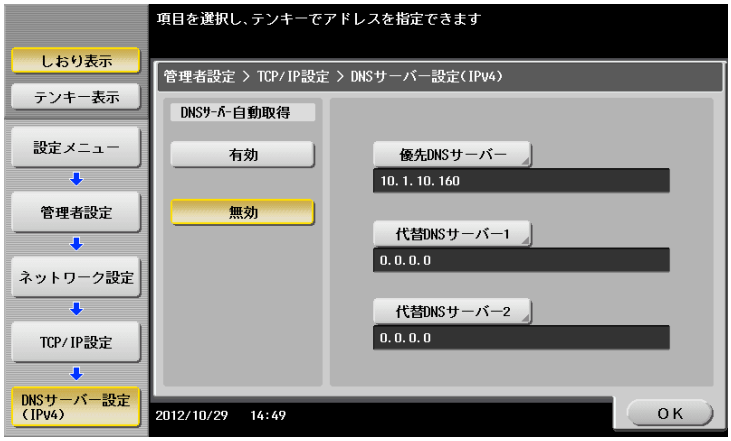
複合機の DNS サーバーの設定を、ご使用のネットワーク環境（LAN または WAN）の設定に合わせます。ネットワーク環境の DNS サーバー設定については事前にネットワーク管理者に問い合わせてください。

1. 複合機で「設定メニュー」→「管理者設定」→「管理者パスワード入力」→「ネットワーク設定」→「TCP/IP 設定」→「DNS サーバー設定（IPv4）」を選択します。
2. ネットワーク環境に合わせ、「DNS サーバー自動取得」欄で「有効」ボタンまたは「無効」ボタン

を選択します。



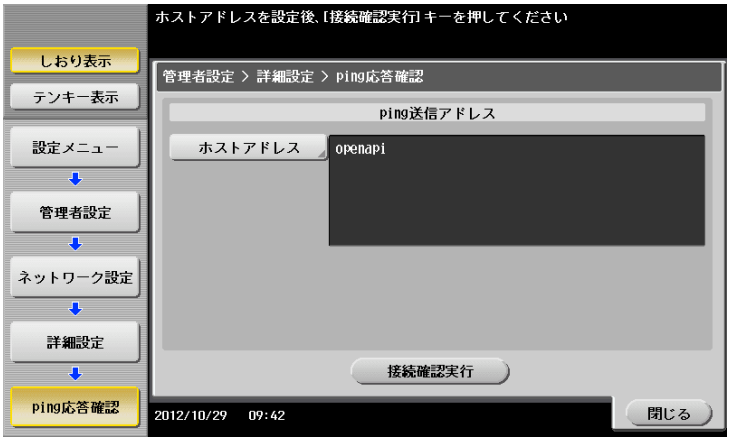
「無効」ボタンを選択した場合は、必要に応じて他の項目も入力してください。



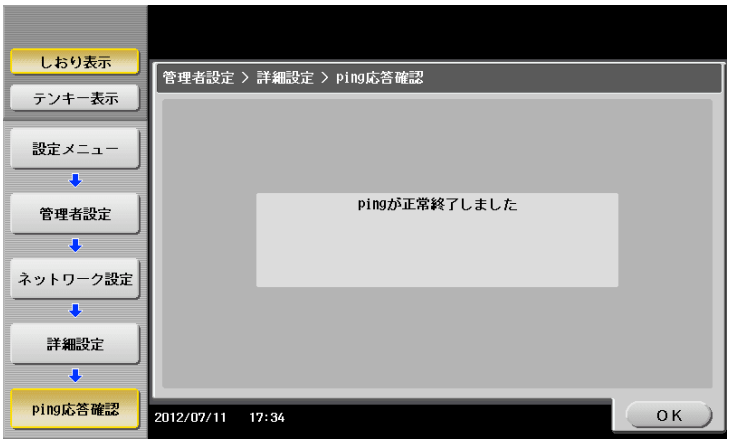
複合機が名前解決を行えるかの確認

DNS の確認が終わったら、複合機が正しく名前解決を行えるかを確認します。

1. 複合機で「設定メニュー」→「管理者設定」→「管理者パスワード入力」→「ネットワーク設定」→「詳細設定」→「ping 応答確認」を選択します。
2. 「ホストアドレス」ボタンを選択し、接続先の DNS ホスト名を入力します。
3. 「接続確認実行」ボタンを選択します。



「ping が正常終了しました」のメッセージが表示されれば、正常に名前解決が行われています。他のメッセージが表示される場合は、「3.2 複合機の設定情報を確認する」の各項目をもう一度確認してください。



参考

複合機が名前解決を行うためには、DNS サーバーの A レコードに対象の PC が登録されている必要があります。「ping が正常終了しました」のメッセージが表示されない場合は、DNS サーバーの登録内容をご確認ください。

文書保持設定

複合機の文書保持設定が「する」になっていることを確認してください。

注意

複合機の文書保持設定を「しない」にした状態で仕分け名人の BOX スキャン機能、または BOX 転送（TSI）機能を使用すると、仕分け名人が BOX 内のファイル取得に失敗し、BOX 内のデータが削除されます。

複合機の文書保持設定の設定を「しない」にしてご使用する必要がある場合は、サービスマンによる特殊な設定が必要となります。必ずサービス実施店までお問い合わせください。

複合機の出荷時の文書保持設定は「する」になっており、そのままの状態で仕分け名人を利用する場合は問題ありません。

3.3 仕分け名人を起動する

仕分け名人設定アプリケーションを起動する

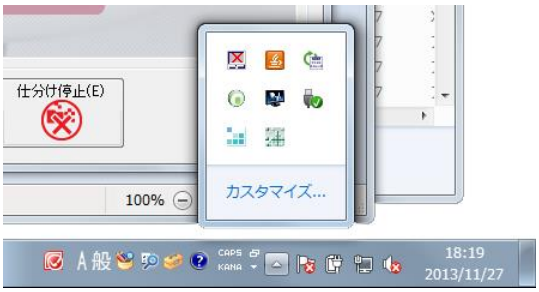
以下の手順で、仕分け名人設定アプリケーションを起動します。

Windows 7 以前の場合

Windows のスタートメニューから、「すべてのプログラム」→「KONICA MINOLTA」→「仕分け名人」→「仕分け名人 設定アプリケーション」を選択します。

仕分け名人設定アプリケーションが起動し、タスクトレイに以下のようなアイコンが表示されます。

タスクトレイにアイコンが表示されない場合は、タスクトレイの をクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。



Windows 8 の場合

スタート画面から、「仕分け名人 設定アプリケーション」のタイルをクリックします。

Windows8.1 の場合

スタート画面の左下にある をクリックして、表示されるアプリ一覧から「仕分け名人 設定アプリケーション」のアイコンをクリックします。

Windows10 の場合

スタート画面の左下にある すべてのアプリ をクリックして、表示されるアプリ一覧から「仕分け名人 設定アプリケーション」のアイコンをクリックします。

注意

すでに仕分け名人設定アプリケーションが起動しているときにアプリケーションの起動操作を行うと、エラーメッセージが表示されます。

タスクトレイの表示

タスクトレイのアイコンは、仕分け名人サービスの状態を表します。

仕分け名人設定アプリケーション

：正常に起動しています。

：停止しています。

：エラーが発生しています（複合機に仕分け名人の情報を自動登録できなかった場合に表示されます）。

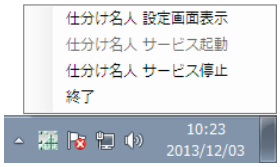
仕分け名人サービス監視機能

：仕分け名人が起動していることを検出しています。

：仕分け名人が起動していないことを検出しています。

タスクトレイの操作（右クリックメニューの機能）

タスクトレイの仕分け名人アイコン を右クリックすると、メニューが表示されます。



メニューの各項目の機能は以下のとおりです。

仕分け名人 設定画面表示：仕分け名人設定アプリケーションのメイン画面を表示します。

仕分け名人 サービス起動：仕分け名人サービスを起動します。

仕分け名人 サービス停止：仕分け名人サービスを停止します。

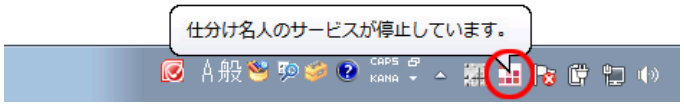
終了：仕分け名人設定アプリケーションを終了します。

仕分け名人サービス監視機能

PC 起動時にタスクトレイに常駐し、仕分け名人サービスが起動しているか監視を行います。

仕分け名人の起動中は、以下のアイコンが表示されます。

仕分け名人が起動していない場合は、アイコンが変化し、タスクトレイに以下のポップアップが表示されます。



注意

PC 起動時から仕分け名人が自動起動するまでの間は、サービス未起動のポップアップが表示されます。仕分け名人の起動タイミングの設定については、「B.8 仕分け名人サービスの遅延開始を設定する」（198 ページ）を参照してください。

第 4 章　メイン画面からの仕分け設定

本章では、仕分け名人のメイン画面から行う仕分け設定と、仕分けの開始・停止について説明します。

注意

設定の変更は、サービスを再起動することによって反映されます。設定を変更する場合は、仕分けサービスをいったん停止してから行うことをお勧めします。

仕分けサービス中に設定を変更する場合は、「4.8 設定の変更を反映する」（119 ページ）を参照してください。

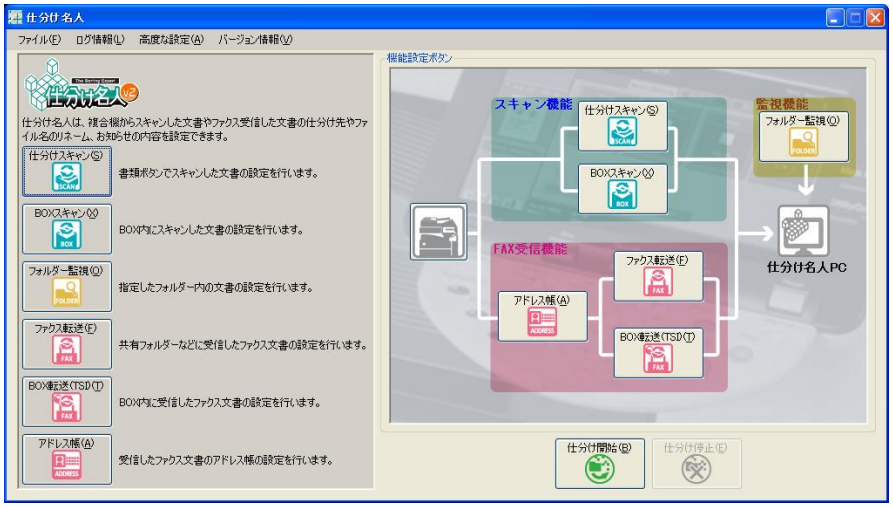


図 4.1　メイン画面

参考

各仕分け設定用のボタンは、メイン画面左段のメニューボタン一覧領域と、右段の機能設定ボタン領域の両方に 1 個ずつ配置されています。どちらを選択しても、同じ設定画面が表示されます。

「仕分けスキャン」→4.1 仕分けスキャンを設定する
「BOX スキャン」→4.2 BOX スキャンを設定する
「フォルダー監視」→4.3 フォルダー監視を設定する
「ファクス転送」→4.4 ファクス転送を設定する
「BOX 転送（TSI）」→4.5 BOX 転送（TSI）を設定する
「アドレス帳」→4.6 アドレス帳を設定する
「仕分け開始」／「仕分け停止」→4.7 仕分けを開始・停止する
「サービス起動中の設定変更」→ 4.8 設定の変更を反映する

4.1 仕分けスキャンを設定する

メイン画面で「仕分けスキャン」ボタンを選択すると、「仕分けスキャン設定」画面が表示されます。画面上部の手順設定イメージの順序に従って、仕分けスキャンの設定を行います。

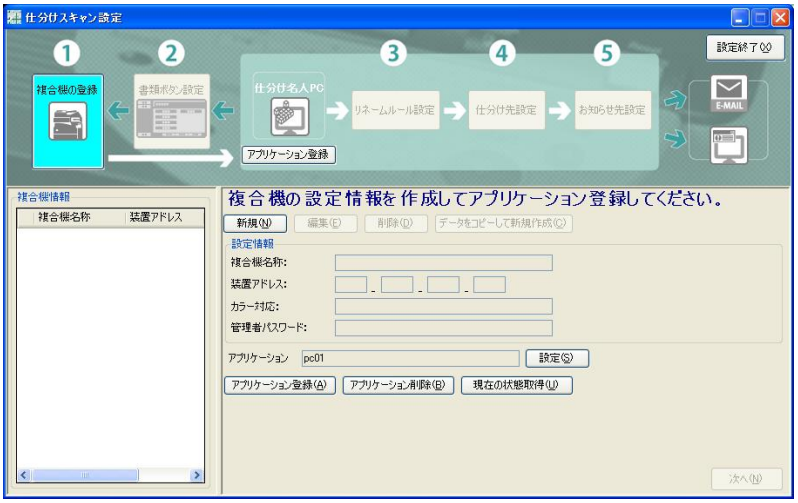


図 4.2　仕分けスキャン設定画面

参考

初回設定時は、「複合機の登録」ボタンのみが選択可能です。他のボタンは、直前の手順の設定が終了すると、順に選択可能となります。

「複合機の登録」→4.1.1 複合機を登録する

「書類ボタン設定」→4.1.2 複合機に表示する書類ボタンを設定する

「リネームルール設定」→4.1.3 スキャンファイルのリネームルールを設定する

「仕分け先設定」→4.1.4 スキャンファイルの仕分け先を設定する

「お知らせ先設定」→4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する

「設定終了」→4.1.6 仕分けスキャン設定を終了する

注意

各設定は一連の手順として扱われるため、途中で終了した場合は、それまでの設定内容が破棄されます。「複合機の登録」を開始したら、必ず「設定終了」まで手順を進めてください。

4.1.1 複合機を登録する

仕分けスキャンに使用する複合機の設定情報を作成して、対象となる複合機に仕分け名人アプリケーションを登録します。
最初に複合機固有のネットワーク設定情報を作成した後、複合機に仕分け名人アプリケーションを登録することで、対象となる複合機で仕分けスキャンが使用可能になります。

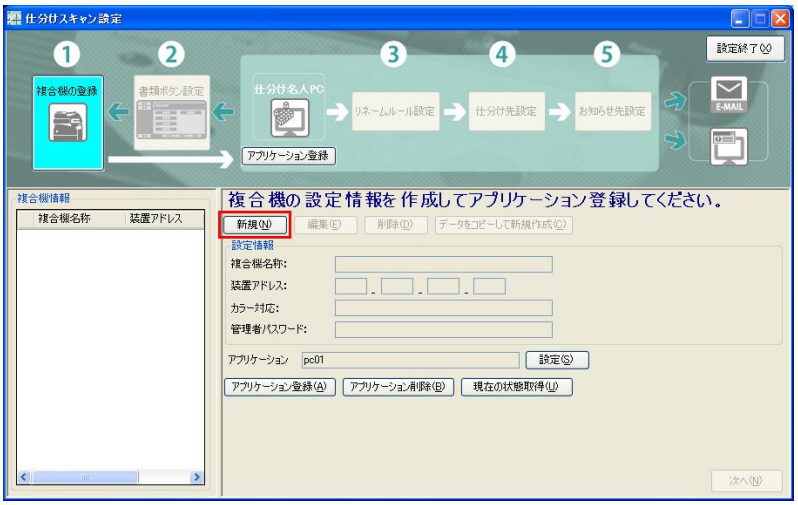
注意
登録可能な複合機は、仕分けスキャン・BOX スキャン・ファクス転送・BOX 転送(TSI)の合計で最大 10 台までになります。
また、仕分けスキャンなど 1 つの機能で登録した複合機は、BOX スキャンやファクス転送などの他の複合機登録画面の一覧にも表示されます。

①複合機の設定情報を作成する

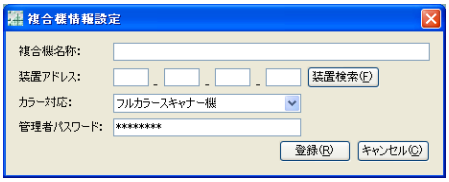
複合機名称、装置アドレス（IP アドレス）、カラー対応の有無、管理者パスワード、および複合機のパネルに表示する仕分け名人アプリケーションの名称などを設定して、複合機固有の情報を作成します。

複合機の設定情報を新規に作成する手順を説明します。

1. 仕分けスキャン設定画面で「複合機の登録」ボタンを選択します。
2. 「新規」ボタンを選択します。



3. 複合機情報設定画面が表示されますので、複合機の各種情報を入力します。



■「複合機情報設定」画面

項目名	説明
複合機名称	仕分け名人アプリケーション内で複合機を識別するための名称を設定します。
装置アドレス	複合機の IP アドレスを設定します。数字のみ有効です。
「装置検索」ボタン	ネットワークに接続されている複合機を検索して、装置アドレスを自動入力する場合に選択します。 →「複合機の装置アドレスを装置検索によって取得する方法」(20 ページ)を参照
カラー対応	対象となる複合機のタイプを、プルダウンメニューから選択します。 複合機がモノクロスキャナー機の場合は、フルカラースキャナー機を指定することはできません。
管理者パスワード	対象となる複合機の管理者パスワードを設定します。 入力値は「*」で表示されます。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。エラーメッセージが表示された場合は、設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

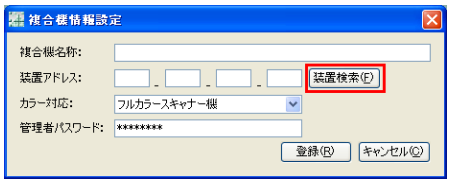
4. 「登録」ボタンを選択すると、新規に作成した複合機が仕分けスキャン設定画面の「複合機情報」部に追加されます。

→「②複合機へ仕分け名人アプリケーションを登録する」へ進む

複合機の装置アドレスを装置検索によって取得する方法

ネットワークに接続されている複合機を検索して、装置アドレスを自動入力することができます。

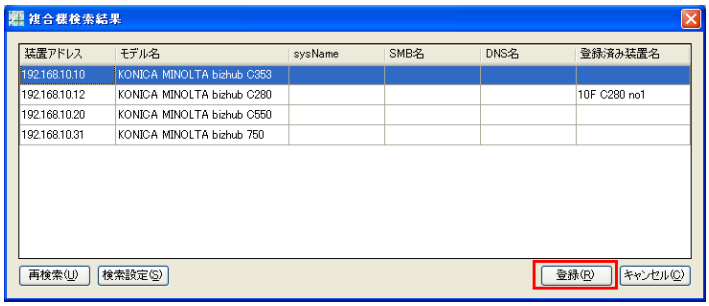
(1) ①手順 3. の複合機情報設定画面で、「装置検索」ボタンを選択します。



(2) 進歩状況画面が表示された後、複合機検索結果画面が表示されます。

注意
複合機検索結果画面が表示されない場合は、複合機の検索条件がご使用のネットワークに一致していない可能性があります。「キャンセル」ボタンを選択してください。空の複合機検索結果画面が表示されますので、手順(4)へ進んでください。

(3) 複合機検索結果画面から目的の複合機を選択した後、「登録」ボタンを選択します。
選択した複合機の IP アドレスが、複合機設定画面の装置アドレスに自動入力されます。

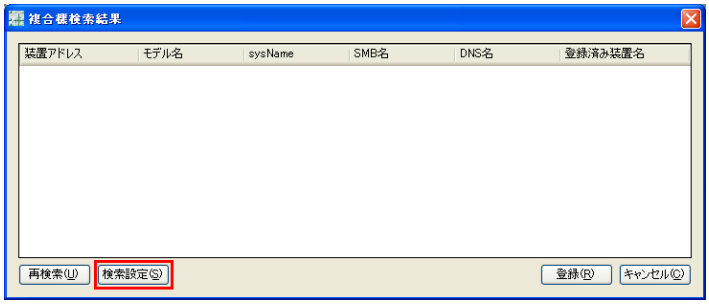


■「複合機検索結果」画面

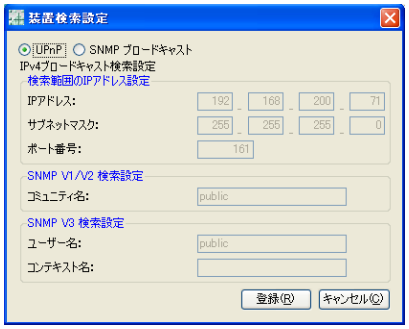
ボタン名	説明
「再検索」ボタン	複合機の検索を再度実施します。 検索条件は装置検索設定画面の設定値に依存します。
「検索設定」ボタン	装置検索設定画面を表示します。
「登録」ボタン	選択した複合機の IP アドレスを、複合機情報設定画面の装置アドレスに反映して、画面を閉じます。
「キャンセル」ボタン	検索結果を破棄して、画面を閉じます。

目的の複合機情報が表示されない場合は、次の手順(4)へ進んで検索条件を変更してください。

(4) 「複合機検索結果」画面で「検索設定」ボタンを選択します。



(5) 装置検索設定画面が表示されます。検索条件を設定する場合は「SNMP ブロードキャスト」にチェックを入れて、IPv4 ブロードキャスト検索設定の項目を入力してください。



■「装置検索設定」画面

項目名	説明
UPnP	プラグアンドプレイで自動的に検索を行います。UPnP が選択されている場合は、SNMP 検索の設定項目はグレーアウトされます。
SNMP ブロードキャスト	装置の IP アドレスやコミュニティ名・ユーザー名などを指定して検索する場合に選択します。 SNMP ブロードキャストを選択すると、IPv4 ブロードキャスト検索設定項目が指定できるようになります。
IP アドレス	SNMP 検索を行う IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	SNMP 検索を行う範囲をサブネットマスクで設定します。
ポート番号	SNMP のポート番号を設定します。 1～65535 までの数値が有効です。
コミュニティ名	SNMP のコミュニティ名を設定します。 半角 255 文字以内が有効です。
ユーザー名	SNMP V3 のディスカバリユーザー名を設定します。 半角 63 文字以内が有効です。
コンテキスト名	SNMP V3 のコンテキスト名を設定します。 半角 63 文字以内が有効です。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。エラーメッセージが表示された場合は、設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

(6) 「登録」ボタンを選択すると、設定した検索条件を保存して複合機検索結果画面に戻ります。
再検索を行ってください。
目的の複合機情報が表示されない場合は、ネットワークの状態を確認して、再度装置検索設定を行った後、再検索を行ってください。

複合機設定情報を編集する方法

作成済みの複合機設定情報を編集することができます。

(1) 仕分けスキャン設定画面で「複合機の登録」ボタンを選択します。
(2) 編集したい複合機情報を選択して、「編集」ボタンを選択します。
(3) 複合機情報設定画面が表示されたら、各種情報を編集した後に「登録」ボタンを選択します。

複合機設定情報をコピーして作成する方法

作成済みの複合機設定情報をコピーして、新規に作成することができます。

(1) 仕分けスキャン設定画面で「複合機の登録」ボタンを選択します。
(2) コピー元にしたい複合機情報を選択し、「データをコピーして新規作成」ボタンを選択します。
(3) 複合機情報設定画面が表示されますので、各種情報を編集した後、「登録」ボタンを選択します。

複合機設定情報を削除する方法

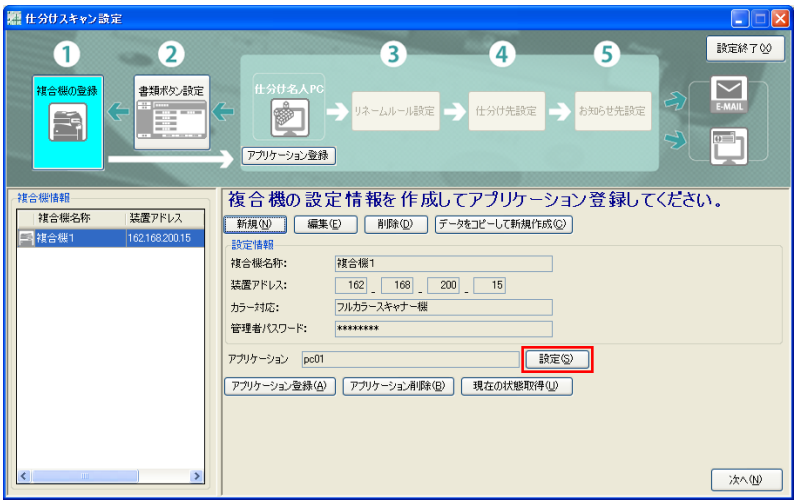
作成済みの複合機設定情報を削除することができます。

(1) 仕分けスキャン設定画面で「複合機の登録」ボタンを選択します。
(2) 削除したい複合機情報を選択して、「削除」ボタンを選択します。
(3) 選択した複合機情報が「複合機情報」部から削除されます。

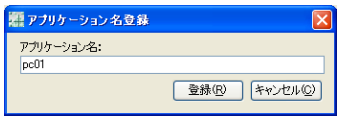
②複合機へ仕分け名人アプリケーションを登録する

複合機情報の作成が完了したら、対象となる複合機に仕分け名人アプリケーションを登録します。

1. 複合機の登録画面で、アプリケーションを登録したい複合機情報を選択して「設定」ボタンを選択します。

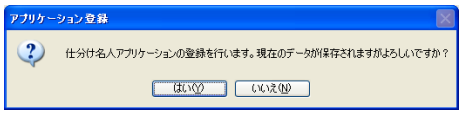


2. アプリケーション名登録画面が表示されます。アプリケーション名を入力した後、「登録」ボタンを選択します。



アプリケーション名には最大 14 文字（半角換算）の入力が可能です。初期値はホストマシン名です。

3. 登録した複合機名称を選択し、「アプリケーション登録」ボタンを選択します。
4. アプリケーション登録画面が表示されますので、「はい」ボタンを選択します。



5. アプリケーションが登録されると、選択した複合機情報の左端に表示されているアイコンが、アプリケーション未登録アイコンからアプリケーション登録済みアイコンに切り替わります。

→「4.1.2 複合機に表示する書類ボタンを設定する」へ進む

仕分け名人アプリケーションを複合機から削除する方法

複合機に登録済みの仕分け名人アプリケーションを削除します。

(1) ②手順 1. の複合機の登録画面でアプリケーションを削除したい複合機情報を選択して、「アプリケーション削除」ボタンを選択します。

(2) アプリケーション削除の確認画面が表示されますので、「はい」ボタンを選択します。

(3) アプリケーションが削除されると、選択した複合機情報の左端に表示されているアイコンが、アプリケーション登録済みアイコンからアプリケーション未登録アイコンに切り替わります。

仕分け名人アプリケーションの登録状態を確認する方法

複合機に対する仕分け名人アプリケーションの登録状態を確認することができます。

(1) ②手順 1. の複合機の登録画面で、「現在の状態取得」ボタンを選択します。

(2) 現在状態取得画面が表示されますので、「はい」ボタンを選択します。

(3) 状態取得中の画面が表示された後、複合機情報の左端に表示されているアイコンが、最新の状態に切り替わります。

4.1.2 複合機に表示する書類ボタンを設定する

複合機のパネルに表示する書類ボタンを作成します。書類ボタンには、使用目的に応じたボタン名をつけ、ファイル形式や解像度などを設定します。

最初に書類ボタンを作成し、次に作成した書類ボタンを複合機に登録することで、設定した書類ボタンが複合機に表示されるようになります。

注意

書類ボタンの設定は、複合機の登録における「複合機情報」部で、正しく登録された複合機を選択している場合に可能となります。選択した複合機の情報に不備がある場合は、書類ボタンの設定に移行することができません。複合機情報の詳細については、「4.1.1　複合機を登録する」（19 ページ）を参照してください。

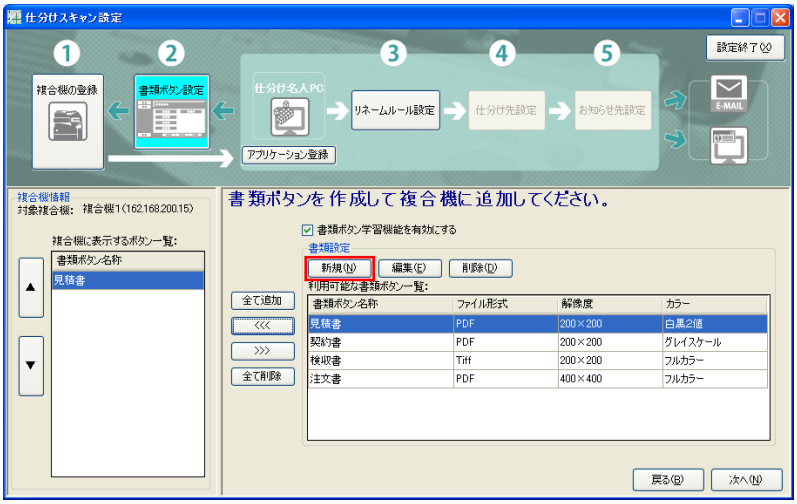
---

①書類ボタンを作成する

書類ボタンを新規に作成する手順を説明します。

書類ボタンは、仕分け名人全体で、最大 100 件まで作成できます。

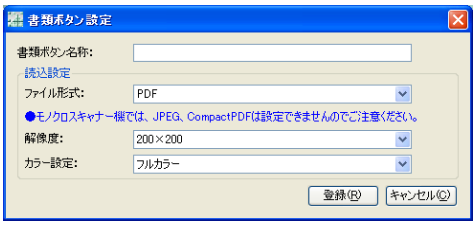
1. 仕分けスキャン設定画面で対象となる複合機を選択して、「書類ボタン設定」の手順へ進みます。
2. 「新規」ボタンを選択します。



参考

「書類ボタン学習機能を有効にする」にチェックを入れると、書類ボタンの使用頻度によって、複合機での表示順序を上下させることができます。

3.　書類ボタン設定画面が表示されます。書類ボタンの名称やファイル形式を設定します。



■「書類ボタン設定」画面

項目名	説明
書類ボタン名称	複合機のパネルに表示する書類ボタン名を設定します。
ファイル形式	スキャンした画像のデータ形式を、以下の項目から選択します。 ・PDF ・CompactPDF ・Jpeg ・Tiff
解像度	スキャンした画像の解像度を、以下の項目から選択します。 ・200×200 ・300×300 ・400×400 ・600×600
カラー設定	スキャンした画像のカラーモードを、以下の項目から選択します。 ・フルカラー ・白黒２値 ・オートカラー ・グレイスケール 複合機がモノクロスキャナー機の場合は、フルカラーとオートカラーを指定することはできません。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。エラーメッセージが表示された場合は、設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

注意
お使いの機種によっては、選択したファイル形式・解像度・カラー設定が反映されない場合があります。

4.　「登録」ボタンを選択すると、作成した書類ボタンが「利用可能な書類ボタン一覧」部に追加されます。

→「②複合機へ書類ボタンを設定する」へ進む

書類ボタンの各種情報を編集する方法

作成済みの書類ボタン情報を編集することができます。

(1) ①手順 2. の書類ボタン設定画面で、「利用可能な書類ボタン一覧」部から編集したい書類ボタンを選択して、「編集」ボタンを選択します。

(2) 書類ボタン設定画面が表示されたら、各種情報を編集した後に「登録」ボタンを選択します。

書類ボタンを削除する方法

「利用可能な書類ボタン一覧」部から作成済みの書類ボタンを削除します。

(1) ①手順 2. の書類ボタン設定画面で、「利用可能な書類ボタン一覧」部から削除したい書類ボタンを選択して、「削除」ボタンを選択します。

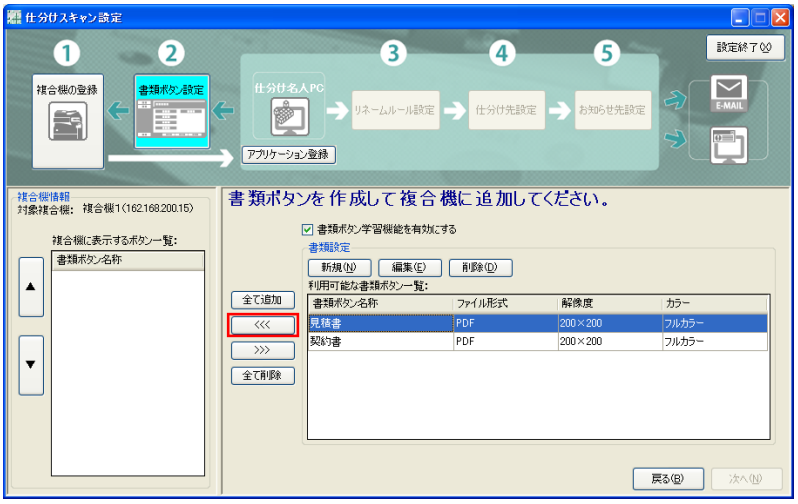
(2) 選択した書類ボタンが、「利用可能な書類ボタン一覧」部から削除されます。

②複合機へ書類ボタンを追加する

作書類ボタンの作成が終了したら、作成した書類ボタンを複合機に追加します。これによって対象となる複合機のパネルに、作成した書類ボタンが表示されます。

複合機へ書類ボタンを追加する手順を説明します。

1. 書類ボタン設定画面で、「利用可能な書類ボタン一覧」部から表示したい書類ボタンを選択して、「<<<」ボタンを選択します。



2.　「複合機に表示する書類ボタン一覧」部に、選択した書類ボタンが追加されます。

→「4.1.3 スキャンファイルのリネームルールを設定する」へ進む

複合機に書類ボタンを一括して追加する方法

「利用可能な書類ボタン一覧」部に表示されているすべての書類ボタンを、一括して複合機に追加することができます。

(1) ②手順 1. の書類ボタン設定画面で、「全て追加」ボタンを選択します。

(2) 「複合機に表示する書類ボタン一覧」部に、「利用可能な書類ボタン一覧」部に表示されているすべての書類ボタンが追加されます。

複合機に追加した書類ボタンを削除する方法

複合機に追加した書類ボタンを削除することができます。

(1) ②手順 1. の書類ボタン設定画面で、「複合機に表示する書類ボタン一覧」部から削除したい書類ボタンを選択して、「>>>」ボタンを選択します。

(2) 「複合機に表示する書類ボタン一覧」部から、選択した書類ボタンが削除されます。

複合機に追加した書類ボタンを一括して削除する方法

複合機に追加した書類ボタンを、一括して削除することができます。

(1) ②手順 1. の書類ボタン設定画面で、「全て削除」ボタンを選択します。

(2) 「複合機に表示する書類ボタン一覧」部から、すべての書類ボタンが削除されます。

複合機に追加した書類ボタンの表示順位を変更する方法

複合機に追加した書類ボタンは、「複合機に表示するボタン一覧」部の上位に表示されている順位で、複合機のパネルに表示されます。これらの表示順位を変更することができます。

(1) ②手順 1. の書類ボタン設定画面で表示順位を変更したい書類ボタンを選択し、「▲」ボタンまたは「▼」ボタンで書類ボタンの表示位置を変更します。

(2) 選択した書類ボタンの表示位置が、「▲」ボタンまたは「▼」ボタンを選択した回数だけ、上位または下位に移動します。

参考

「書類ボタン学習機能を有効にする」にチェックが入っている場合は、書類ボタンの使用頻度によって、複合機での表示順序が自動で上下します。

4.1.3 スキャンファイルのリネームルールを設定する

スキャン画像のファイル名に対するリネームルールを作成して、書類ボタンごとに適用します。
リネームルールは複数作成することが可能です。ただし、1 つの書類ボタンには 1 つのリネームルールのみ適用されます。
最初にリネームルールを作成し、書類ボタンに適用することでリネームルールが使用できるようになります。また、リネームしたファイルを自動作成フォルダーに格納することも可能です。

注意
リネームルールの設定は、書類ボタン設定における「複合機に表示する書類ボタン一覧」部に、1 個以上の書類ボタンが追加されている場合に可能となります。

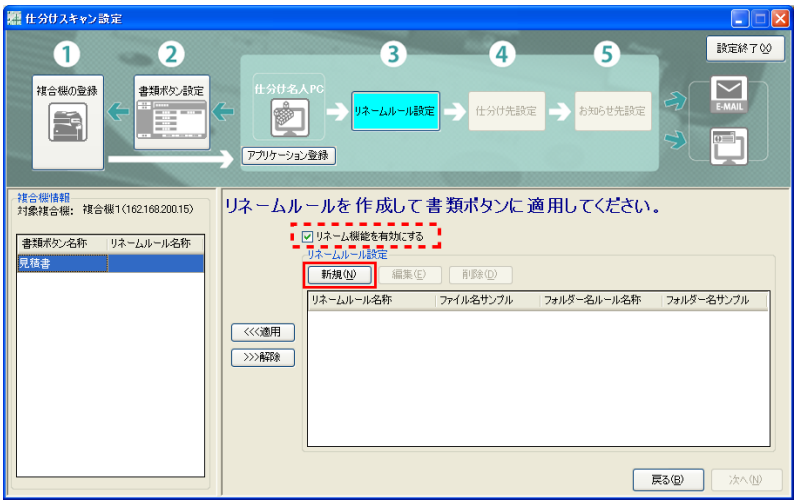
参考
書類ボタンはリネームルールを設定しないで使用することも可能です。リネームルールが設定されていない場合は、複合機で設定したファイル名で仕分けされます。書類ボタンにリネームルールを設定しない場合は、「リネーム機能を有効にする」のチェックを外して「4.1.4 スキャンファイルの仕分け先を設定する」（38 ページ）へ進んでください。

①リネームルールを作成する

リネームルールを新規に作成する手順を説明します。
リネームルールとフォルダー名リネームルールは、それぞれ最大 50 件まで、合計で 100 件まで作成できます。

1. 仕分けスキャン設定画面で対象となる複合機と書類ボタンを選択して、「リネームルール設定」の手順へ進みます。

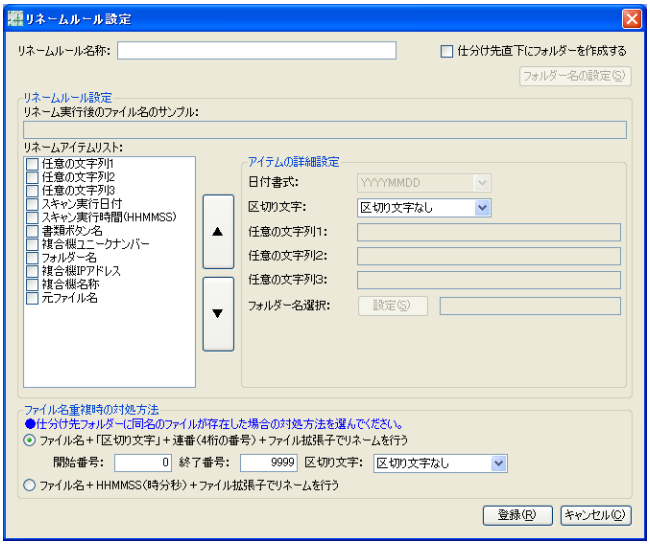
2.　「リネーム機能を有効にする」にチェックが入っていることを確認して、「新規」ボタンを選択します。



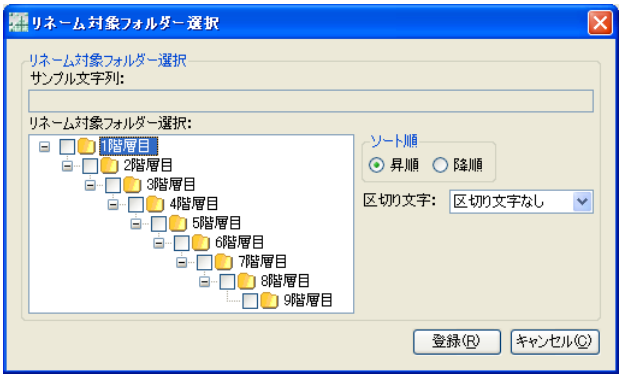
参考

最大 50 件のリネームルールが作成できます。

3.　リネームルール設定画面が表示されますので、リネームルールの各種情報を入力します。



■「リネームルール設定」画面

項目名	説明
リネームルール名称	リネームルール名を設定します。
仕分け先直下にフォルダーを作成する	仕分け先フォルダーの直下に新たなフォルダーを自動作成して、このフォルダーにスキャン画像を保存する場合に選択します。
「フォルダー名の設定」ボタン	「仕分け先直下にフォルダーを作成する」にチェックを入れると、選択可能になります。フォルダー名の作成ルールを設定することができます。
リネーム実行後のファイル名のサンプル	設定したリネームルールでサンプル文字列を表示します。
リネームアイテムリスト	リネームルールに利用するアイテムにチェックを入れます。 リネームアイテムは複数選択することが可能です。 ※注意 下記の項目をリネームアイテムとして使用する場合、各項目の文字列にファイル名禁止文字列（¥/:*?"<>|）が含まれると、ファイルが作成できません。 ファイル名禁止文字列が含まれないようにしてください。 ・書類ボタン名 ・複合機名称
「▲」「▼」ボタン	選択したリネームアイテムの適用順位を、上下に移動します。
日付書式	スキャン実行日付の表示形式を、プルダウンメニューから選択します。 リネームアイテムリストで「スキャン実行日付」を選択した場合に設定可能となります。
区切り文字	リネームアイテム間の区切り文字を、プルダウンメニューから選択します。
任意の文字列１～３	リネームに含めたい文字列を入力します。 リネームアイテムリストで「任意の文字列１～３」を選択した場合に、設定可能となります。
「設定」ボタン	リネームアイテムリストで「フォルダー名」を選択した場合に、選択可能となります。 以下の「リネーム対象フォルダー選択」画面が表示されます。  リネーム対象とするフォルダーと区切り文字を設定し、「登録」ボタンを選択します。
ファイル名重複時の対処方法	仕分け先のフォルダーに同名のファイルが存在した場合の対処方法を選択します。 ※初期値：ファイル名＋「区切り文字」＋連番（4 桁の番号）＋ファイル拡張子でリネームを行う
開始番号	ファイル名重複時の対処方法として、「ファイル名＋「区切り文字」＋連番（4 桁の番号）＋ファイル拡張子でリネームを行う」を選択した場合に、

項目名	説明
	「連番（4 桁の番号）」部の開始番号を設定します。
終了番号	ファイル名重複時の対処方法として、「ファイル名＋「区切り文字」＋連番（4 桁の番号）＋ファイル拡張子でリネームを行う」を選択した場合に、「連番（4 桁の番号）」部の終了番号を設定します。
区切り文字	ファイル名重複時の対処方法として、「ファイル名＋「区切り文字」＋連番（4 桁の番号）＋ファイル拡張子でリネームを行う」を選択した場合に、「区切り文字」部の文字をプルダウンメニューから選択します。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。エラーメッセージが表示された場合は、設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

4. 「登録」ボタンを選択すると、新規に作成したリネームルールが「リネームルール設定」部に追加されます。

→仕分け先直下に自動作成フォルダーを作成しない場合は、「④書類ボタンにリネームルールを適用する」へ進む

→仕分け先直下に自動作成フォルダーを作成する場合は、「②自動作成フォルダーのフォルダー名ルールを設定する」へ進む

リネームルールを編集する方法

作成済みのリネームルールを編集することができます。

(1) ①手順 1. で、編集したいリネームルールを選択して「編集」ボタンを選択します。

(2) 「リネームルール設定」画面で各種情報を編集した後、「登録」ボタンを選択します。

リネームルールを削除する方法

「リネームルール設定」部から作成済みのリネームルールを削除します。

(1) ①手順 1. で、削除したいリネームルールを選択して「削除」ボタンを選択します。

(2) 選択したリネームルールが削除されます。

②自動作成フォルダーのフォルダー名ルールを設定する

仕分け先フォルダーの直下に新たなフォルダーを自動作成して、このフォルダー階層にリネーム処理したスキャン画像を保存することができます。このとき作成されるフォルダーの名称作成ルールを設定します。

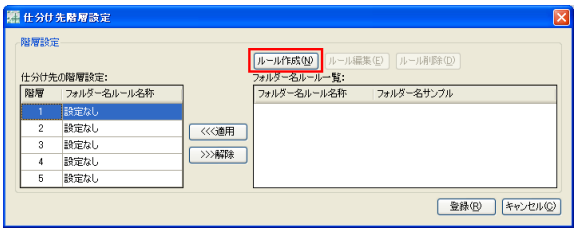
フォルダー名ルールは、仕分け先に最大５階層まで設定することができます。

注意

本設定は、パネル連携設定画面における「仕分け先ディレクトリーボタン」の設定として、「『ディレクトリー選択画面』を表示する」を選択した場合に行います。パネル連携設定画面の詳細については、「5.5 複合機のパネル表示を設定する」（134 ページ）を参照してください。

1. ①手順 3. のリネームルール設定画面で「仕分け先直下にフォルダーを作成する」にチェックを入れた後、「フォルダー名の設定」ボタンを選択します。

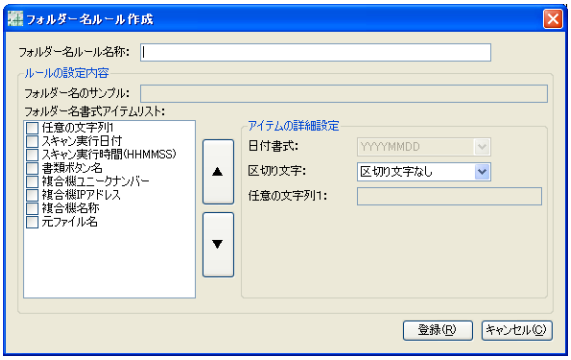
2. 仕分け先階層設定画面が表示されます。「ルール作成」ボタンを選択します。



参考

最大 50 件のフォルダー名ルールが作成できます。

3. フォルダー名ルール作成画面が表示されますので、各項目を設定します。



■「フォルダー名ルール作成」画面

項目名	説明
フォルダー名ルール名称	フォルダー名作成ルールの名称を入力します。
フォルダー名のサンプル	設定したフォルダー名ルールでサンプル文字列を表示します。 選択したフォルダーにはチェックマークが付記されます。
フォルダー名書式アイテムリスト	フォルダー名ルールに利用するアイテムにチェックを入れます。 フォルダー名書式アイテムは複数選択することが可能です。 「スキャン実行日付」、「任意の文字列 1」を選択した場合は、各アイテムの詳細を設定します。 複数のフォルダー名書式アイテムを選択した場合は、「▲」「▼」およびボタンによって、フォルダー名の適用順位を変更することが可能です。
「▲」「▼」ボタン	選択したフォルダー名書式アイテムの適用順位を、上下に移動します。
日付書式	スキャン実行日付の表示形式を、プルダウンメニューから選択します。 フォルダー名書式アイテムリストで「スキャン実行日付」を選択した場合に、設定可能となります。
区切り文字	フォルダー名書式アイテム間の区切り文字を、プルダウンメニューから選択します。
任意の文字列 1	フォルダー名に含めたい文字列を入力します。 フォルダー名書式アイテムリストで「任意の文字列 1」を選択した場合に、設定可能となります。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。エラーメッセージが表示された場合は、設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

4. 「登録」ボタンを選択すると、新規に作成したフォルダー名ルールが仕分け先階層設定画面の「フォルダー名ルール一覧」部に追加されます。

5. 「仕分け先の階層設定」部からルールを適用したい階層を選択し、設定したフォルダー名ルールを選択した状態で、「<<<適用」ボタンを選択します。

参考

複数の階層を選択して、同じフォルダー名ルールを適用することもできます。

6. 「登録」ボタンを選択すると、①手順 3. の画面に戻ります。リネームルールの作成操作を継続してください。

フォルダー名ルールを編集する方法

作成済みのフォルダー名ルールを編集することができます。

(1) ②手順 2. で「フォルダー名ルール一覧」部から編集したいフォルダー名ルールを選択して、「ルール編集」ボタンを選択します。

(2) フォルダー名ルール作成画面が表示されたら、フォルダー名ルールを編集した後に「登録」ボタンを選択します。

フォルダー名ルールを削除する方法

作成済みのフォルダー名ルールを削除します。

(1) ②手順 2. で「フォルダー名ルール一覧」部から編集したいフォルダー名ルールを選択して、「ルール削除」ボタンを選択します。

(2) 選択したフォルダー名ルールが、「フォルダー名ルール一覧」部から削除されます。

フォルダー名ルールの適用を解除する方法

作成済みのフォルダー名ルールを削除します。

(1) ②手順 2. でフォルダー名ルールが適用されている階層を選択して、「>>>解除」ボタンを選択します。

(2) 「仕分け先の階層設定」部から、適用されていたフォルダー名ルールが削除されます。

参考

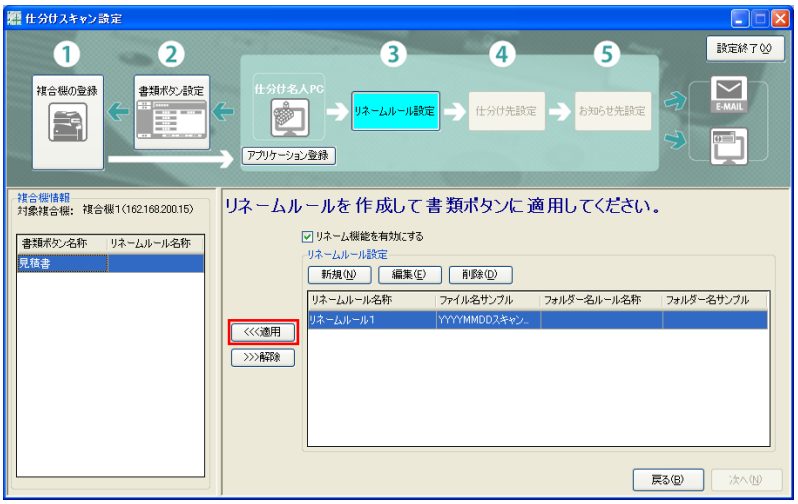
複数の階層を選択して、一度に解除することもできます。

③書類ボタンにリネームルールを適用する

リネームルールの作成が終了したら、書類ボタンごとにリネームルールを適用します。

1. 仕分けスキャン設定画面で対象となる複合機と書類ボタンを選択して、「リネームルール設定」の手順へ進みます。
2. 「リネーム機能を有効にする」にチェックが入っていることを確認して、「複合機情報」部から、リネームルールを設定したい書類ボタンを選択します。

3.　「リネームルール設定」部から適用させたいリネームルールを選択して、「<<<適用」ボタンを選択します。



4.　選択した書類ボタンの「リネームルール名称」部に、適用されたリネームルールが表示されます。

→「4.1.4 スキャンファイルの仕分け先を設定する」へ進む

書類ボタンへのリネームルール適用を解除する方法

書類ボタンに適用されているリネームルールを解除します。

(1) ④手順 3. の「複合機情報」部から、リネームルールの適用を解除したい書類ボタンを選択して、「>>>解除」ボタンを選択します。

(2) 選択した書類ボタンの「リネームルール名称」部が空欄となり、リネームルールが解除されます。

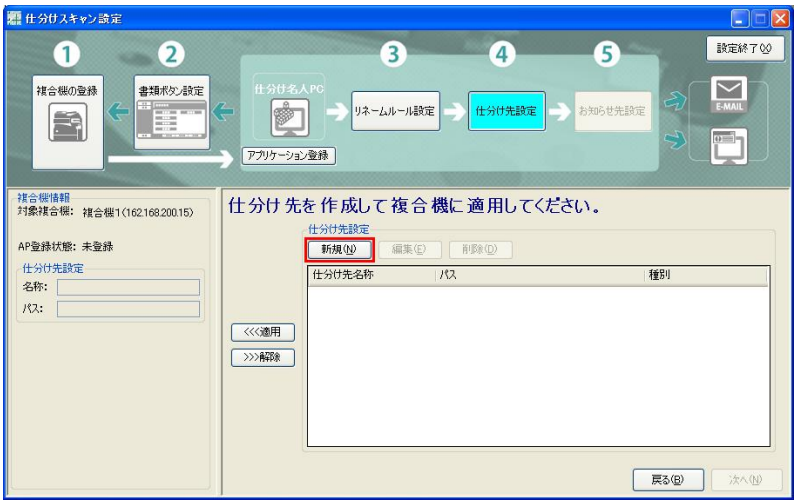
4.1.4 スキャンファイルの仕分け先を設定する

スキャン画像の仕分け先フォルダーを設定して、複合機または書類ボタンに仕分け先を登録します。
仕分け先は、ローカルフォルダー・ネットワークフォルダー・FTP の 3 種類から選択できます。
仕分け先は複数作成することが可能です。ただし、1 台の複合機または 1 つの書類ボタンには 1 つの仕分け先のみ適用されます。

①仕分け先を作成する

仕分け先をローカルフォルダーに新規作成する手順を説明します。
仕分け先は、仕分け名人全体で最大 100 件まで作成できます。また、作成した仕分け先は、すべての機能で共通で表示されます。

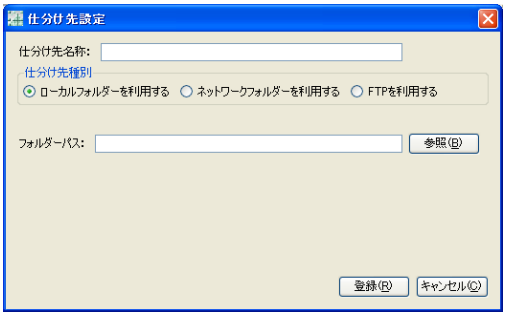
1. 仕分けスキャン設定画面で「仕分け先設定」手順に進みます。
2. 「新規」ボタンを選択します。



参考

仕分け先設定用の仕分けスキャン設定画面は、パネル連携設定画面における「仕分け先ディレクトリーボタン」の設定によって異なります。ただし「仕分け先設定」部は共通なため、ここでは「『ディレクトリー選択画面』を表示する」を選択した場合の画面例を示しています。パネル連携設定画面の詳細については、「5.5 複合機のパネル表示を設定する」（134 ページ）を参照してください。

3.　仕分け先設定画面が表示されますので、仕分け先の各種情報を入力します。



■「仕分け先設定」画面（ローカルフォルダー）

項目名	説明
仕分け先名称	仕分け先の名称を設定します。 全角／半角共に最大 30 文字まで入力できます。
ローカルフォルダーを利用する	仕分け先としてローカルフォルダーを指定する場合に選択します。 ※基本的に内蔵ハードディスクドライブを指定してください。 リムーバブルディスク(USB ディスクなど)は、特性上データの破損がしやすいことから推奨しません。
ネットワークフォルダーを利用する	仕分け先としてネットワークに接続された PC のフォルダーを指定する場合に選択します。 →「ネットワークに接続された PC に仕分け先を作成する方法」を参照
FTP を利用する	仕分け先として FTP サーバーのフォルダーを指定する場合に選択します。 →「FTP サーバーに仕分け先を作成する方法」を参照
フォルダーパス	仕分け先フォルダーのパスを設定します。
「参照」ボタン	選択するとフォルダー参照画面が表示されます。この画面で仕分け先フォルダーを選択すると､「フォルダーパス」部に自動的にパスが設定されます。フォルダー参照画面で、仕分け先に指定するフォルダーを新規作成することも可能です。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。 エラーメッセージが表示される場合は設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

4.　「登録」ボタンを選択すると、新規に作成した仕分け先が「仕分け先設定」部に追加されます。

パネル連携設定画面における「仕分け先ディレクトリーボタン」の設定として、「『ディレクトリー選択画面』を表示する」を選択した場合
→「②複合機に仕分け先を適用する」へ進む

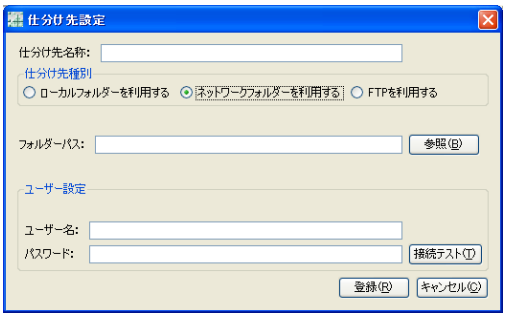
パネル連携設定画面における「仕分け先ディレクトリーボタン」の設定として、「『書類選択画面』のみ表示する」を選択した場合
→「③書類ボタンに仕分け先を適用する」へ進む

ネットワークに接続された PC に仕分け先を設定する方法

仕分け先をネットワークに接続された PC に新規作成する手順を説明します。

(1) ①手順 3. の仕分け先設定画面で「ネットワークフォルダーを利用する」を選択します。

(2) 仕分け先設定画面がネットワークフォルダー用に切り替わりますので、仕分け先の各種情報を入力します。



■「仕分け先設定」画面（ネットワークフォルダー）

項目名	説明
ユーザー名	Server Message Block (SMB)へのログインユーザー名を設定します。 最大 256 文字までの半角文字のみ有効です。
パスワード	Server Message Block (SMB)へのログインパスワードを設定します。 最大 256 文字までの半角文字のみ有効です。
「接続テスト」ボタン	設定された情報で、設定された仕分け先フォルダーに接続可能かをテストします。

参考

上記に説明のない項目はローカルフォルダー用仕分け先設定画面と共通です。詳細については、「■「仕分け先設定」画面（ローカルフォルダー）」(39 ページ)を参照してください。

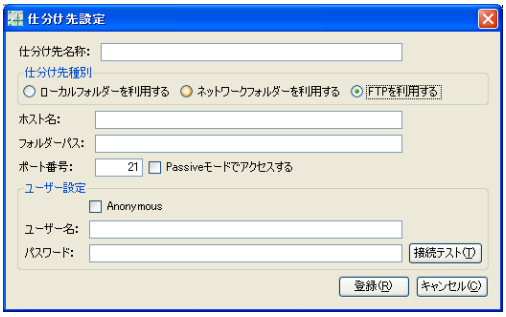
(3) 「登録」ボタンを選択すると、新規に作成した仕分け先が「仕分け先設定」部に追加されます。

FTP サーバーに仕分け先を設定する方法

仕分け先を FTP サーバーに新規作成する手順を説明します。

(1) ①手順 3. の仕分け先設定画面で「FTP を利用する」を選択します。

(2) 仕分け先設定画面が FTP 用に切り替わりますので、仕分け先の各種情報を入力します。



■「仕分け先設定」画面（FTP）

項目名	説明
ホスト名	FTP のホスト名を設定します。 最大 63 文字までの半角文字のみ有効です。
フォルダーパス	FTP の仕分け先フォルダーパスを設定します。 最大 96 文字までの全角／半角文字が有効です。
ポート番号	FTP のポート番号を設定します。 1～65535 までの半角数字のみ有効です。
Passive モードでアクセスする	FTP の接続形態として Passive モードを使用する場合にチェックを入れます。
Anonymous	FTP へのログインを匿名で行う場合に選択します。
ユーザー名	FTP へのログインユーザー名を設定します。「Anonymous」にチェックが入っている場合は設定できません。
パスワード	FTP へのログインパスワードを設定します。「Anonymous」にチェックが入っている場合は設定できません。
「接続テスト」ボタン	設定された情報で、設定された仕分け先フォルダーに接続可能かをテストします。

参考

上記に説明のない項目はローカルフォルダー用仕分け先設定画面と共通です。詳細については、「■「仕分け先設定」画面（ローカルフォルダー）」(39 ページ)を参照してください。

(3) 「登録」ボタンを選択すると、新規に作成した仕分け先が「仕分け先設定」部に追加されます。

仕分け先を編集する方法

作成済みの仕分け先を編集することができます。

(1) ①手順 2. の仕分け先設定画面で編集したい仕分け先を選択して、「編集」ボタンを選択します。

(2) 仕分け先設定画面が表示されますので、各種情報を編集した後に「登録」ボタンを選択します。

仕分け先を削除する方法

「仕分け先設定」部から作成済みの仕分け先を削除します。

(1) ①手順 2. の仕分け先設定画面で、「仕分け先設定」部から削除したい仕分け先を選択して、「削除」ボタンを選択します。

(2) 選択した仕分け先が、「仕分け先設定」部から削除されます。

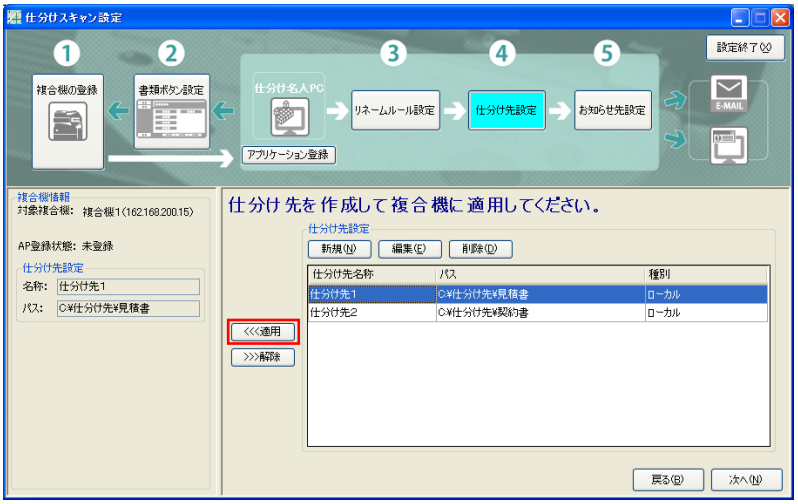
②複合機に仕分け先を適用する

仕分け先の作成が終了したら、複合機に仕分け先を適用します。

注意

本設定は、パネル連携設定画面における「仕分け先ディレクトリーボタン」の設定として、「『ディレクトリー選択画面』を表示する」を選択した場合に行います。パネル連携設定画面の詳細については、「5.5 複合機のパネル表示を設定する」(134 ページ)を参照してください。

1. 仕分けスキャン設定画面で仕分け先を設定したい複合機を選択し、「仕分け先設定」手順に進みます。
2. 「仕分け先設定」部から適用させたい仕分け先を選択し、「<<<適用」ボタンを選択します。



3.　「複合機情報」部の「仕分け先設定」部に、適用された仕分け先名称と仕分け先フォルダーへのパスが表示されます。

→「4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する」へ進む

複合機への仕分け先適用を解除する方法

複合機に適用されている仕分け先を解除します。

(1) ②手順 2. で「>>>解除」ボタンを選択します。

(2) 「複合機情報」部の「仕分け先設定」部が空欄となり、仕分け先が解除されます。

③書類ボタンに仕分け先を適用する

書類ボタンごとに仕分け先を適用する手順を説明します。

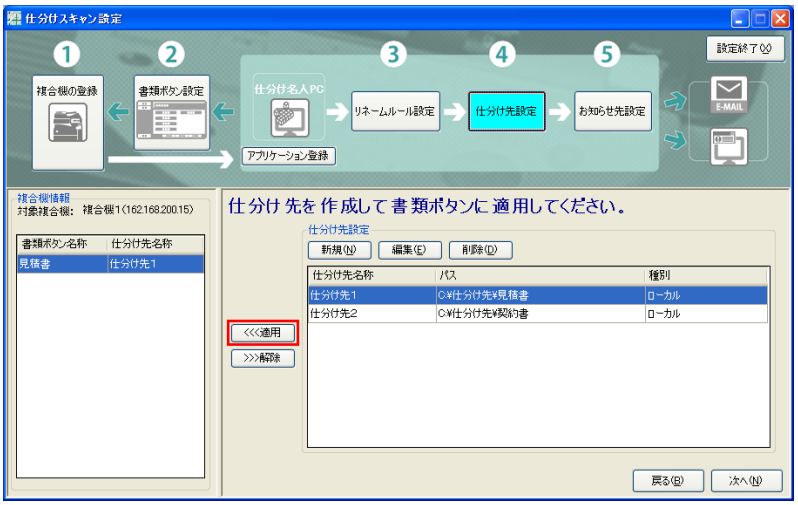
注意

本設定は、パネル連携設定画面における「仕分け先ディレクトリーボタン」の設定として、「『書類選択画面』のみ表示する」を選択した場合に行います。パネル連携設定画面の詳細については、「5.5 複合機のパネル表示を設定する」（134 ページ）を参照してください。

1.　仕分けスキャン設定画面で「仕分け先設定」手順に進みます。

2.　「複合機情報」部から仕分け先を設定したい書類ボタンを選択します。

3.　「仕分け先設定」部から適用させたい仕分け先を選択して、「<<<適用」ボタンを選択します。



4. 選択した書類ボタンの「仕分け先名称」部に、適用された仕分け先名称が表示されます。

→「4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する」へ進む

複合機への仕分け先適用を解除する方法

書類ボタンに適用されている仕分け先を解除します。

(1) ③手順 3.の「複合機情報」部から仕分け先の適用を解除したい書類ボタンを選択して、「>>>解除」ボタンを選択します。

(2) 選択した書類ボタンの「仕分け先名称」部が空欄となり、仕分け先が解除されます。

4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する

仕分けスキャンが終了したことを知らせるためのお知らせ先を作成して、仕分け対象フォルダーまたは書類ボタンに登録します。

お知らせ先は複数作成することが可能です。ただし、1 つの仕分け対象フォルダーまたは 1 つの書類ボタンには、1 つのお知らせ先のみ適用されます。

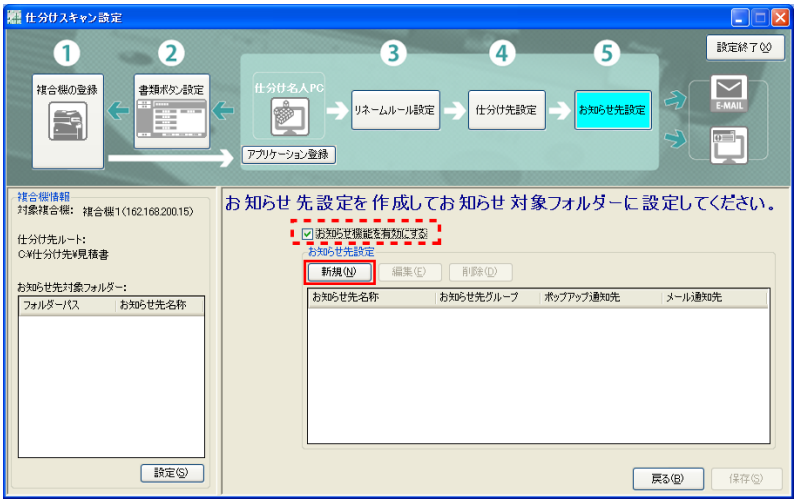
注意

お知らせ先の設定は、仕分け先設定における「複合機情報」部において、複合機または書類ボタンに仕分け先が設定されている場合に可能となります。

①お知らせ先を作成する

お知らせ先は、DNS サーバーやメールアドレスを組み合わせた通知グループとして作成します。
お知らせ先を新規に作成する手順を説明します。
お知らせ先は、仕分け名人全体で最大 50 件まで作成できます。また、作成したお知らせ先は、すべての機能で共通で表示されます。

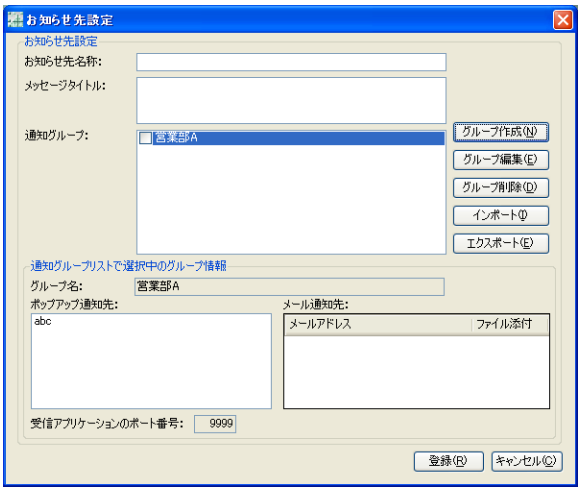
1. 仕分けスキャン設定画面で「お知らせ先設定」手順に進みます。
2. 「お知らせ機能を有効にする」にチェックが入っていることを確認して、「新規」ボタンを選択します。



参考

お知らせ先設定用の仕分けスキャン設定画面は、パネル連携設定画面における「仕分け先ディレクトリーボタン」の設定によって異なります。ただし「お知らせ先設定」部は共通なため、ここでは「『ディレクトリー選択画面』を表示する」を選択した場合の画面例を示しています。パネル連携設定画面の詳細については、「5.5 複合機のパネル表示を設定する」（134 ページ）を参照してください。

3. お知らせ先設定画面が表示されますので、お知らせ先の各種情報を入力します。



■「お知らせ先設定」画面（ローカルフォルダー）

項目名	説明
お知らせ先名称	お知らせ先の名称を設定します。 全角／半角共に最大 30 文字まで有効です。
メッセージタイトル	仕分け通知メッセージのタイトルを設定します。 最大 256 文字まで有効です。
通知グループ	登録済みのお知らせ先通知グループ名を一覧で表示します。このうちチェックマークをつけた通知グループがお知らせ先となります。
「グループ作成」ボタン	新規に通知グループを作成する場合に選択します。 →「お知らせ先の通知グループを新規に作成する方法」を参照
「グループ編集」ボタン	通知グループの設定内容を編集する場合に選択します。 →「お知らせ先の通知グループを編集する方法」を参照
「グループ削除」ボタン	通知グループを削除する場合に選択します。 →「お知らせ先の通知グループを削除する方法」を参照
「インポート」ボタン	CSV 形式で通知グループ情報をインポートする場合に選択します。 →「お知らせ先をインポートする方法」を参照
「エクスポート」ボタン	CSV 形式で通知グループ情報をエクスポートする場合に選択します。 →「お知らせ先をエクスポートする方法」を参照
通知グループ名称	「通知グループ」部で現在選択されている通知グループの名称を表示します。
ポップアップ通知先	「通知グループ」部で現在選択されている通知グループの、DNS サーバー情報を表示します。
メール通知先	「通知グループ」部で現在選択されている通知グループの、メールアドレスを表示します。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

注意

「通知グループ」部に何も表示されていない場合は、新規にお知らせ先としたい通知グループを作成してください。通知グループの作成方法ついては「お知らせ先の通知グループを新規に作成する方法」を参照してください。

4. 「登録」ボタンを選択すると、新規に作成したお知らせ先が「お知らせ先設定」部に追加されます。

パネル連携設定画面における「仕分け先ディレクトリーボタン」の設定として、「『ディレクトリー選択画面』を表示する」を選択した場合

→「②仕分け対象フォルダーにお知らせ先を設定する」へ進む

パネル連携設定画面における「仕分け先ディレクトリーボタン」の設定として、「『書類選択画面』のみ表示する」を選択した場合

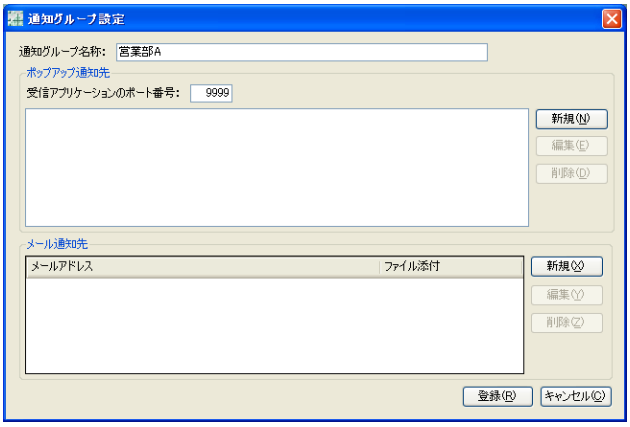
→「③書類ボタンにお知らせ先を設定する」へ進む

お知らせ先の通知グループを新規に作成する方法

お知らせ先の通知グループを新規に作成する手順を説明します。

(1) ①手順 3. のお知らせ先設定画面で「グループ作成」ボタンを選択します。

(2) 通知グループ設定画面が表示されますので、通知グループの各種情報を入力します。

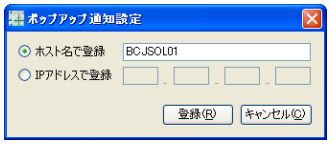


■「通知グループ設定」画面

項目名	説明
通知グループ名称	通知グループの名称を設定します。 全角／半角共に最大 30 文字まで有効です。
受信アプリケーションポート番号	仕分け受信アプリケーション側のポート番号を設定します。 1～65535 の半角数字のみ有効です。
ポップアップ通知先の「新規」ボタン	ポップアップ通知先の DNS サーバーを新規に設定する場合に選択します。
ポップアップ通知先の「編集」ボタン	「ポップアップ通知先」部に表示されている DNS サーバー情報を編集する場合に選択します。
ポップアップ通知先の「削除」ボタン	「ポップアップ通知先」に表示されている DNS サーバー情報を削除する場合に選択します。
メール通知先の「新規」ボタン	メール通知先のメールアドレスを新規に設定する場合に選択します。
メール通知先の「編集」ボタン	「メール通知先」部に表示されているメールアドレスを編集する場合に選択します。
メール通知先の「削除」ボタン	「メール通知先」部に表示されているメールアドレスを削除する場合に選択します。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。 エラーメッセージが表示される場合は設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

(3) 「ポップアップ通知先」部の「新規」ボタンを選択します。

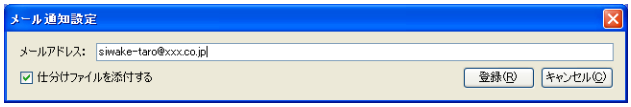
(4) ポップアップ通知設定画面が表示されますので、お知らせ先に指定したい DNS サーバーを設定します。



■「ポップアップ通知設定」画面

項目名	説明
ホスト名で登録	DNS サーバーのホスト名を設定します。 「ホスト名で登録」にチェックが入っているときのみ設定可能です。 最大 15 文字の半角英数文字のみ有効です。
IP アドレスで登録	DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 「IP アドレスで登録」にチェックが入っているときのみ設定可能です。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。 エラーメッセージが表示される場合は設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

(5) 「登録」ボタンを選択すると、新規に設定した DNS サーバー情報が通知グループ設定画面の「ポップアップ通知先」部に追加されます。
(6) 「メール通知先」部の「新規」ボタンを選択します。
(7) メール通知設定画面が表示されますので、お知らせ先に指定したいメールアドレスを設定します。「仕分けファイルを添付する」にチェックを入れると、指定したメールアドレスに仕分けファイルを添付して送付することができます。



(8) 「登録」ボタンを選択すると、新規に設定したメールアドレスが通知グループ設定画面の「メール通知先」部に追加されます。
(9) お知らせ先の作成操作を継続します。

お知らせ先の通知グループを編集する方法

作成済みの通知グループを編集することができます。

(1) ①手順 3. のお知らせ先設定画面で、編集したい通知グループを選択して、「グループ編集」ボタンを選択します。
(2) 通知グループ設定画面が表示されますので、通知グループを編集した後に「登録」ボタンを選択します。
(3) お知らせ先設定画面の「通知グループ」部に、編集された通知グループが表示されます。

お知らせ先の通知グループを削除する方法

作成済みの通知グループを削除します。

(1) ①手順 3. のお知らせ先設定画面で、削除したい通知グループを選択して、「グループ削除」ボタンを選択します。
(2) 選択した通知グループが、「通知グループ」部から削除されます。

お知らせ先をインポートする方法

仕分け名人設定アプリケーションでエクスポートした CSV 形式のお知らせ先データをインポートします。

(1) ①手順 3.のお知らせ先設定画面で「インポート」ボタンを選択します。

(2) CSV ファイル選択画面が表示されます。インポートしたいお知らせ先データを選択して「開く」ボタンを選択します。

お知らせ先をエクスポートする方法

お知らせ先を CSV 形式でエクスポートします。

(1) ①手順 3.のお知らせ先設定画面で「エクスポート」ボタンを選択します。

(2) CSV ファイルを保存する画面が表示されます。ファイル名を入力して「保存」ボタンを選択します。

お知らせ先を編集する方法

作成済みのお知らせ先を編集することができます。

(1) ①手順 2.の仕分けスキャン設定画面で「お知らせ先設定」部から編集したいお知らせ先を選択して、「編集」ボタンを選択します。

(2) お知らせ先設定画面が表示されたら、各種情報を編集した後に「登録」ボタンを選択します。

お知らせ先を削除する方法

「お知らせ先設定」部から作成済みのお知らせ先を削除します。

(1) ①手順 2.の仕分けスキャン設定画面で「お知らせ先設定」部から削除したいお知らせ先を選択して、「削除」ボタンを選択します。

(2) 選択したお知らせ先が、「お知らせ先設定」部から削除されます。

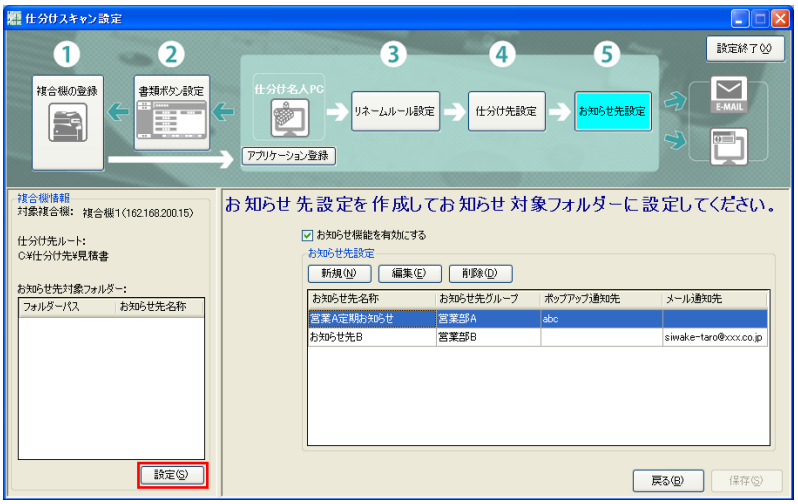
②仕分け対象フォルダーにお知らせ先を設定する

作成したお知らせ先を仕分け対象フォルダーに適用します。これによって作成したお知らせ先設定が有効となります。

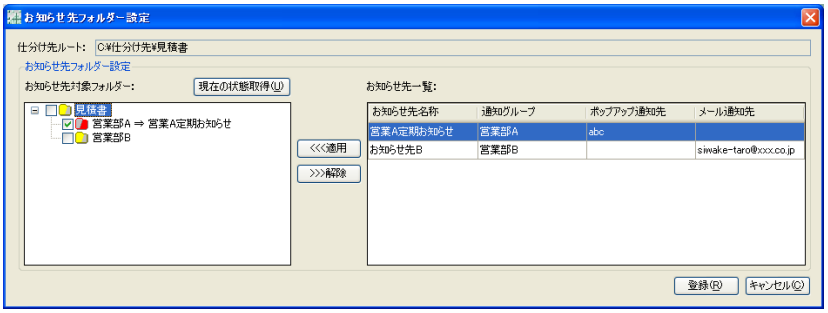
注意

本設定は、パネル連携設定画面における「仕分け先ディレクトリーボタン」の設定として、「『ディレクトリー選択画面』を表示する」を選択した場合に行います。パネル連携設定画面の詳細については、「5.5 複合機のパネル表示を設定する」（134 ページ）を参照してください。

1. 仕分けスキャン設定画面で「お知らせ先設定」手順に進みます。「お知らせ機能を有効にする」にチェックが入っていることを確認して、「設定」ボタンを選択します。



2. お知らせ先フォルダー設定画面が表示されます。



■「お知らせ先フォルダー設定」画面

項目名	説明
仕分け先ルート	仕分け先に設定されているルートフォルダーのパスを表示します。
「現在の状態取得」ボタン	「お知らせ先対象フォルダー」部に表示されるフォルダー構成を、最新の状態にする場合に選択します。
お知らせ先対象フォルダー	「仕分け先ルート」部に設定されているルールフォルダー内の、フォルダー構成を表示します。 フォルダーアイコンは、お知らせ先設定の有無によって表示色が異なります。 ：未設定 ：設定済み
「<<<適用」ボタン	フォルダーにお知らせ先を適用する場合に選択します。
「>>>解除」ボタン	フォルダーに適用されているお知らせ先を解除する場合に選択します。 →「仕分け先対象フォルダーへのお知らせ先設定を解除する方法」を参照
お知らせ先一覧	お知らせ先情報を一覧表示します。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。 エラーメッセージが表示される場合は設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

3. お知らせ先を設定したい「お知らせ先対象フォルダー」部のフォルダーに、チェックマークを付けます。
4. 「お知らせ先一覧」部から設定したいお知らせ先を選択して、「<<<適用」ボタンを選択します。
5. 選択したフォルダーのアイコンがからに切り替わったことを確認して、「登録」ボタンを選択します。
6. お知らせ先設定用仕分けスキャン設定画面の「お知らせ先対象フォルダー」部に、適用された仕分け先対象フォルダーパスとお知らせ先名称が表示されます。

→「4.1.6 仕分けスキャン設定を終了する」へ進む

仕分け先対象フォルダーへのお知らせ先設定を解除する方法

仕分け先対象フォルダーに適用されているお知らせ先を解除します。

(1) ②手順 2. のお知らせ先フォルダー設定画面で、お知らせ先を解除したい「お知らせ先対象フォルダー」部のフォルダーにチェックマークを付けた後、「>>>解除」ボタンを選択します。

(2) 選択したフォルダーのアイコンがからに切り替わったことを確認して、「登録」ボタンを選択します。

(3) お知らせ先設定用仕分けスキャン設定画面の「お知らせ先対象フォルダー」部から、選択した仕分け先対象フォルダーパスとお知らせ先名称が削除されます。

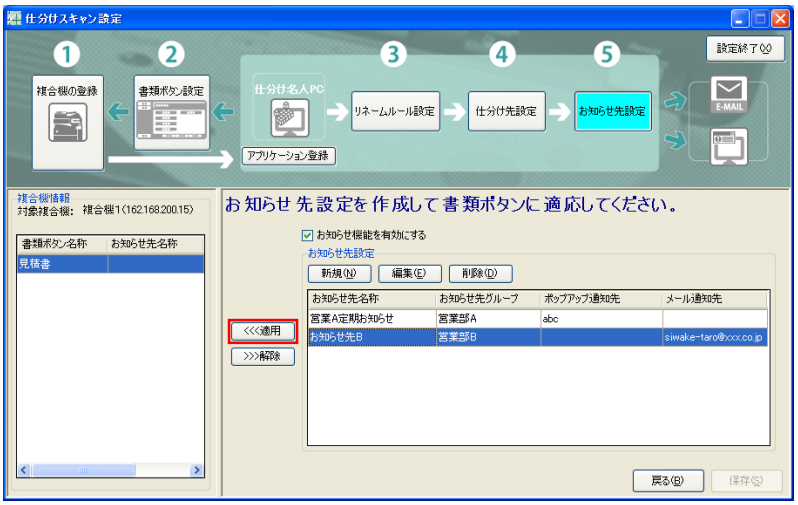
③書類ボタンにお知らせ先を設定する

作成したお知らせ先を書類ボタンに適用します。これによって作成したお知らせ先設定が有効となります。

注意

本設定は、パネル連携設定画面における「仕分け先ディレクトリーボタン」の設定として、「『書類選択画面』のみ表示する」を選択した場合に行います。パネル連携設定画面の詳細については、「5.5 複合機のパネル表示を設定する」（134 ページ）を参照してください。

1. 仕分けスキャン設定画面で「お知らせ先設定」手順に進み、「お知らせ機能を有効にする」にチェックが入っていることを確認します。
2. 「複合機情報」部からお知らせ先を設定したい書類ボタンを選択します。
3. 「お知らせ先設定」部から適用させたいお知らせ先を選択して、「<<<適用」ボタンを選択します。



4. 選択した書類ボタンの「お知らせ先名称」部に、適用されたお知らせ先名称が表示されます。

→「4.1.6 仕分けスキャン設定を終了する」へ進む

書類ボタンへのお知らせ先設定を解除する方法

書類ボタンに適用されているお知らせ先を解除します。

(1) ③手順 3.で「複合機情報」部からお知らせ先を解除したい書類ボタンを選択して、「>>>解除」ボタンを選択します。

(2) 選択した書類ボタンの「お知らせ先名称」部が空欄となり、お知らせ先が解除されます。

4.1.6 仕分けスキャン設定を終了する

「複合機の登録」から「お知らせ先設定」まで終了したら、設定値を保存して仕分けスキャン設定を終了します。

1. お知らせ先設定画面で設定が完了したことを確認して、「保存」ボタンを選択します。

注意

- 「保存」ボタンは、お知らせ先設定が完了している場合に選択可能となります。選択できない場合は、お知らせ先設定を再設定してください。
- 「保存」ボタンを選択するときは、「お知らせ機能を有効にする」チェックボックスにチェックが入っていることを確認してください。
  「お知らせ機能を有効にする」チェックボックスのチェックを外すと「保存」ボタンが選択できるようになりますが、設定は完了していません。

---

2. 設定保存画面が表示されます。「はい」ボタンを選択して仕分けスキャン設定値を保存します。
3. 仕分けスキャン画面右上にある「設定終了」ボタンを選択します。
4. 設定終了画面が表示されます。「はい」ボタンを選択して仕分けスキャン設定画面を閉じます。

4.2 BOX スキャンを設定する

メイン画面で「BOX スキャン」ボタンを選択すると、「BOX スキャン設定」画面が表示されます。画面上部の手順設定イメージの順序に従って、BOX スキャンの設定を行います。

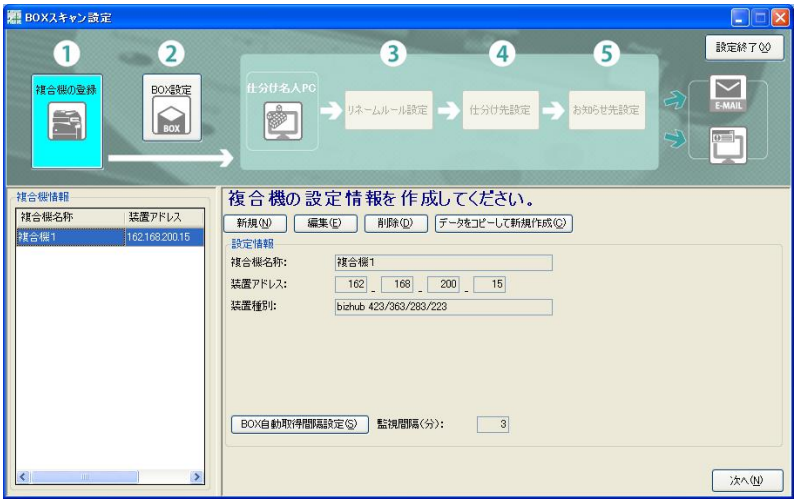


図 4.3　BOX スキャン設定画面

参考

初回設定時は、「複合機の登録」ボタンのみが選択可能です。他のボタンは、直前の手順の設定が終了すると、順に選択可能となります。

「複合機の登録」→4.2.1 複合機を登録する

「BOX 設定」→4.2.2 BOX を設定する

「リネームルール設定」→4.2.3 BOX 内ファイルのリネームルールを設定する

「仕分け先設定」→4.2.4 BOX 内ファイルの仕分け先を設定する

「お知らせ先設定」→4.2.5 BOX 内ファイル仕分け終了時のお知らせ先を設定する

「設定終了」→4.2.6 BOX スキャン設定を終了する

注意

各設定は一連の手順として扱われるため、途中で終了した場合は、それまでの設定内容が破棄されます。「複合機の登録」を開始したら、必ず「設定終了」まで手順を進めてください。

4.2.1 複合機を登録する

BOX スキャンに使用する複合機の設定情報を登録します。複合機の登録情報には、複合機名称、装置アドレス（IP アドレス）、および複合機の装置種別があります。また、BOX に仕分け対象となるスキャン画像が保存されたかを確認するための、監視間隔（時間）を設定します。

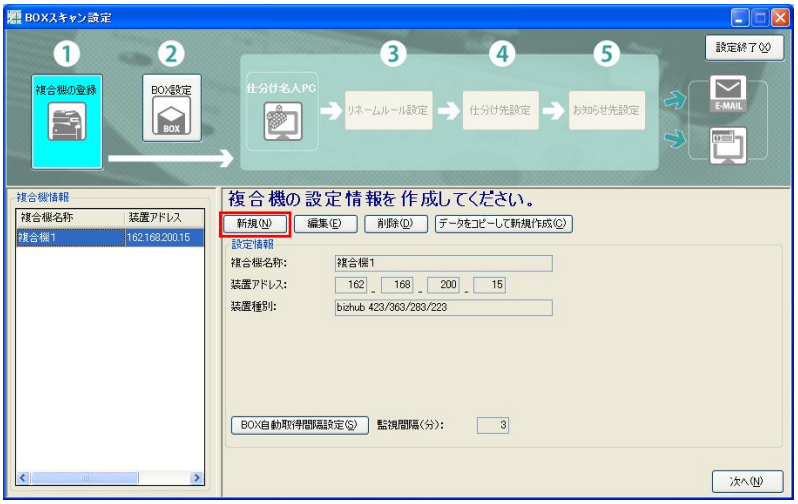
参考

BOX スキャンは、監視間隔で設定された時間ごとに BOX 内を確認し、スキャン画像が保存されていると、その都度「リネームルール設定」、「仕分け先設定」、「お知らせ先設定」の設定内容に沿った仕分けを実施します。

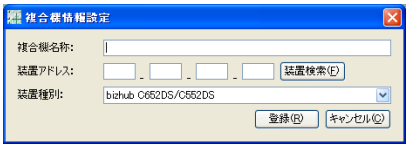
①複合機の設定情報を作成する

BOX スキャンに使用する複合機の設定情報を新規に作成する手順を説明します。

1. BOX スキャン設定画面で「複合機の登録」ボタンを選択します。
2. 「新規」ボタンを選択します。



3. 複合機情報設定画面が表示されますので、複合機の各種情報を入力します。



■「複合機情報設定」画面

項目名	説明
複合機名称	仕分け名人アプリケーションで複合機を識別するための名称を設定します。
装置アドレス	複合機の IP アドレスを設定します。
「装置検索」ボタン	ネットワークに接続されている複合機を検索して、装置アドレスを自動入力する場合に選択します。 →「複合機の装置アドレスを装置検索によって取得する方法」(58 ページ)を参照
装置種別	対象となる複合機のタイプを、プルダウンメニューから選択します。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。 エラーメッセージが表示される場合は設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

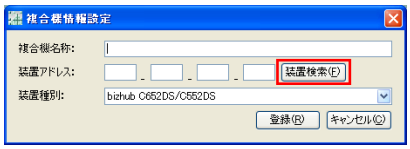
4. 「登録」ボタンを選択すると、新規に作成した複合機が BOX スキャン設定画面の「複合機情報」部に追加されます。

→「②BOX 自動取得感覚を設定する」へ進む

複合機の装置アドレスを装置検索によって取得する方法

ネットワークに接続されている複合機を検索して、装置アドレスを自動入力することができます。

(1) ①手順 3. の複合機情報設定画面で「装置検索」ボタンを選択します。



(2) 進歩状況画面が表示された後、複合機検索結果画面が表示されます。

注意
複合機検索結果画面が表示されない場合は、複合機の検索条件がご使用のネットワークに一致していない可能性があります。「キャンセル」ボタンを選択してください。空の複合機検索結果画面が表示されますので、手順(4)へ進んでください。

(3) 複合機検索結果画面の複合機一覧から目的の複合機を選択した後、「登録」ボタンを選択します。
選択した複合機の IP アドレスが、複合機設定画面の装置アドレスに自動入力されます。
目的の複合機情報が表示されない場合は、手順(4)へ進んで検索条件を変更してください。

(4) 「検索設定」ボタンを選択し、装置検索設定画面で検索設定を入力します。

(5)　「登録」ボタンを選択すると、複合機検索結果画面に戻ります。
複合機検索結果画面に目的の複合機情報が表示された場合は、手順(3)へ進んでください。目的の複合機情報が表示されない場合は、手順(4)へ進んで検索条件を変更してください。

参考
・複合機検索結果画面の詳細については、「■「複合機検索結果」画面」(21 ページ)を参照してください。
・装置検索設定画面の詳細については、「■「装置検索設定」画面」(22 ページ)を参照してください。

複合機登録情報を編集する方法

登録済みの複合機情報を編集することができます。
(1) BOX スキャン設定画面で「複合機の登録」ボタンを選択します。
(2) 編集したい複合機情報を選択して、「編集」ボタンを選択します。
(3) 複合機情報設定画面が表示されたら、各種情報を編集した後に「登録」ボタンを選択します。

複合機登録情報をコピーして作成する方法

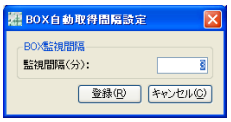
すでに作成済みの複合機登録情報をコピーして、新規に作成することができます。
(1) BOX スキャン設定画面で「複合機の登録」ボタンを選択します。
(2) コピー元にしたい複合機情報を選択し、「データをコピーして新規作成」ボタンを選択します。
(3) 複合機情報設定画面が表示されますので、各種情報を編集した後、「登録」ボタンを選択します。

複合機設定情報を削除する方法

作成済みの複合機登録情報を削除することができます。
(1) BOX スキャン設定画面で「複合機の登録」ボタンを選択します。
(2) 削除したい複合機情報を選択して、「削除」ボタンを選択します。
(3) 選択した複合機情報が「複合機情報」部から削除されます。

②BOX 自動取得間隔を設定する

1. BOX スキャン設定画面で、「BOX 自動取得間隔設定」ボタンを選択します。
2. BOX 自動取得間隔設定画面が表示されますので、BOX に仕分け対象となるスキャン画像が保存されたかを確認する監視間隔を設定して、「登録」ボタンを選択します。



3. BOX スキャン設定画面の「監視間隔（分）」部に、設定した時間が表示されることを確認します。

→「4.2.2 BOX を設定する」へ進む

4.2.2 BOX を設定する

複合機の BOX を指定して、仕分け名人アプリケーションの BOX スキャンで使用できるように設定します。

注意

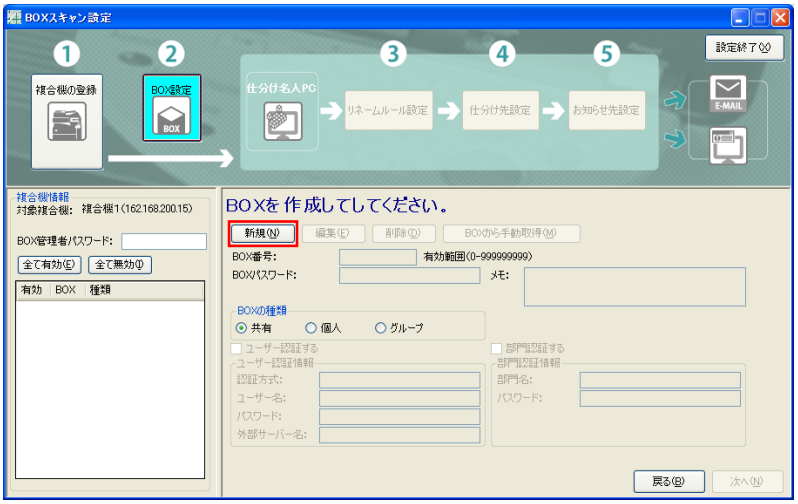
BOX の設定は、複合機の登録における「複合機情報」部で、正しく登録された複合機を選択している場合に可能となります。選択した複合機の情報に不備がある場合は、BOX の設定に移行することができません。

---

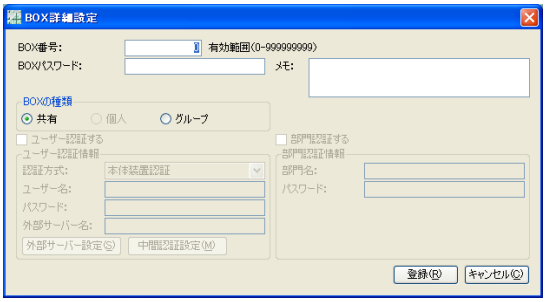
①BOX 情報を作成する

BOX 情報を新規に作成する手順を説明します。

1. BOX スキャン設定画面の「複合機情報」部から対象の複合機を選択し、「BOX 設定」ボタンまたは「次へ」ボタンを選択します。
2. 「新規」ボタンを選択します。



3. BOX 詳細設定画面が表示されますので、BOX の各種情報を入力します。



■「BOX 詳細設定」画面

項目名	説明
BOX 番号	複合機からのスキャン画像を保存する BOX 番号を設定します。 対象となる複合機が、BOX 転送機能およびファクス転送機能の「強制メモリー BOX へ転送」を設定していない場合は、BOX 番号に「0」を設定することができます。 BOX 番号を「0」に設定すると、「BOX パスワード」部および「メモ」部以外は設定できません。
有効範囲	BOX 番号の有効範囲を表示します。
BOX パスワード	BOX のパスワードを設定します。最大 8 文字の半角数字のみ有効です。
メモ	任意の情報を設定します。
BOX の種類	BOX の種類を設定します。
ユーザー認証する	BOX の種類として「個人」または「グループ」を選択した場合に選択可能となります。
認証方式	ユーザー認証の方式をプルダウンメニューから選択します。 「ユーザー認証する」にチェックを入れた場合に選択可能となります。
ユーザー名	ユーザー認証に使用するユーザー名を設定します。 「ユーザー認証する」にチェックを入れた場合に選択可能となります。
「ユーザー認証」部のパスワード	ユーザー認証に使用するパスワードを設定します。 「ユーザー認証する」にチェックを入れた場合に選択可能となります。
外部サーバー名	「外部サーバー設定」ボタンの選択によって設定された外部サーバー名を表示します。
「外部サーバー設定」ボタン	選択すると外部サーバー情報画面が表示されます。 認証方式として「外部サーバー」を選択した場合に必須項目となります。 →「ユーザー認証情報の外部サーバーを設定する方法」を参照
「中間認証設定」ボタン	選択すると中間認証設定画面が表示されます。 認証方式として「外部サーバー」を選択した場合に必須項目となります。 →「ユーザー認証情報の外部サーバーを設定する方法」を参照
部門認証する	BOX の種類として「グループ」を選択した場合に選択可能となります。 認証方式として「中間サーバー」を選択した場合に必須項目となります。 →「ユーザー認証情報の中間認証サーバーを設定する方法」を参照
部門名	部門認証の部門名を設定します。 「部門認証する」にチェックを入れた場合に選択可能となります。
「部門認証」部のパスワード	部門認証のパスワードを設定します。「部門認証する」にチェックを入れた場合に選択可能となります。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。 エラーメッセージが表示される場合は設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

4.　「登録」ボタンを選択すると、新規に作成した BOX 情報が「複合機情報」部に追加されます。

→「②BOX を有効にする」へ進む

ユーザー認証情報の外部サーバーを設定する方法

(1) ①手順 3. のボックス詳細設定画面で「個人」または「グループ」のラジオボタンを選択します。

(2) 「ユーザー認証する」にチェックを入れ、「認証方式」部から「外部サーバー認証」を選択します。

(3) 「外部サーバー設定」ボタンを選択します。

(4) 外部サーバー情報画面が表示されますので、「取得済み外部サーバー情報」部から設定したい外部サーバーを選択します。

■「外部サーバー情報」画面

項目名	説明
取得済み外部サーバー情報	複合機から取得済みの外部サーバー情報を一覧表示します。 デフォルト設定されている外部サーバーの「デフォルト」部には「●」が表示されます。
「装置からサーバー情報取得」ボタン	外部サーバー情報を最新の状態にする場合に選択します。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。 エラーメッセージが表示される場合は設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

(4) 「登録」ボタンを選択すると、選択した外部サーバー名が BOX 詳細設定画面の「外部サーバー名」部に表示されます。

(5) ①手順 3. の BOX 詳細設定に戻ります。

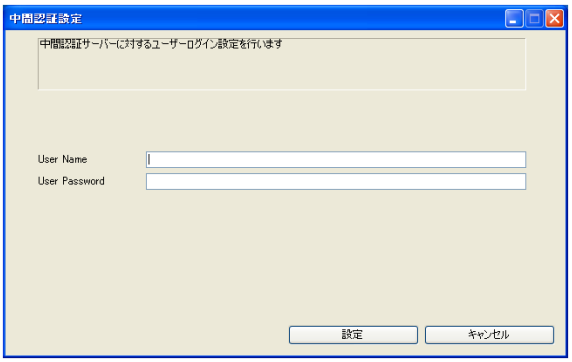
ユーザー認証情報の中間認証サーバーを設定する方法

(1) ①手順 3. のボックス詳細設定画面で「個人」または「グループ」のラジオボタンを選択します。

(2) 「ユーザー認証する」にチェックを入れ、「認証方式」部から「中間サーバー認証」を選択します。

(3) 「中間認証設定」ボタンを選択します。

(4) 中間認証設定画面が表示されますので、各種情報を設定した後に「設定」ボタンを選択します。



注意

中間認証設定画面の表示内容は、お使いの複合機によって異なります。

(4) ①手順 3. の BOX 詳細設定に戻ります。

ユーザー認証情報の部門認証サーバーを設定する方法

(1) ①手順 3. のボックス詳細設定画面で「グループ」のラジオボタンを選択します。

(2) 「部門認証する」にチェックが入りますので、「部門名」と「パスワード」を入力します。

(3) 「登録」ボタンを選択すると、入力した情報が BOX 設定画面に反映されます。

BOX の各種情報を編集する方法

作成済みの BOX 情報を編集することができます。

(1) ①手順 2. の「複合機情報」部から編集したい BOX を選択して、「編集」ボタンを選択します。

(2) BOX 詳細設定画面が表示されたら、各種情報を編集した後に「登録」ボタンを選択します。

BOX を削除する方法

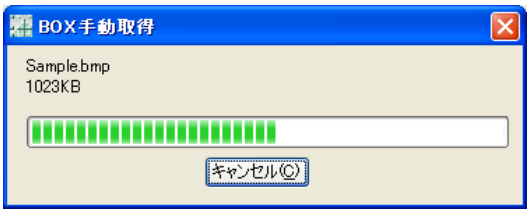
「複合機情報」部から登録済みの BOX を削除します。

(1) ①手順 2. の「複合機情報」部から削除したい BOX を選択して、「削除」ボタンを選択します。

(2) 選択した BOX が、「複合機情報」部から削除されます。

BOX からファイルを手動取得する方法

①手順 2. の BOX 設定画面で「BOX から手動取得」を選択すると、選択している複合機の BOX からファイルを即時に取得します。

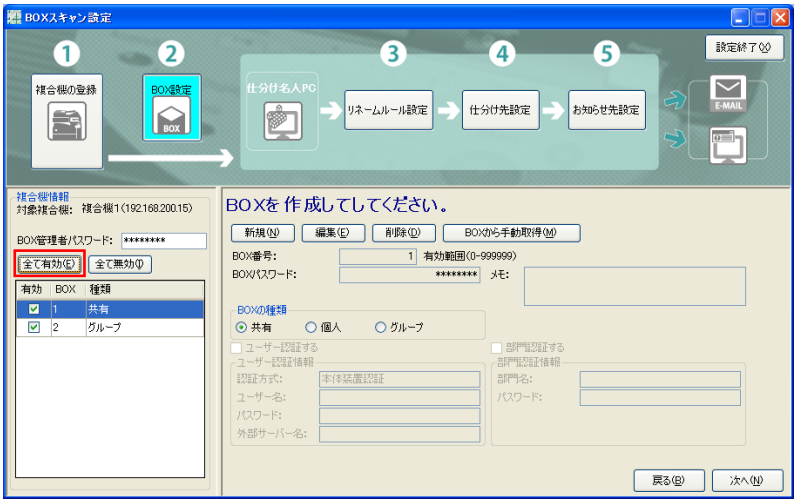


取得したファイルは、仕分けアプリケーションの設定によって仕分けされます。

②BOX を有効にする

BOX の登録が終了したら、BOX が有効になるように設定します。

1. BOX 設定画面で、複合機に設定されている BOX 管理者パスワードを、「BOX 管理者パスワード」部に設定し、「全て有効」ボタンを選択します。



2. BOX の「有効」部にチェックマークが表示されたことを確認します。

→「4.2.3 BOX 内ファイルのリネームルールを設定する」へ進む

BOX を無効にする方法

有効に設定された BOX を一括して無効にします。

(1) ②手順 4. で、複合機に設定されている BOX 管理者パスワードを「BOX 管理者パスワード」部に設定します。

(2) 「全て無効」ボタンを選択します。

(3) BOX の「有効」部から、チェックマークが削除されたことを確認します。

4.2.3 BOX 内ファイルのリネームルールを設定する

BOX 内に保存されたスキャン画像のファイル名に対し、リネームルールを作成して BOX ごとに適用します。

リネームルールは複数作成することが可能です。ただし、1 つの BOX には 1 つのリネームルールのみ適用されます。

注意

リネームルールの設定は、BOX 設定における「複合機情報」部に、1 個以上の BOX が有効に設定されている場合に可能となります。

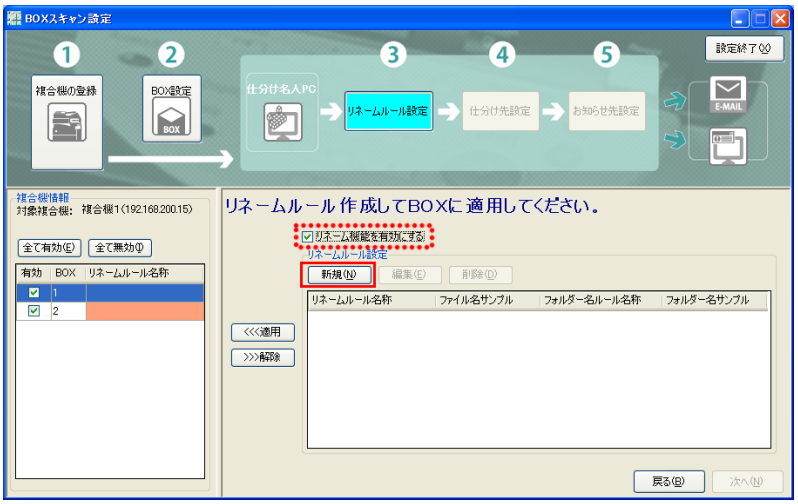
参考

BOX はリネームルールを設定しないで使用することも可能です。リネームルールが設定されていない BOX スキャン画像は、複合機で設定されたファイル名で仕分けされます。リネームルールを設定しない場合は、「4.2.4 BOX 内ファイルの仕分け先を設定する」（72 ページ）に進みます。

①リネームルールを作成する

リネームルールを新規に作成する手順を説明します。

1. BOX スキャン設定画面でいずれかの BOX を選択して、「リネームルール設定」ボタンまたは「次へ」ボタンを選択します。
2. 「リネーム機能を有効にする」にチェックが入っていることを確認して、「新規」ボタンを選択します。

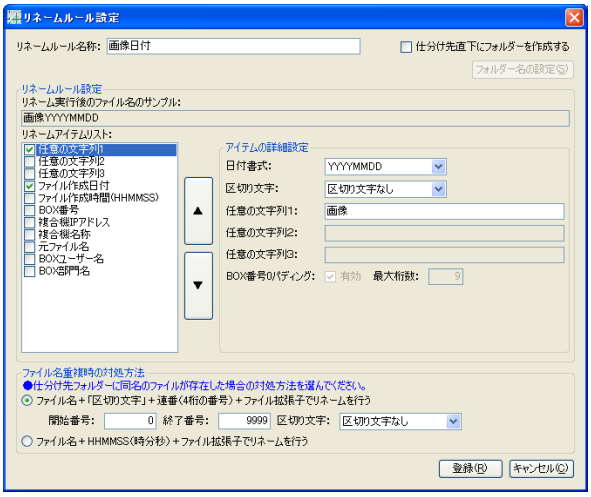


注意

「リネーム機能を有効にする」にチェックが入っていない場合は、リネームルール設定用およびリネームルールを BOX に適用するための各ボタンが、選択できない状態となります。リネームルールを設定する場合は、必ず「リネーム機能を有効にする」にチェックを入れてください。

---

3. リネームルール設定画面が表示されます。リネームルールの各種情報を入力します。



■「リネームルール設定」画面

項目名	説明
リネームルール名称	リネームルールの名称を設定します。
「仕分け先直下にフォルダーを作成する」	仕分け先フォルダーの直下に新たなフォルダーを自動作成して、このフォルダーに仕分け後のスキャン画像を保存する場合に選択します。 →「②自動作成フォルダーのフォルダー名ルールを設定する」を参照
「フォルダー名の設定」ボタン	「仕分け先直下にフォルダーを作成する」にチェックを入れると、選択可能になります。
リネーム実行後のファイル名のサンプル	設定したリネームルールでサンプル文字列を表示します。
リネームアイテムリスト	リネームルールに利用するアイテムにチェックを入れます。 リネームアイテムは複数選択することが可能です。 「ファイル作成日付」、「任意の文字列 1」、「任意の文字列 2」、「任意の文字列 3」、「BOX 番号」を選択した場合は、各アイテムの詳細を設定します。 ※注意 下記の項目をリネームアイテムとして使用する場合、各項目の文字列にファイル名禁止文字列（¥/:*?"<>|）が含まれると、ファイルが作成できません。ファイル名禁止文字列が含まれないようにしてください。 ・複合機名称 ・BOX ユーザー名 ・BOX 部門名
「▲」「▼」ボタン	選択したリネームアイテムの適用順位を、1 つ上下に移動します。
日付書式	ファイル作成日付の表示形式を、プルダウンメニューから選択します。 リネームアイテムリストで「ファイル作成日付」を選択した場合に、設定可能となります。
区切り文字	リネームアイテム間の区切り文字を、プルダウンメニューから選択します。
任意の文字列 1～3	リネームに含めたい文字列を入力します。 リネームアイテムリストで「任意の文字列 1～3」を選択した場合に、設定可能となります。
BOX 番号 0 パディングの「有効」	BOX 番号 0 パディングの「最大桁数」部に設定した桁数で、0 パディングを行う場合にチェックを入れます。 リネームアイテムリストで「BOX 番号」を選択した場合に、選択可能となり

項目名	説明
	ます。
BOX 番号 0 パディングの「最大桁数」	0 パディングを行う最大桁数を設定します。 リネームアイテムリストで「BOX 番号」を選択した場合に、選択可能となります。
「ファイル名重複時の対処方法」	仕分け先のフォルダーに同名のファイルが存在した場合の対処方法を選択します。
開始番号	ファイル名重複時の対処方法として、「ファイル名＋「区切り文字」＋連番（4 桁の番号）＋ファイル拡張子でリネームを行う」を選択した場合に、「連番（4 桁の番号)」部の開始番号を設定します。
終了番号	ファイル名重複時の対処方法として、「ファイ名＋「区切り文字」＋連番（4 桁の番号）＋ファイル拡張子でリネームを行う」を選択した場合に、「連番（4 桁の番号)」部の終了番号を設定します。
区切り文字	ファイル名重複時の対処方法として、「ファイル名＋「区切り文字」＋連番（4 桁の番号）＋ファイル拡張子でリネームを行う」を選択した場合に、「区切り文字」部の文字をプルダウンメニューから選択します。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

4. 「登録」ボタンを選択すると、新規に作成したリネームルールが「リネームルール設定」部に追加されます。

→「③BOX にリネームルールを適用する」へ進む

以下の操作の詳細については、「4.1.3 スキャンファイルのリネームルールを設定する」の「①リネームルールを作成する」（30 ページ）を参照してください。

・リネームルールを編集する方法

・リネームルールを削除する方法

②自動作成フォルダーのフォルダー名ルールを設定する

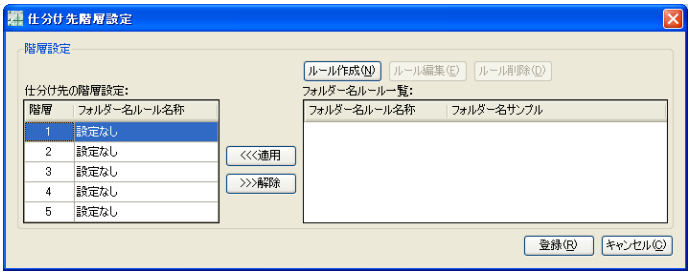
仕分け先フォルダーの直下に新たなフォルダーを自動作成して、このフォルダー階層にリネーム処理したスキャン画像を保存することができます。このとき作成されるフォルダーの名称作成ルールを設定します。

参考

この操作は、自動作成フォルダーを作成したい場合に選択します。

1. ①手順 4. のリネームルール設定画面で「仕分け先直下にフォルダーを作成する」にチェックを入れた後、「フォルダー名の設定」ボタンを選択します。

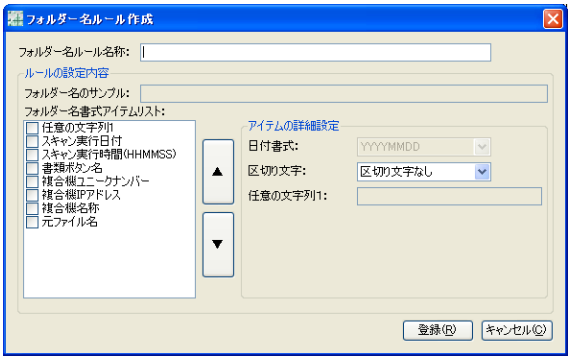
2. 仕分け先階層設定画面が表示されます。「ルール作成」ボタンを選択します。



参考

最大 50 件のフォルダー名ルールが作成できます。

3. フォルダー名ルール作成画面が表示されますので、各項目を設定します。



■「フォルダー名ルール作成」画面

項目名	説明
フォルダー名ルール名称	フォルダー名作成ルールの名称を入力します。
フォルダー名のサンプル	設定したフォルダー名ルールでサンプル文字列を表示します。 選択したフォルダーにはチェックマークが付記されます。
フォルダー名書式アイテムリスト	フォルダー名ルールに利用するアイテムにチェックを入れます。 フォルダー名書式アイテムは複数選択することが可能です。 「スキャン実行日付」、「任意の文字列 1」を選択した場合は、各アイテムの詳細を設定します。 複数のフォルダー名書式アイテムを選択した場合は、「▲」「▼」およびボタンによって、フォルダー名の適用順位を変更することが可能です。
「▲」「▼」ボタン	選択したフォルダー名書式アイテムの適用順位を、上下に移動します。
日付書式	スキャン実行日付の表示形式を、プルダウンメニューから選択します。 フォルダー名書式アイテムリストで「スキャン実行日付」を選択した場合に、設定可能となります。
区切り文字	フォルダー名書式アイテム間の区切り文字を、プルダウンメニューから選択します。
任意の文字列 1	フォルダー名に含めたい文字列を入力します。 フォルダー名書式アイテムリストで「任意の文字列 1」を選択した場合に、設定可能となります。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。エラーメッセージが表示された場合は、設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

4. 「登録」ボタンを選択すると、新規に作成したフォルダー名ルールが仕分け先階層設定画面の「フォルダー名ルール一覧」部に追加されます。
5. 「仕分け先の階層設定」部からルールを適用したい階層を選択し、設定したフォルダー名ルールを選択した状態で、「<<<適用」ボタンを選択します。

参考
複数の階層を選択して、同じフォルダー名ルールを適用することもできます。

6. 「登録」ボタンを選択します。
7. ①手順 3. の画面に戻って、リネームルールの作成操作を継続します。

→「③BOX にリネームルールを適用する」へ進む

以下の操作方法については、「4.1.3 スキャンファイルのリネームルールを設定する」の「②自動作成フォルダーのフォルダー名ルールを設定する」（33 ページ）を参照してください。

・フォルダー名ルールを編集する方法
・フォルダー名ルールを削除する方法
・フォルダー名ルールの適用を解除する方法

③BOX にリネームルールを適用する

リネームルールの作成が終了したら、BOX ごとにリネームルールを適用します。これにより、作成したリネームルールを BOX に関連付けることができます。

適用方法の詳細については、「4.1.3 スキャンファイルのリネームルールを設定する」の「③書類ボタンにリネームルールを適用する」（36 ページ）を参照してください。

④リネームルールを適用した BOX を有効にする

BOX へのリネームルール適用が終了したら、登録されている BOX を有効に設定します。これにより、作成したリネームルールを BOX スキャンに使用することが可能となります。

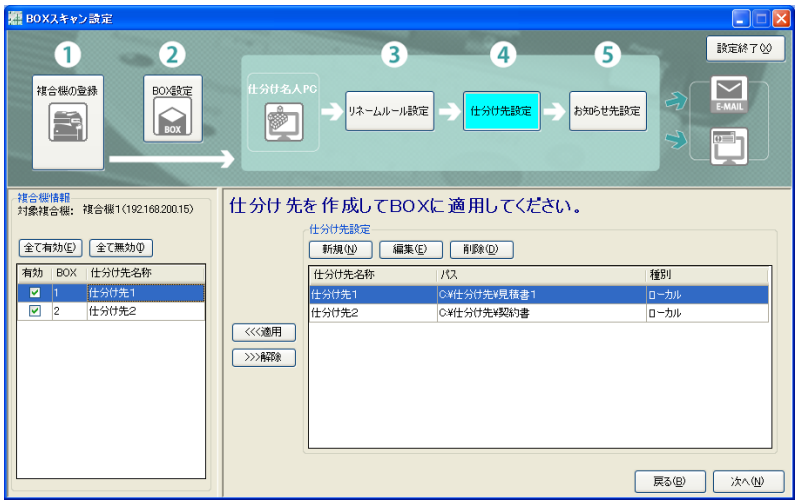
設定方法の詳細については、「4.2.2 BOX を設定する」の「②BOX を有効にする」（65 ページ）を参照してください。

→「4.2.4 BOX 内ファイルの仕分け先を設定する」へ進む

4.2.4 BOX 内ファイルの仕分け先を設定する

BOX 内スキャン画像の仕分け先フォルダーを指定して、BOX に仕分け先を登録します。

仕分け先はローカルフォルダー、ネットワークフォルダーおよび FTP の 3 種類から選択することが可能です。また、仕分け先は複数作成することが可能です。ただし、1 つの BOX には 1 つの仕分け先のみ適用されます。



注意

仕分け先の設定は、BOX 設定の「複合機情報」部に、1 個以上の BOX が有効に設定されている場合に可能となります。

①仕分け先を作成する

BOX スキャンの仕分け先を作成します。仕分け先のフォルダーは、ローカルフォルダー、ネットワークフォルダーおよび FTP のいずれかから選択することができます。これらの設定情報は選択された仕分け先によって異なります。

作成方法の詳細については、「4.1.4 スキャンファイルの仕分け先を設定する」の「①仕分け先を作成する」（38 ページ）を参照してください。

②BOX に仕分け先を適用する

仕分け先の作成が終了したら、BOX ごとに仕分け先を適用します。これにより、作成した仕分け先を BOX に関連付けることができます。

適用方法の詳細については、「4.1.4 スキャンファイルの仕分け先を設定する」の「③ 書類ボタンに仕分け先を適用する」（43 ページ）を参照してください。

③仕分け先を適用した BOX を有効にする

BOX への仕分け先適用が終了したら、登録されている BOX を有効に設定します。これにより、作成した仕分け先を BOX スキャンに使用することが可能となります。

設定方法の詳細については、「4.2.2 BOX を設定する」の「②BOX を有効にする」（65 ページ）を参照してください。

→「4.2.5 BOX 内ファイル仕分け終了時のお知らせ先を設定する」へ進む

4.2.5 BOX 内ファイル仕分け終了時のお知らせ先を設定する

BOX スキャンが終了したことを知らせるためのお知らせ先を作成して、BOX にお知らせ先を適用します。お知らせ先は複数作成することが可能です。ただし、1 つの BOX には、1 つの仕分け先のみ適用されます。

注意

お知らせ先の設定は、仕分け先設定の「複合機情報」で、BOX に仕分け先が正しく設定されている場合に可能となります。

参考

「エラー通知を送る」にチェックを付けると、ファクス転送仕分け処理に失敗したとき、「FAX 番号未指定」に指定したお知らせ先にエラー通知のポップアップが表示されます。

①お知らせ先を作成する

お知らせ先は、DNS サーバーやメールアドレスを組み合わせた通知グループとして作成します。

作成方法については、「4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する」の「①お知らせ先を作成する」（45 ページ）を参照してください。

②BOX にお知らせ先を適用する

お知らせ先の作成が終了したら、BOX ごとにお知らせ先を適用します。これによって作成したお知らせ先設定を、BOX に関連付けることができます。

適用方法については、「4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する」の「②仕分け対象フォルダーにお知らせ先を設定する」（51 ページ）を参照してください。

③お知らせ先を適用した BOX を有効にする

BOX へのお知らせ先適用が終了したら、登録されている BOX を有効に設定します。これによって作成したお知らせ先を BOX スキャンに使用することが可能となります。

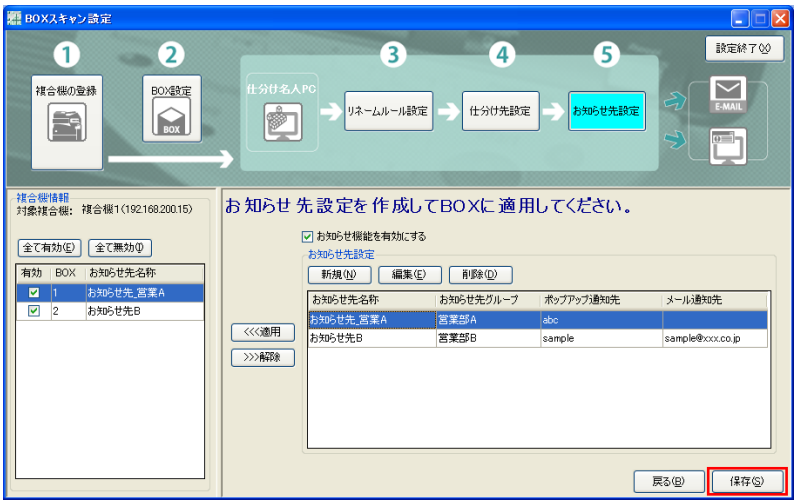
設定方法については、「4.2.2 BOX を設定する」の「②BOX を有効にする」（65 ページ）を参照してください。

→「4.2.6 BOX スキャン設定を終了する」へ進む

4.2.6 BOX スキャン設定を終了する

「複合機の登録」から「お知らせ先設定」まで終了したら、設定値を保存して BOX スキャン設定を終了します。

1. BOX スキャン設定画面でお知らせ先設定の手順へ進みます。
2. 「保存」ボタンを選択します。



注意

- 「保存」ボタンは、お知らせ先設定が完了している場合に選択可能となります。選択できない場合は、お知らせ先設定を再設定してください。
- 「保存」ボタンを選択するときは、「お知らせ機能を有効にする」チェックボックスにチェックが入っていることを確認してください。
  「お知らせ機能を有効にする」チェックボックスのチェックを外すと「保存」ボタンが選択できるようになりますが、設定は完了していません。

3. 設定保存画面が表示されますので、「はい」ボタンを選択して BOX スキャン設定値を保存します。
4. BOX スキャン画面右上にある「設定終了」ボタンを選択します。
5. 設定終了画面が表示されますので、「はい」ボタンを選択して BOX スキャン設定画面を閉じます。

4.3 フォルダー監視を設定する

メイン画面で「フォルダー監視」ボタンを選択すると、以下の「フォルダー監視設定」画面が表示されます。画面上部の手順設定イメージの順序に従って、フォルダー監視の設定を行います。

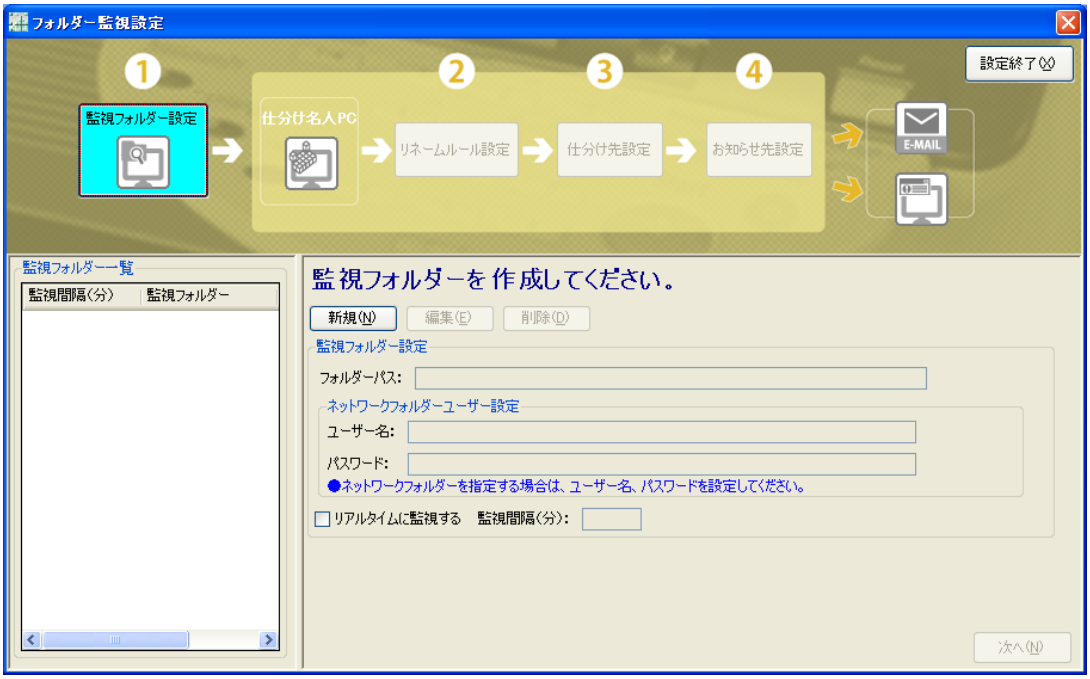


図 4.4　フォルダー監視設定画面

参考

初回設定時は、「監視フォルダー設定」ボタンのみが選択可能です。他のボタンは、直前の手順の設定が終了すると、順に選択可能となります。

「監視フォルダー設定」→4.3.1 監視フォルダーを設定する

「リネームルール設定」→4.3.2 監視フォルダー内ファイルのリネームルールを設定する

「仕分け先設定」→4.3.3 監視フォルダー内ファイルの仕分け先を設定する

「お知らせ先設定」→4.3.4 監視フォルダー内ファイル仕分け終了時のお知らせ先を設定する

「設定終了」→4.3.5 フォルダー監視設定を終了する

注意

各設定は一連の手順として扱われるため、途中で終了した場合は、それまでの設定内容が破棄されます。「監視フォルダー設定」を開始したら、必ず「設定終了」まで手順を進めてください。

4.3.1 監視フォルダーを設定する

ローカルまたはネットワーク上のフォルダーを指定して、仕分け名人アプリケーションのフォルダー監視で使用できるように設定します。

監視フォルダーは、最大 100 件まで登録できます。

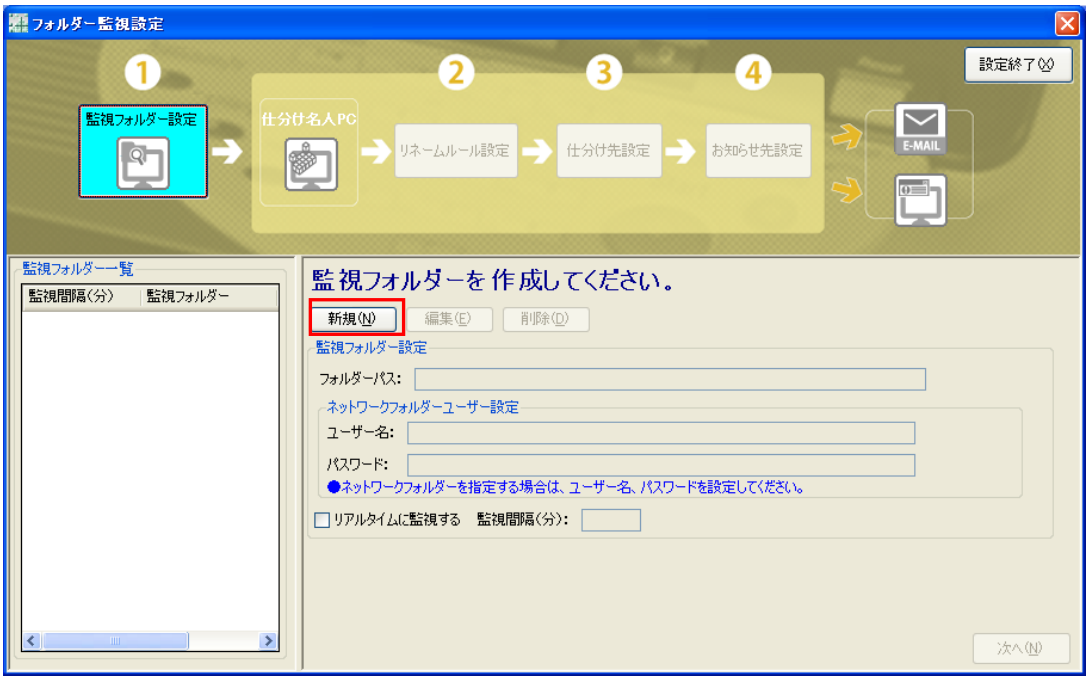
参考

フォルダー監視は、監視間隔で設定された時間ごとに監視フォルダー内を確認し、スキャン画像が保存されていると、その都度「リネームルール設定」、「仕分け先設定」、「お知らせ先設定」の設定内容に沿った仕分けを実施します。

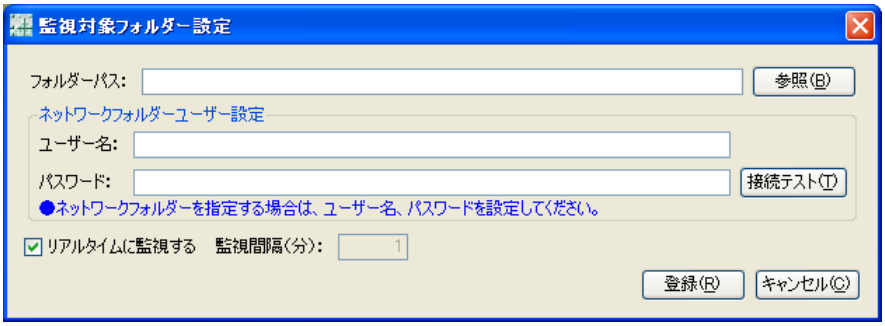
①監視フォルダーを作成する

監視フォルダーを新規に指定する手順を説明します。

1. フォルダー監視設定画面で「監視フォルダー設定」ボタンを選択します。
2. 「新規」ボタンを選択します。



3. 監視対象フォルダー設定画面が表示されますので、監視フォルダーの各種情報を入力します。



■「監視対象フォルダー設定」画面

項目名	説明
フォルダーパス	監視フォルダーのフルパスを設定します。
「参照」ボタン	選択するとフォルダー参照画面が表示されます。この画面で監視フォルダーを選択すると、「フォルダーパス」部に自動的にパスが設定されます。 フォルダー参照画面で、フォルダー監視に指定するフォルダーを新規作成することも可能です。
ユーザー名	監視対象フォルダーをネットワークに接続された PC に設定する場合、Server Message Block (SMB)へのログインユーザー名を設定します。 最大 256 文字までの半角文字のみ有効です。
パスワード	監視対象フォルダーをネットワークに接続された PC に設定する場合、Server Message Block (SMB)へのログインパスワードを設定します。 最大 256 文字までの半角文字のみ有効です。
「接続テスト」ボタン	設定された情報で、設定された監視フォルダーに接続可能かをテストします。
リアルタイムに監視する	スキャン画像が監視フォルダーに保存されたかを、リアルタイムで確認する場合にチェックを入れます。 リアルタイム監視は、Windows OS 上のネットワークフォルダーにのみの対応となり、Linux 等の OS 上のネットワークフォルダーは非対応となります。 Linux 等の OS で動く NAS の中にあるネットワークフォルダーを監視フォルダとして利用される場合、「リアルタイムに監視する」にチェックが入っていると正常に仕分けされない場合がありますので、「リアルタイムに監視する」のチェックは外してご利用ください。
監視間隔（分）	スキャン画像が監視フォルダーに保存されたかを確認する監視間隔を指定します。 「リアルタイムに監視する」のチェックが外れている場合に適用されます。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。 エラーメッセージが表示される場合は設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

4. 「登録」ボタンを選択すると、新規に作成した監視フォルダー情報が「監視フォルダー一覧」部に追加されます。

→「4.3.2 監視フォルダー内ファイルのリネームルールを設定する」へ進む

監視フォルダーを編集する方法

作成済みの監視フォルダーを編集することができます。

(1) ①手順 1. で、編集したいリネームルールを選択して「編集」ボタンを選択します。

(2) 「監視対象フォルダー設定」画面で各種情報を編集した後、「登録」ボタンを選択します。

監視フォルダーを削除する方法

「監視フォルダー一覧」部から作成済みの監視フォルダーを削除します。

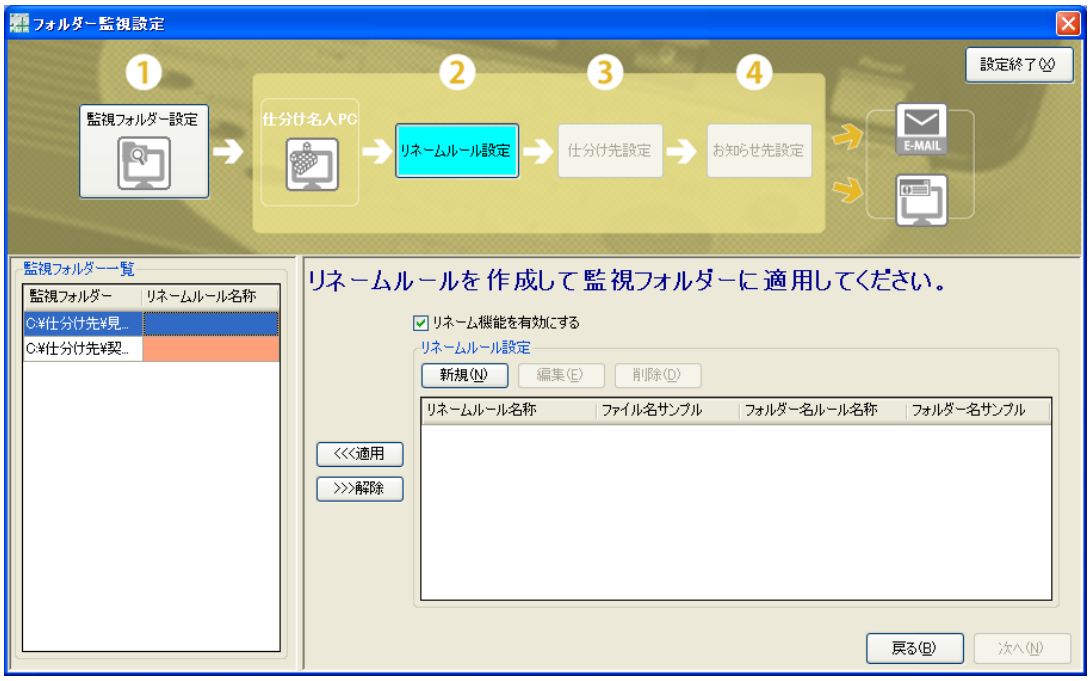
(1) ①手順 1. で、削除したい監視フォルダーを選択して「削除」ボタンを選択します。

(2) 選択した監視フォルダーが削除されます。

4.3.2 監視フォルダー内ファイルのリネームルールを設定する

監視フォルダー内に保存されたスキャン画像のファイル名に対するリネームルールを作成して、監視フォルダーごとに適用します。

リネームルールは複数作成することが可能です。ただし、1 つの監視フォルダーには 1 つのリネームルールのみ適用されます。



注意

リネームルールの設定は、監視フォルダー設定における「監視フォルダー一覧」部に、1 個以上の監視フォルダーが設定されている場合に可能となります。

参考

監視フォルダーはリネームルールを設定しないで使用することも可能です。リネームルールが設定されていない監視フォルダー内スキャン画像は、複合機で設定されたファイル名で仕分けされます。リネームルールを設定しない場合は、「4.3.3 監視フォルダー内ファイルの仕分け先を設定する」(81 ページ)に進みます。

①リネームルールを作成する

監視フォルダー内スキャン画像のリネームルールを作成します。

作成方法の詳細については、「4.1.3 スキャンファイルのリネームルールを設定する」の「①リネームルールを作成する」（30 ページ）および「②自動作成フォルダーのフォルダー名ルールを設定する」（33 ページ）を参照してください。

②監視フォルダーにリネームルールを適用する

リネームルールの作成が終了したら、監視フォルダーごとにリネームルールを適用します。これにより、作成したリネームルールをフォルダー監視に使用することが可能となります。

適用方法の詳細については、「4.1.3 スキャンファイルのリネームルールを設定する」の「③書類ボタンにリネームルールを適用する」（36 ページ）を参照してください。

→「4.3.3 監視フォルダー内ファイルの仕分け先を設定する」へ進む

4.3.3 監視フォルダー内ファイルの仕分け先を設定する

監視フォルダー内スキャン画像の仕分け先フォルダーを指定して、監視フォルダーに仕分け先を登録します。

仕分け先はローカルフォルダー、ネットワークフォルダーおよび FTP の 3 種類から選択することが可能です。また、仕分け先は複数作成することが可能です。ただし、1 つの監視フォルダーには 1 つの仕分け先のみ適用されます。

注意

仕分け先の設定は、監視フォルダー設定における「監視フォルダー一覧」部に、1 個以上の監視フォルダーが設定されている場合に可能となります。

---

①仕分け先を作成する

フォルダー監視の仕分け先を作成します。仕分け先のフォルダーは、ローカルフォルダー、ネットワークフォルダーおよび FTP のいずれかから選択することができます。これらの設定情報は選択された仕分け先によって異なります。

作成方法の詳細については、「4.1.4 スキャンファイルの仕分け先を設定する」の「①仕分け先を作成する」（38 ページ）を参照してください。

②監視フォルダーに仕分け先を適用する

仕分け先の作成が終了したら、監視フォルダーごとに仕分け先を適用します。これにより、作成した仕分け先をフォルダー監視に使用することが可能となります。

適用方法の詳細については、「4.1.4 スキャンファイルの仕分け先を設定する」の「③ 書類ボタンに仕分け先を適用する」（43 ページ）を参照してください。

→「4.3.4 監視フォルダー内ファイル仕分け終了時のお知らせ先を設定する」へ進む

4.3.4 監視フォルダー内ファイル仕分け終了時のお知らせ先を設定する

フォルダー監視が終了したことを知らせるためのお知らせ先を作成して、監視フォルダーにお知らせ先を適用します。

お知らせ先は複数作成することが可能です。ただし、1 つの監視フォルダーには、1 つのお知らせ先のみ適用されます。

注意

お知らせ先の設定は、仕分け先設定の「監視フォルダー一覧」で、監視フォルダーに仕分け先が正しく設定されている場合に可能となります。

①お知らせ先を作成する

お知らせ先は、DNS サーバーやメールアドレスを組み合わせた通知グループとして作成します。

作成方法の詳細については、「4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する」の「①お知らせ先を作成する」（45 ページ）を参照してください。

②監視フォルダーにお知らせ先を適用する

お知らせ先の作成が終了したら、監視フォルダーごとにお知らせ先を適用します。これによって作成したお知らせ先をフォルダー監視に使用することが可能となります。

適用方法の詳細については、「4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する」の「②仕分け対象フォルダーにお知らせ先を設定する」（51 ページ）を参照してください。

→「4.3.5 フォルダー監視設定を終了する」へ進む

4.3.5 フォルダー監視設定を終了する

「監視フォルダー設定」から「お知らせ先設定」まで終了したら、設定値を保存してフォルダー監視設定を終了します。

1. フォルダー監視設定画面でお知らせ先設定の手順へ進みます。
2. 「保存」ボタンを選択します。

注意

- 「保存」ボタンは、お知らせ先設定が完了している場合に選択可能となります。選択できない場合は、お知らせ先設定を再設定してください。
- 「保存」ボタンを選択するときは、「お知らせ機能を有効にする」チェックボックスにチェックが入っていることを確認してください。
  「お知らせ機能を有効にする」チェックボックスのチェックを外すと「保存」ボタンが選択できるようになりますが、設定は完了していません。

---

3. 設定保存画面が表示されますので、「はい」ボタンを選択してフォルダー監視設定値を保存します。
4. フォルダー監視設定画面右上にある「設定終了」ボタンを選択します。
5. 設定終了画面が表示されますので、「はい」ボタンを選択してフォルダー監視設定画面を閉じます。

4.4 ファクス転送を設定する

メイン画面で「ファクス転送」ボタンを選択すると、以下の「ファクス転送設定」画面が表示されます。画面上部の手順設定イメージの順序に従って、ファクス転送の設定を行います。

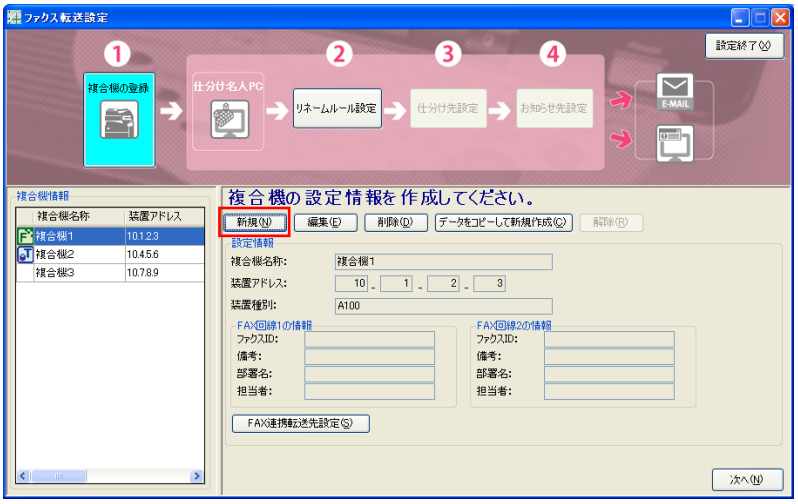


図 4.5　ファクス転送設定画面

参考

初回設定時は、「複合機の登録」ボタンのみが選択可能です。他のボタンは、直前の手順の設定が終了すると、順に選択可能となります。

「複合機の登録」→4.4.1 複合機を登録する
「リネームルール設定」→4.4.2 ファクス転送用リネームルールを設定する
「仕分け先設定」→4.4.3 ファクス転送用仕分け先を設定する
「お知らせ先設定」→4.4.4 ファクス転送用仕分け終了時のお知らせ先を設定する
「設定終了」→4.4.5 ファクス転送設定を終了する

注意

各設定は一連の手順として扱われるため、途中で終了した場合は、それまでの設定内容が破棄されます。「複合機の登録」を開始したら、必ず「設定終了」まで手順を進めてください。

4.4.1 複合機を登録する

ファクス転送に使用する複合機の設定情報を登録し、受信ファクスの転送先フォルダーを設定します。複合機の登録情報には、複合機名称、装置アドレス（IP アドレス）、複合機の装置種別およびリネームアイテムとするためのファクス回線情報があります。

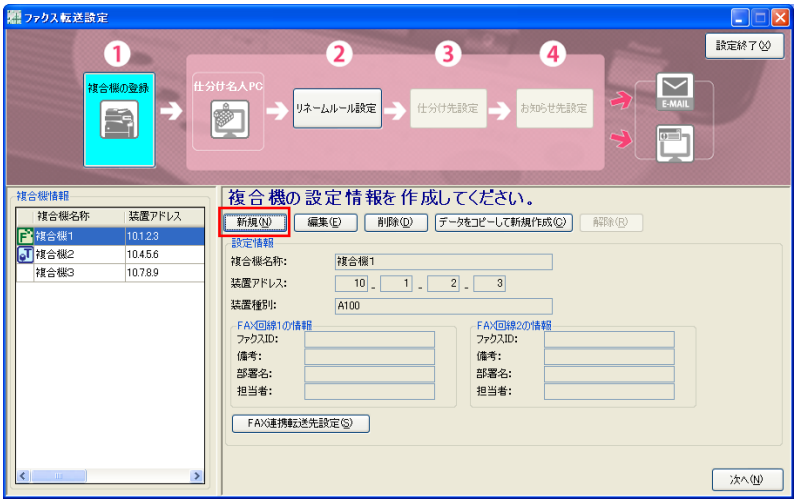
最初に複合機固有のネットワーク設定情報を作成した後、受信ファクスの転送先フォルダーを設定することで、対象となる複合機でファクス転送が使用可能となります。

①複合機の設定情報を作成する

ファクス転送に使用する複合機の設定情報を新規に作成する手順を説明します。

1. ファクス転送設定画面で「複合機の登録」ボタンを選択します。

2. 「新規」ボタンを選択します。



3. 複合機情報設定画面が表示されますので、複合機の各種情報を入力します。

■「複合機情報設定」画面

項目名	説明
複合機名称	仕分け名人アプリケーションで複合機を識別するための名称を設定します。
装置アドレス	複合機の IP アドレスを設定します。
「装置検索」ボタン	ネットワークに接続されている複合機を検索して、装置アドレスを自動入力する場合に選択します。 →「複合機の装置アドレスを装置検索によって取得する方法」(87 ページ)を参照
装置種別	対象となる複合機のタイプを、プルダウンメニューから選択します。
FAX 回線 1 の情報 ファクス ID	複合機に設定されているファクス回線 1 の着信ファクス番号を設定します。
FAX 回線 1 の情報 備考	複合機に設定されているファクス回線 1 に対する任意の情報を設定します。
FAX 回線 1 の情報 部署名	複合機に設定されているファクス回線 1 の使用部署名を設定します。
FAX 回線 1 の情報 担当者	複合機に設定されているファクス回線 1 の、受信ファクスファイル管理担当者名を設定します。
FAX 回線 2 の情報 ファクス ID	複合機に設定されているファクス回線 2 の着信ファクス番号を設定します。
FAX 回線 2 の情報 備考	複合機に設定されているファクス回線 2 に対する任意の情報を設定します。
FAX 回線 2 の情報 部署名	複合機に設定されているファクス回線 2 の使用部署名を設定します。
FAX 回線 2 の情報 担当者	複合機に設定されているファクス回線 2 の、受信ファクスファイル管理担当者名を設定します。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。 エラーメッセージが表示される場合は設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

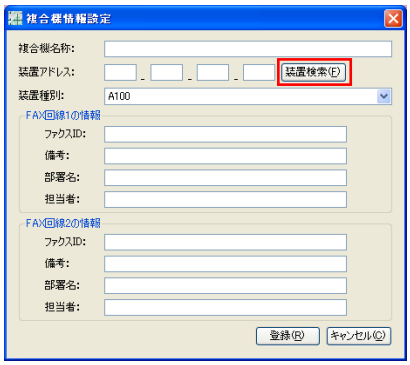
4. 「登録」ボタンを選択すると、新規に作成した複合機がファクス転送設定画面の「複合機情報」部に追加されます。

→「②複合機の受信ファクス転送先を設定する」へ進む

複合機の装置アドレスを装置検索によって取得する方法

ネットワークに接続されている複合機を検索して、装置アドレスを自動入力することができます。

(1) ①手順 3. の複合機情報設定画面で「装置検索」ボタンを選択します。



(2) 進歩状況画面が表示された後、複合機検索結果画面が表示されます。

注意

複合機検索結果画面が表示されない場合は、複合機の検索条件がご使用のネットワークに一致していない可能性があります。「キャンセル」ボタンを選択してください。空の複合機検索結果画面が表示されますので、手順(4)へ進んでください。

(3) 複合機検索結果画面の複合機一覧から目的の複合機を選択した後、「登録」ボタンを選択します。
選択した複合機の IP アドレスが、複合機設定画面の装置アドレスに自動入力されます。
目的の複合機情報が表示されない場合は、手順(4)へ進んで検索条件を変更してください。

(4) 「検索設定」ボタンを選択し、装置検索設定画面で検索設定を入力します。

(5) 「登録」ボタンを選択すると、複合機検索結果画面に戻ります。
複合機検索結果画面に目的の複合機情報が表示された場合は、手順(3)へ進んでください。目的の複合機情報が表示されない場合は、手順(4)へ進んで検索条件を変更してください。

参考

・複合機検索結果画面の詳細については、「■「複合機検索結果」画面」(21 ページ)を参照してください。

・装置検索設定画面の詳細については、「■「装置検索設定」画面」(22 ページ)を参照してください。

複合機登録情報を編集する方法

登録済みの複合機情報を編集することができます。

(1) ファクス転送設定画面で「複合機の登録」ボタンを選択します。

(2) 編集したい複合機情報を選択して、「編集」ボタンを選択します。

(3) 複合機情報設定画面が表示されたら、各種情報を編集した後に「登録」ボタンを選択します。

複合機登録情報をコピーして作成する方法

作成済みの複合機登録情報をコピーして、新規に作成することができます。

(1) ファクス転送設定画面で「複合機の登録」ボタンを選択します。

(2) コピー元にしたい複合機情報を選択し、「データをコピーして新規作成」ボタンを選択します。

(3) 複合機情報設定画面が表示されますので、各種情報を編集した後、「登録」ボタンを選択します。

複合機設定情報を削除する方法

作成済みの複合機登録情報を削除することができます。

(1) ファクス転送設定画面で「複合機の登録」ボタンを選択します。

(2) 削除したい複合機情報を選択して、「削除」ボタンを選択します。

(3) 選択した複合機情報が「複合機情報」部から削除されます。

②複合機の受信ファクス転送先を設定する

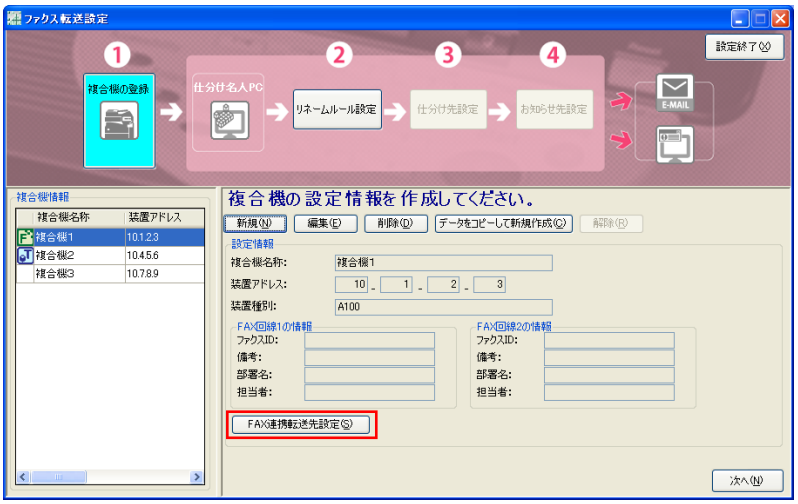
複合機情報の作成が完了したら、対象となる複合機に受信ファクスの転送先フォルダーを設定します。

注意

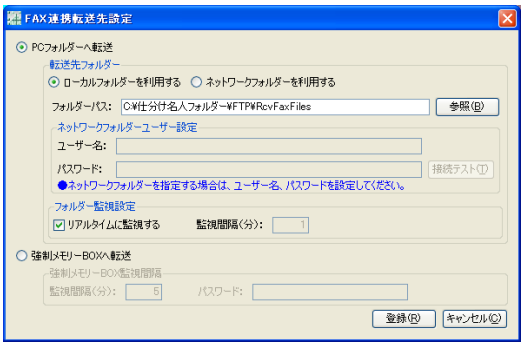
ここで指定する「転送先フォルダー」へ受信ファクスファイルを転送するためには、あらかじめ複合機での設定が必要です。

指定方法については、「B.7 複合機の受信ファクス転送先フォルダーを設定する（複合機）」(194 ページ)を参照してください。

1. 複合機の登録画面で、受信ファクスの転送先を設定する複合機情報を選択して「FAX 連携転送先設定」ボタンを選択します。



2. FAX 連携転送先設定画面が表示されますので、受信ファクス転送先の各種情報を入力します。



注意

フォルダーパスは、複合機ごとに異なるフォルダーを指定してください。
異なる複合機で同じフォルダーパスを指定した場合、仕分けやリネームが正常に行われないことがあります。

■「FAX 連携転送先設定」画面

項目名	説明
PC フォルダーへ転送	受信ファクスの転送先として PC フォルダーを指定します。
ローカルフォルダーを利用する	受信ファクス転送先としてローカルフォルダーを指定します。 ※基本的に内蔵ハードディスクドライブを指定してください。 リムーバブルディスク(USB ディスクなど)は、特性上データの破損がしやすいことから推奨しません。
ネットワークフォルダーを利用する	受信ファクス転送先としてネットワークに接続された PC のフォルダーを指定します。
フォルダーパス	受信ファクス転送先フォルダーのパスを設定します。 複合機での設定が必要です。 →「B.7 複合機の受信ファクス転送先フォルダーを設定する（複合機）」
「参照」ボタン	選択するとフォルダー参照画面が表示されます。この画面で受信ファクス転送先フォルダーを選択すると、「フォルダーパス」部に自動的にパスが設定されます。 フォルダー参照画面で、受信ファクス転送先フォルダーを新規作成することも可能です。
ユーザー名	受信ファクス転送先フォルダーをネットワークに接続された PC に設定する場合、Server Message Block (SMB)へのログインユーザー名を設定します。 最大 256 文字までの半角文字のみ有効です。
パスワード	受信ファクス転送先フォルダーをネットワークに接続された PC に設定する場合、Server Message Block (SMB)へのログインパスワードを設定します。 最大 256 文字までの半角文字のみ有効です。
「接続テスト」ボタン	設定された情報で、設定された受信ファクス転送先フォルダーに接続可能かをテストします。
リアルタイムに監視する	スキャン画像が監視フォルダーに保存されたかを、リアルタイムで確認する場合にチェックを入れます。 リアルタイム監視は、Windows OS 上のネットワークフォルダーにのみの対応となり、Linux 等の OS 上のネットワークフォルダーは非対応となります。 Linux 等の OS で動く NAS の中にあるネットワークフォルダーを監視フォルダとして利用される場合、「リアルタイムに監視する」にチェックが入っていると正常に仕分けされない場合がありますので、「リアルタイムに監視する」のチェックは外してご利用ください。
監視間隔（分）	ファクス画像が受信ファクス転送先フォルダーに保存されたかを確認する監視間隔を指定します。 「リアルタイムに監視する」のチェックが外れている場合に適用されます。
「強制メモリーBOX へ転送」ラジオボタン	受信ファクスの転送先として強制メモリーBOX を指定する場合に選択します。
監視間隔（分）	ファクス画像が強制メモリーBOX に保存されたかを確認する監視間隔を指定します。
パスワード	強制メモリーBOX へのログインパスワードを設定します。
「詳細」ボタン	強制メモリーBOX の BOX 詳細設定画面を表示します。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。 エラーメッセージが表示される場合は設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

注意

FTP サーバー設定のルートフォルダー、およびフォルダー監視で設定した監視フォルダーを、受信ファクス転送先フォルダーに指定することはできません。フォルダーパス設定時は注意してください。

3. 「登録」ボタンを選択すると、選択した複合機情報の左端に、受信ファクス転送先が設定されたことを示すファクス転送アイコンが表示されます。

→「4.4.2 ファクス転送用リネームルールを設定する」へ進む

複合機の受信ファクス転送先を解除する方法

複合機登録情報に設定されている受信ファクスの転送先設定を解除することができます。

(1) ファクス転送設定画面で「複合機の登録」ボタンを選択します。

(2) ファクス転送から除外したい複合機情報を選択して、「解除」ボタンを選択します。

(4) 選択した複合機情報の左端に表示されているファクス転送アイコンが削除されます。

4.4.2 ファクス転送用リネームルールを設定する

受信ファクス転送先フォルダーに転送されたファクスデータに対し、リネームルールを作成してアドレス帳に登録された送信者ファクス番号ごとに適用します。
（アドレス帳への送信者ファクス番号の登録については、「4.6 アドレス帳を設定する」（114 ページ）を参照してください。）

参考

送信者 FAX 番号一覧には、標準で「FAX 番号未指定」行が表示されています。
これは、アドレス帳に登録されていない送信者ファクス番号から、FAX を受信した場合の「リネームルール」、「仕分け先」、「お知らせ先」を設定するために使用します。
なお、アドレス帳に登録したファクス番号に、「仕分け先」を設定しなかった場合にも「FAX 番号未指定」の設定が使用されます。

例）設定例

■設定内容

	送信者ファクス番号	リネームルール設定	仕分け先設定	お知らせ先設定
①	FAX 番号未指定	リネーム１	仕分け先１	お知らせ１
②	0300001111	（無し）	（無し）	（無し）
③	0300002222	リネーム２	（無し）	お知らせ２
④	0300003333	（無し）	仕分け先２	お知らせ３

■仕分け結果

	送信者ファクス番号	リネーム結果	仕分け先結果	お知らせ先結果
①	FAX 番号未指定	リネーム１	仕分け先１	お知らせ１
②	0300001111	リネーム１	仕分け先１	お知らせ１
③	0300002222	リネーム１	仕分け先１	お知らせ１
④	0300003333	（無し）	仕分け先２	お知らせ３

上記②、③は、仕分け先設定を行っていないので、FAX 番号未指定の設定が反映されます。

注意

リネームルールの設定は、複合機の登録おいて選択した複合機に、受信ファクス転送先が設定されている場合に可能となります。

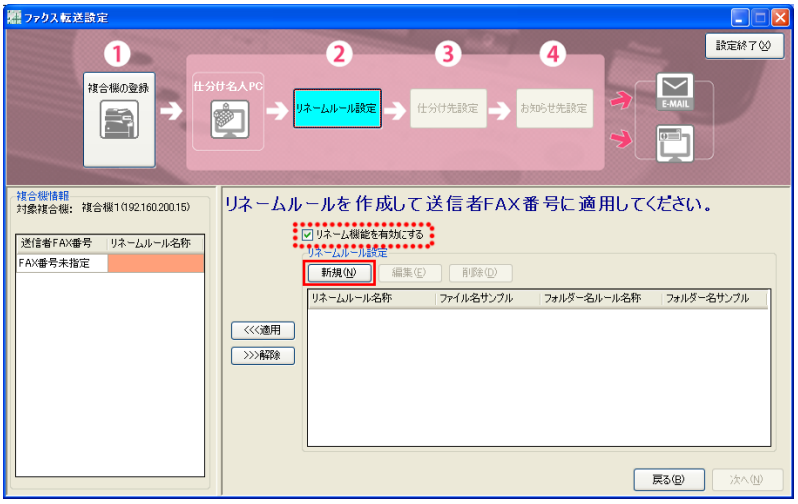
参考

受信ファクスデータは、リネームルールを設定しないで仕分けすることも可能です。リネームルールが設定されていない受信ファクスデータは、複合機で設定されたファイル名で仕分けされます。リネームルールを設定しない場合は、「4.4.3 ファクス転送用仕分け先を設定する」（99 ページ）に進みます。

①リネームルールを作成する

受信ファクスデータのリネームルールを新規に作成する手順を説明します。

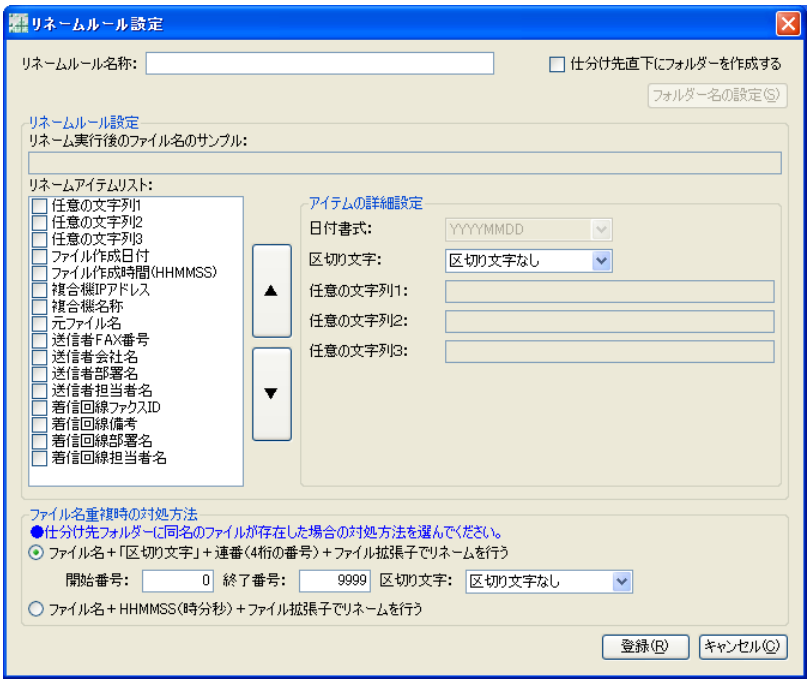
1. 複合機の登録画面で受信ファクス転送先が設定された複合機を選択して、「リネームルール設定」ボタンまたは「次へ」ボタンを選択します。
2. 「リネーム機能を有効にする」にチェックが入っていることを確認して、「新規」ボタンを選択します。



注意

「リネーム機能を有効にする」にチェックが入っていない場合は、リネームルール設定用およびリネームルールを BOX に適用するための各ボタンが、選択できない状態となります。リネームルールを設定する場合は、必ず「リネーム機能を有効にする」にチェックを入れてください。

3. リネームルール設定画面が表示されます。リネームルールの各種情報を入力します。



■「リネームルール設定」画面

項目名	説明
リネームルール名称	リネームルールの名称を設定します。
「仕分け先直下にフォルダーを作成する」	仕分け先フォルダーの直下に新たなフォルダーを自動作成して、このフォルダーに仕分け後のスキャン画像を保存する場合に選択します。 →「②自動作成フォルダーのフォルダー名ルールを設定する」を参照
「フォルダー名の設定」ボタン	「仕分け先直下にフォルダーを作成する」にチェックを入れると、選択可能になります。
リネーム実行後のファイル名のサンプル	設定したリネームルールでサンプル文字列を表示します。
リネームアイテムリスト	リネームルールに利用するアイテムにチェックを入れます。 リネームアイテムは複数選択することが可能です。 「ファイル作成日付」、「任意の文字列 1」、「任意の文字列 2」、「任意の文字列 3」を選択した場合は、各アイテムの詳細を設定します。 ※注意 下記の項目をリネームアイテムとして使用する場合、各項目の文字列にファイル名禁止文字列（¥/:*?"<>|）が含まれると、リネームできません。 ファイル名禁止文字列が含まれないようにしてください。 ・複合機名称 ・送信者会社名 ・送信者部署名 ・送信者担当者名 ・着信回線備考 ・着信回線部署名 ・着信回線担当者名

自動 FAX 番号情報をリネームアイテムに表示する	リネームアイテムリストにファクス回線 1 およびファクス回線 2 の「ファクス番号」、「備考」、「部署名」、「担当者」を追加する場合にチェックを入れます。
「▲」「▼」ボタン	選択したリネームアイテムの適用順位を、1 つ上下に移動します。
日付書式	ファイル作成日付の表示形式を、プルダウンメニューから選択します。 リネームアイテムリストで「ファイル作成日付」を選択した場合に、設定可能となります。
区切り文字	リネームアイテム間の区切り文字を、プルダウンメニューから選択します。
任意の文字列 1～3	リネームに含めたい文字列を入力します。 リネームアイテムリストで「任意の文字列 1～3」を選択した場合に、設定可能となります。
「ファイル名重複時の対処方法」	仕分け先のフォルダーに同名のファイルが存在した場合の対処方法を選択します。
ファイル名＋「区切り文字」＋連番（4 桁の番号）＋ファイル拡張子でリネームを行う	ファイル名重複時の対処方法として、ファイル名＋区切り文字＋連番（4 桁の番号）＋ファイル拡張子でリネームを行いたい場合にチェックを入れます。以下の各項目を設定します。 ・開始番号：連番（4 桁の番号）部の開始番号 ・終了番号：連番（4 桁の番号）部の終了番号 ・区切り文字：プル段ウンメニューから選択
ファイル名＋HHMMSS（時分秒）＋ファイル拡張子でリネームを行う	ファイル名重複時の対処方法として、ファイル名＋HHMMSS（時分秒）＋ファイル拡張子でリネームを行いたい場合にチェックを入れます。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

4. 「登録」ボタンを選択すると、新規に作成したリネームルールが「リネームルール設定」部に追加されます。

→「③送信者ファクス番号にリネームルールを適用する」へ進む

以下の操作の詳細については、「4.1.3 スキャンファイルのリネームルールを設定する」の「①リネームルールを作成する」（30 ページ）を参照してください。

・リネームルールを編集する方法

・リネームルールを削除する方法

②自動作成フォルダーのフォルダー名ルールを設定する

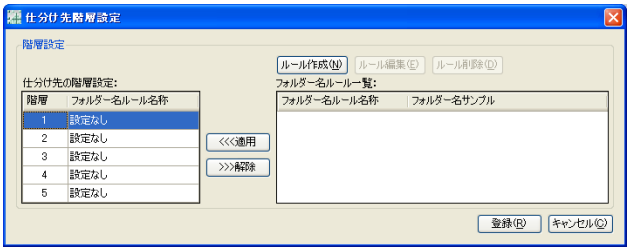
仕分け先フォルダーの直下に新たなフォルダーを自動作成して、このフォルダー階層にリネーム処理した受信ファクスデータを保存することができます。このとき作成されるフォルダーの名称作成ルールを設定します。

参考

この操作は、自動作成フォルダーを作成したい場合に選択します。

1. ①手順 3. のリネームルール設定画面で「仕分け先直下にフォルダーを作成する」にチェックを入れた後、「フォルダー名の設定」ボタンを選択します。

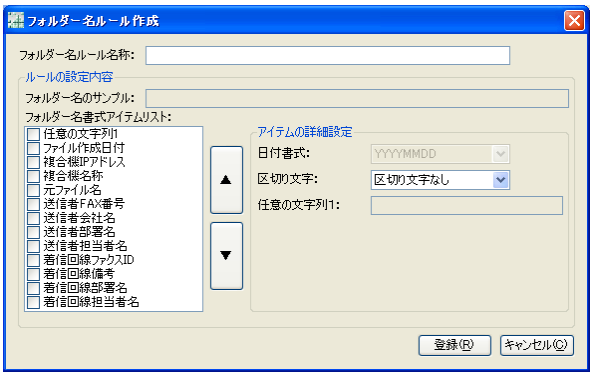
2. 仕分け先階層設定画面が表示されます。「ルール作成」ボタンを選択します。



参考

最大 50 件のフォルダー名ルールが作成できます。

3. フォルダー名ルール作成画面が表示されますので、フォルダー名ルールを設定します。



■「フォルダー名ルール作成」画面

項目名	説明
フォルダー名ルール名称	フォルダー名作成ルールの名称を入力します。
フォルダー名のサンプル	設定したフォルダー名ルールでサンプル文字列を表示します。 選択したフォルダーにはチェックマークが付記されます。

項目名	説明
フォルダー名書式アイテムリスト	フォルダー名ルールに利用するアイテムにチェックを入れます。 フォルダー名書式アイテムは複数選択することが可能です。 「スキャン実行日付」、「任意の文字列 1」を選択した場合は、各アイテムの詳細を設定します。 複数のフォルダー名書式アイテムを選択した場合は、「▲」「▼」およびボタンによって、フォルダー名の適用順位を変更することが可能です。
「▲」「▼」ボタン	選択したフォルダー名書式アイテムの適用順位を、上下に移動します。
日付書式	スキャン実行日付の表示形式を、プルダウンメニューから選択します。 フォルダー名書式アイテムリストで「スキャン実行日付」を選択した場合に、設定可能となります。
区切り文字	フォルダー名書式アイテム間の区切り文字を、プルダウンメニューから選択します。
任意の文字列 1	フォルダー名に含めたい文字列を入力します。 フォルダー名書式アイテムリストで「任意の文字列 1」を選択した場合に、設定可能となります。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。エラーメッセージが表示された場合は、設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

4. 「登録」ボタンを選択すると、新規に作成したフォルダー名ルールが仕分け先階層設定画面の「フォルダー名ルール一覧」部に追加されます。
5. 「仕分け先の階層設定」部からルールを適用したい階層を選択し、設定したフォルダー名ルールを選択した状態で、「<<<適用」ボタンを選択します。

参考
複数の階層を選択して、同じフォルダー名ルールを適用することもできます。

6. 「登録」ボタンを選択します。
7. ①手順 3. へ戻って、リネームルールの作成操作を継続します。

→「③受信ファクス番号にリネームルールを適用する」へ進む

参考
リネームルール設定画面の詳細については、「■「リネームルール設定」画面」（94ページ）を参照してください。

以下の操作方法については、「4.1.3 スキャンファイルのリネームルールを設定する」の「②自動作成フォルダーのフォルダー名ルールを設定する」（33 ページ）を参照してください。

・フォルダー名ルールを編集する方法
・フォルダー名ルールを削除する方法
・フォルダー名ルールの適用を解除する方法

③送信者ファクス番号にリネームルールを適用する

リネームルールの作成が終了したら、送信者ファクス番号ごとにリネームルールを適用します。これにより、作成したリネームルールをファクス転送に使用することが可能となります。

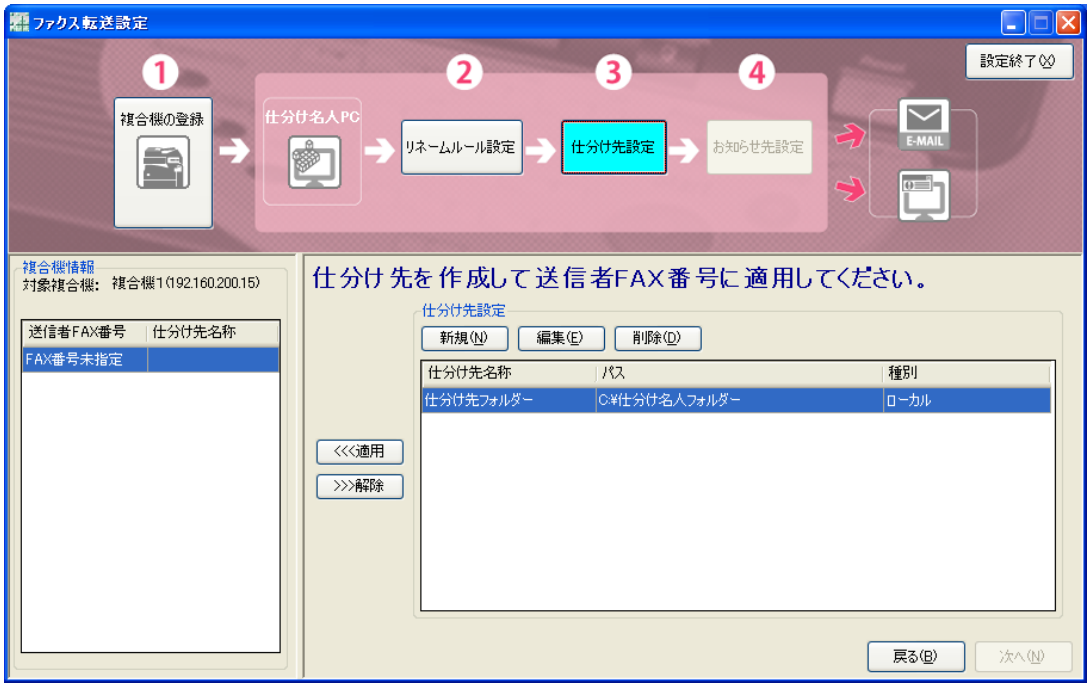
適用方法の詳細については、「4.1.3 スキャンファイルのリネームルールを設定する」の「③書類ボタンにリネームルールを適用する」（36 ページ）を参照してください。

→「4.4.3 ファクス転送用仕分け先を設定する」へ進む

4.4.3 ファクス転送用仕分け先を設定する

受信ファクス転送先フォルダーに転送されたファクスデータの仕分け先フォルダーを指定して、送信者ファクス番号に仕分け先を登録します。

仕分け先はローカルフォルダー、ネットワークフォルダーおよび FTP の 3 種類から選択することが可能です。また、仕分け先は複数作成することが可能です。ただし、1 つの送信者ファクス番号には 1 つの仕分け先のみ適用されます。



注意

仕分け先の設定は、複合機の登録おいて選択した複合機に、受信ファクス転送先が設定されている場合に可能となります。

①仕分け先を作成する

ファクス転送の仕分け先を作成します。仕分け先のフォルダーは、ローカルフォルダー、ネットワークフォルダーおよび FTP のいずれかから選択することができます。これらの設定情報は選択された仕分け先によって異なります。

作成方法の詳細については、「4.1.4 スキャンファイルの仕分け先を設定する」の「①仕分け先を作成する」（38 ページ）を参照してください。

②送信者ファクス番号に仕分け先を適用する

仕分け先の作成が終了したら、送信者ファクス番号ごとに仕分け先を適用します。これにより、作成した仕分け先をファクス転送に使用することが可能となります。

適用方法の詳細については、「4.1.4 スキャンファイルの仕分け先を設定する」の「③ 書類ボタンに仕分け先を適用する」（43 ページ）を参照してください。

→「4.4.4 ファクス転送用仕分け終了時のお知らせ先を設定する」へ進む

4.4.4 ファクス転送用仕分け終了時のお知らせ先を設定する

ファクス転送が終了したことを知らせるためのお知らせ先を作成して、送信者ファクス番号にお知らせ先を適用します。

お知らせ先は複数作成することが可能です。ただし、1 つの送信者ファクス番号には、1 つのお知らせ先のみ適用されます。

注意

お知らせ先の設定は、仕分け先設定の「監視フォルダー一覧」で、監視フォルダーに仕分け先が正しく設定されている場合に有効となります。

参考

「エラー通知を送る」にチェックを付けると、ファクス転送仕分け処理に失敗したとき、「FAX 番号未指定」に指定したお知らせ先にエラー通知のポップアップが表示されます。

①お知らせ先を作成する

お知らせ先は、DNS サーバーやメールアドレスを組み合わせた通知グループとして作成します。

作成方法の詳細については、「4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する」の「①お知らせ先を作成する」（45 ページ）を参照してください。

②送信者ファクス番号にお知らせ先を適用する

お知らせ先の作成が終了したら、送信者ファクス番号ごとにお知らせ先を適用します。これによって作成したお知らせ先をファクス転送に使用することが可能となります。

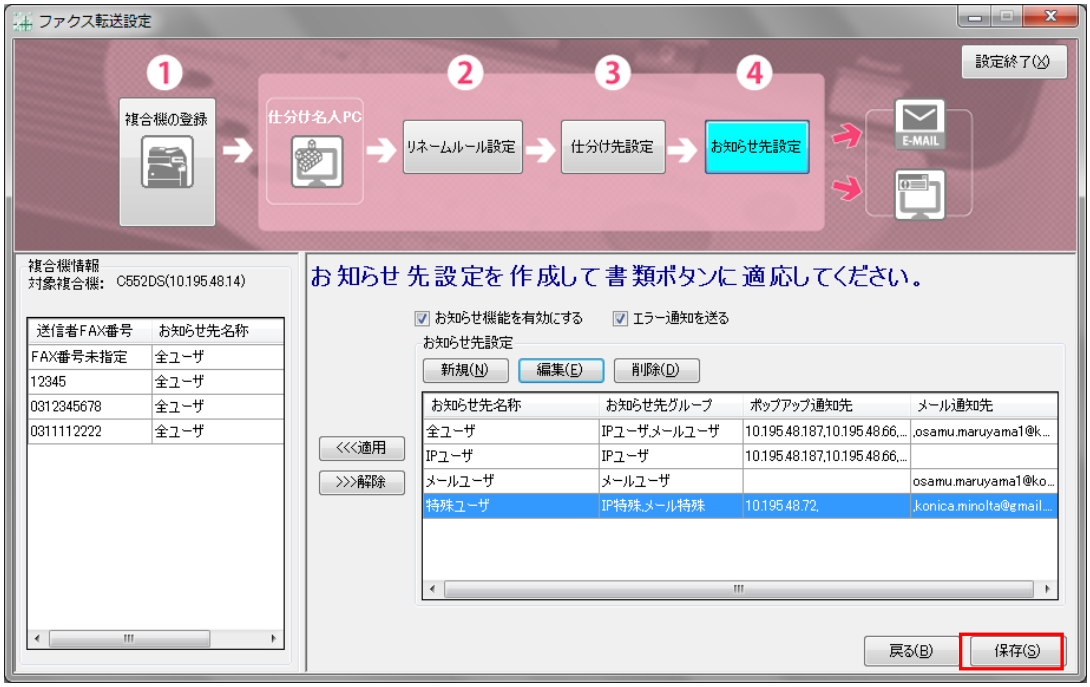
適用方法の詳細については、「4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する」の「②仕分け対象フォルダーにお知らせ先を設定する」（51 ページ）を参照してください。

→「4.4.5 ファクス転送設定を終了する」へ進む

4.4.5 ファクス転送設定を終了する

「複合機の登録」から「お知らせ先設定」まで終了したら、設定値を保存してファクス転送設定を終了します。

1. ファクス転送設定画面でお知らせ先設定の手順へ進みます。
2. 「保存」ボタンを選択します。



注意

- 「保存」ボタンは、お知らせ先設定が完了している場合に選択可能となります。選択できない場合は、お知らせ先設定を再設定してください。
- 「保存」ボタンを選択するときは、「お知らせ機能を有効にする」チェックボックスにチェックが入っていることを確認してください。
  「お知らせ機能を有効にする」チェックボックスのチェックを外すと「保存」ボタンが選択できるようになりますが、設定は完了していません。

3. 設定保存画面が表示されますので、「はい」ボタンを選択してファクス転送設定値を保存します。
4. ファクス転送設定画面右上にある「設定終了」ボタンを選択します。
5. 設定終了画面が表示されますので、「はい」ボタンを選択してファクス転送設定画面を閉じます。

4.5 BOX 転送（TSI）を設定する

メイン画面で「BOX 転送（TSI)」ボタンを選択すると、以下の「BOX 転送（TSI）設定」画面が表示されます。画面上部の手順設定イメージの順序に従って、BOX 転送（TSI）の設定を行います。

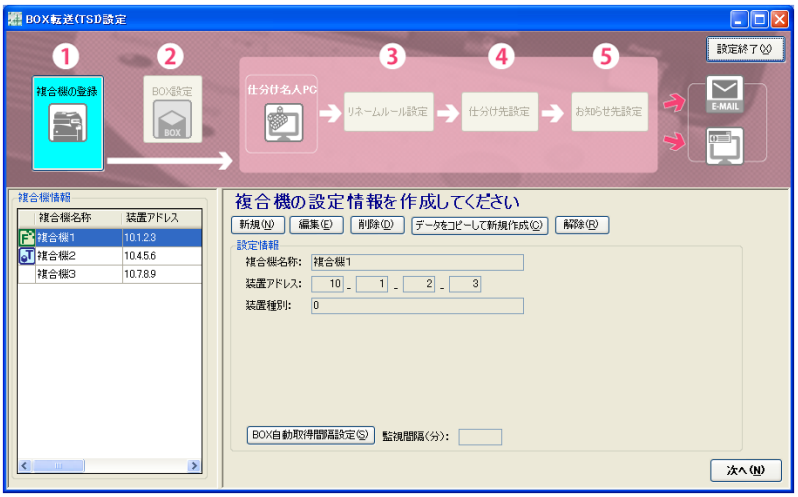


図 4.6　BOX 転送（TSI）設定画面

参考

初回設定時は、「複合機の登録」ボタンのみが選択可能です。他のボタンは、直前の手順の設定が終了すると、順に選択可能となります。

「複合機の登録」→4.5.1 複合機を登録する

「BOX 設定」→4.5.2 BOX を設定する

「リネームルール設定」→4.5.3 BOX 内ファクスデータのリネームルールを設定する

「仕分け先設定」→4.5.4 BOX 内ファクスデータの仕分け先を設定する

「お知らせ先設定」→4.5.5 BOX 内ファクスデータ仕分け終了時のお知らせ先を設定する

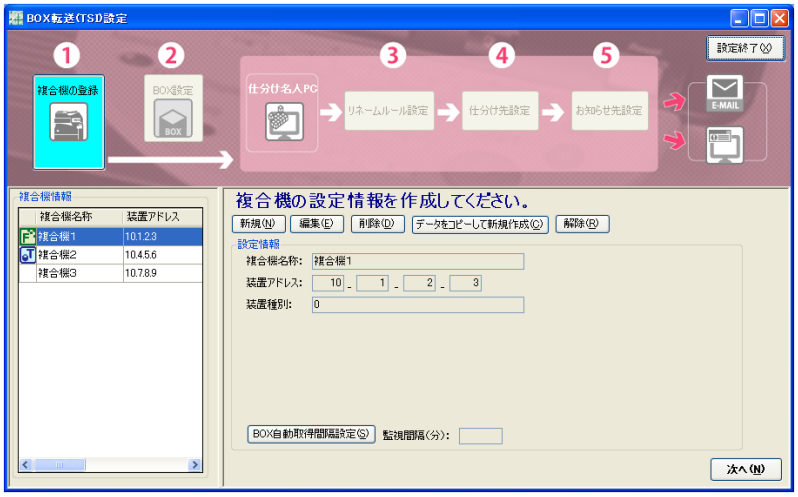
「設定終了」→4.5.6 BOX 転送（TSI）設定を終了する

注意

各設定は一連の手順として扱われるため、途中で終了した場合は、それまでの設定内容が破棄されます。「複合機の登録」を開始したら、必ず「設定終了」まで手順を進めてください。

4.5.1 複合機を登録する

BOX 転送（TSI）に使用する複合機の設定情報を登録します。複合機の登録情報には、複合機名称、装置アドレス（IP アドレス）、および複合機の装置種別があります。また、BOX に仕分け対象となる受信ファクスデータが保存されたかを確認するための、監視間隔（時間）を設定します。



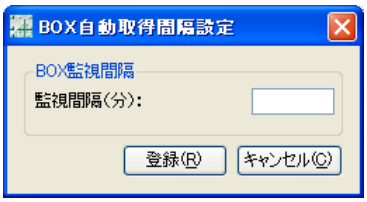
①複合機の設定情報を作成する

BOX 転送（TSI）に使用する複合機の設定情報を作成します。

作成方法の詳細については、「4.2.1 複合機を登録する」の「①複合機の設定情報を作成する」（57 ページ）を参照してください。

②BOX 自動取得間隔を設定する

1. BOX 転送（TSI）設定画面で、「BOX 自動取得間隔設定」ボタンを選択します。
2. BOX 自動取得間隔設定画面が表示されますので、BOX に仕分け対象となる受信ファクスデータが保存されたかを確認する監視間隔を設定して、「登録」ボタンを選択します。



3. BOX 転送（TSI）設定画面の「監視間隔（分）」部に、設定した時間が表示されることを確認します。また、選択した複合機情報の左端に、BOX 転送（TSI）が設定されたことを示す BOX 転送（TSI）アイコンが表示されることを確認します。

→「4.5.2 BOX を設定する」へ進む

複合機の BOX 転送（TSI）を解除する方法

複合機登録情報に設定されている BOX 転送（TSI）設定を解除することができます。

(1) BOX 転送（TSI）設定画面で「複合機の登録」ボタンを選択します。

(2) BOX 転送（TSI）から除外したい複合機情報を選択して、「解除」ボタンを選択します。

(3) 選択した複合機情報の左端に表示されているファクス転送アイコンが削除されます。

4.5.2 BOX を設定する

複合機の BOX を指定して、仕分け名人アプリケーションの BOX 転送（TSI）で使用できるように設定します。

注意

BOX の設定は、複合機の登録おいて選択した複合機に、BOX 自動取得間隔が設定されている場合に可能となります。未設定の場合は、BOX の設定に移行することができません。

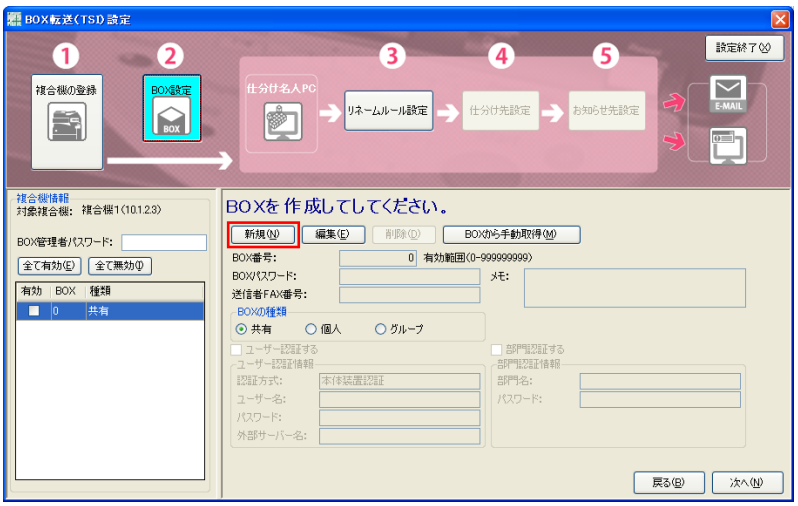
---

①BOX 情報を作成する

BOX 情報を新規に作成する手順を説明します。

1. BOX 転送（TSI）設定画面の「複合機情報」部から対象の複合機を選択し、「BOX 設定」ボタンまたは「次へ」ボタンを選択します。

2. 「新規」ボタンを選択します。



3. BOX 詳細設定画面が表示されますので、BOX の各種情報を入力します。

■「BOX 詳細設定」画面

項目名	説明
BOX 番号	複合機からの受信ファクスデータを保存する BOX 番号を設定します。 対象の複合機で以下の設定が行われている場合は、BOX 転送（TSI）は使用できません。 ・BOX 転送設定で同一複合機の 0 番 BOX が使用されている ・ファクス転送機能で同一複合機が使用されている
有効範囲	BOX 番号の有効範囲を表示します。
BOX パスワード	BOX のパスワードを設定します。最大 8 文字の半角数字のみ有効です。
「送信者 FAX 番号」ボタン	送信者ファクス番号をアドレス帳から自動取得する場合に選択します。
メモ	任意の情報を設定します。
BOX の種類	BOX の種類を設定します。
ユーザー認証する	BOX の種類として「個人」または「グループ」を選択した場合に選択可能となります。
認証方式	ユーザー認証の方式をプルダウンメニューから選択します。 「ユーザー認証する」にチェックを入れた場合に選択可能となります。
ユーザー名	ユーザー認証に使用するユーザー名を設定します。 「ユーザー認証する」にチェックを入れた場合に選択可能となります。
「ユーザー認証」部のパスワード	ユーザー認証に使用するパスワードを設定します。 「ユーザー認証する」にチェックを入れた場合に選択可能となります。
外部サーバー名	「外部サーバー設定」ボタンの選択によって設定された外部サーバー名を表示します。
「外部サーバー設定」ボタン	選択すると外部サーバー情報画面が表示されます。 認証方式として「外部サーバー」を選択した場合に必須項目となります。 →「ユーザー認証情報の外部サーバーを設定する方法」を参照
「中間認証設定」ボタン	選択すると中間認証設定画面が表示されます。 認証方式として「外部サーバー」を選択した場合に必須項目となります。 →「ユーザー認証情報の中間認証サーバーを設定する方法」を参照
部門認証する	BOX の種類として「グループ」を選択した場合に選択可能となります。 認証方式として「中間サーバー」を選択した場合に必須項目となります。 →「ユーザー認証情報の部門認証サーバーを設定する方法」を参照
部門名	部門認証の部門名を設定します。 「部門認証する」にチェックを入れた場合に選択可能となります。
「部門認証」部のパスワード	部門認証のパスワードを設定します。「部門認証する」にチェックを入れた場合に選択可能となります。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。 エラーメッセージが表示される場合は設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

4. 「登録」ボタンを選択すると、新規に作成した BOX 情報が「複合機情報」部に追加されます。

→「②BOX を有効にする」へ進む

以下の操作の詳細については、「4.2.2 BOX を設定する」の「①BOX 情報を作成する」（105 ページ）を参照してください。

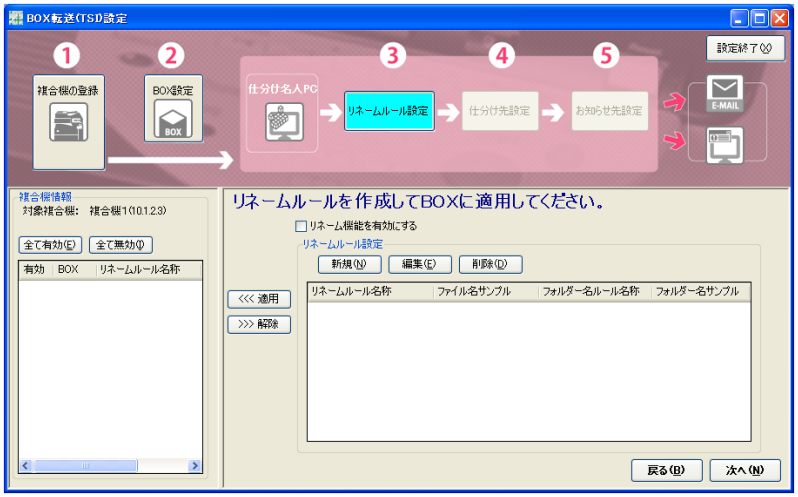
・ユーザー認証情報の外部サーバーを設定する方法
・ユーザー認証情報の中間認証サーバーを設定する方法
・BOX の各種情報を編集する方法
・BOX を削除する方法
・BOX からファイルを手動取得する方法

②BOX を有効にする

BOX の登録が終了したら、BOX が有効になるように設定します。
設定方法の詳細については、「4.2.2 BOX を設定する」の「②BOX を有効にする」（65 ページ）を参照してください。
→「4.5.3 BOX 内ファクスデータのリネームルールを設定する」へ進む

4.5.3 BOX 内ファクスデータのリネームルールを設定する

BOX 内に保存された受信ファクスデータに対し、リネームルールを作成して BOX ごとに適用します。リネームルールは複数作成することが可能です。ただし、1 つの BOX には 1 つのリネームルールのみ適用されます。



注意
リネームルールの設定は、BOX 設定における「複合機情報」部に、1 個以上の BOX が有効に設定されている場合に可能となります。

参考

BOX 内受信ファクスデータは、リネームルールを設定しないで仕分けすることも可能です。リネームルールが設定されていない受信ファクスデータは、複合機で設定されたファイル名で仕分けされます。リネームルールを設定しない場合は、「4.5.4 BOX 内ファクスデータの仕分け先を設定する」（109 ページ）に進みます。

①リネームルールを作成する

BOX 内受信ファクスデータのリネームルールを作成します。

作成方法の詳細については、「4.2.3 BOX 内ファイルのリネームルールを設定する」の「①リネームルールを作成する」（66 ページ）および「②自動作成フォルダーのフォルダー名ルールを設定する」（69 ページ）を参照してください。

②BOX にリネームルールを適用する

リネームルールの作成が終了したら、BOX ごとにリネームルールを適用します。これにより、作成したリネームルールを BOX に関連付けることができます。

適用方法の詳細については、「4.1.3 スキャンファイルのリネームルールを設定する」の「③書類ボタンにリネームルールを適用する」（36 ページ）を参照してください。

注意

下記の項目をリネームアイテムとして使用する場合、各項目の文字列にファイル名禁止文字列（¥/:*?"<>|）が含まれると、ファイルが作成できません。

ファイル名禁止文字列が含まれないようにしてください。

・複合機名称

・送信者会社名

・送信者部署名

・送信者担当者名

---

③リネームルールを適用した BOX を有効にする

BOX へのリネームルール適用が終了したら、登録されている BOX を有効に設定します。これにより、作成したリネームルールを BOX 転送（TSI）に使用することが可能となります。

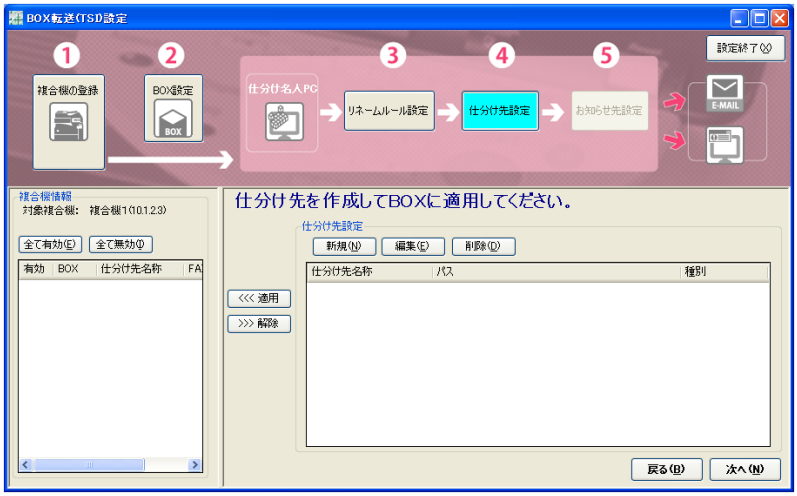
設定方法の詳細については、「4.2.2 BOX を設定する」の「②BOX を有効にする」（65 ページ）を参照してください。

→「4.5.4 BOX 内ファクスデータの仕分け先を設定する」へ進む

4.5.4 BOX 内ファクスデータの仕分け先を設定する

BOX 内に保存された受信ファクスデータの仕分け先フォルダーを指定して、BOX に仕分け先を登録します。

仕分け先はローカルフォルダー、ネットワークフォルダーおよび FTP の 3 種類から選択することが可能です。また、仕分け先は複数作成することが可能です。ただし、1 つの BOX には 1 つの仕分け先のみ適用されます。



注意

仕分け先の設定は、BOX 設定の「複合機情報」部に、1 個以上の BOX が有効に設定されている場合に可能となります。

①仕分け先を作成する

BOX 転送（TSI）の仕分け先を作成します。仕分け先のフォルダーは、ローカルフォルダー、ネットワークフォルダーおよび FTP のいずれかから選択することができます。これらの設定情報は選択された仕分け先によって異なります。

作成方法の詳細については、「4.1.4 スキャンファイルの仕分け先を設定する」の「①仕分け先を作成する」（38 ページ）を参照してください。

②送信者ファクス番号に仕分け先を適用する

仕分け先の作成が終了したら、BOX ごとに仕分け先を適用します。これにより、作成した仕分け先を BOX 転送（TSI）に関連付けることができます。

適用方法の詳細については、「4.1.4 スキャンファイルの仕分け先を設定する」の「③ 書類ボタンに仕分け先を適用する」（43 ページ）を参照してください。

③仕分け先を適用した BOX を有効にする

BOX への仕分け先適用が終了したら、登録されている BOX を有効に設定します。これにより、作成した仕分け先を BOX 転送（TSI）に使用することが可能となります。

設定方法の詳細については、「4.2.2 BOX を設定する」の「②BOX を有効にする」（65 ページ）を参照してください。

→「4.5.5 BOX 内ファクスデータ仕分け終了時のお知らせ先を設定する」へ進む

4.5.5 BOX 内ファクスデータ仕分け終了時のお知らせ先を設定する

BOX 転送（TSI）が終了したことを知らせるためのお知らせ先を作成して、BOX にお知らせ先を適用します。

お知らせ先は複数作成することが可能です。ただし、1 つの BOX には、1 つのお知らせ先のみ適用されます。

注意

お知らせ先の設定は、仕分け先設定の「複合機情報」で、BOX に仕分け先が正しく設定されている場合に有効となります。

参考

「エラー通知を送る」にチェックを付けると、ファクス転送仕分け処理に失敗したとき、「FAX 番号未指定」に指定したお知らせ先にエラー通知のポップアップが表示されます。

①お知らせ先を作成する

お知らせ先は、DNS サーバーやメールアドレスを組み合わせた通知グループとして作成します。

作成方法の詳細については、「4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する」の「①お知らせ先を作成する」（45 ページ）を参照してください。

②送信者ファクス番号にお知らせ先を適用する

お知らせ先の作成が終了したら、BOX ごとにお知らせ先を適用します。これによって作成したお知らせ先を BOX 転送（TSI）に関連付けることができます。

適用方法の詳細については、「4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する」の「②仕分け対象フォルダーにお知らせ先を設定する」（51 ページ）を参考してください。

BOX へのお知らせ先適用が終了したら、登録されている BOX を有効に設定します。これによって作成したお知らせ先を BOX 転送（TSI）に使用することが可能となります。

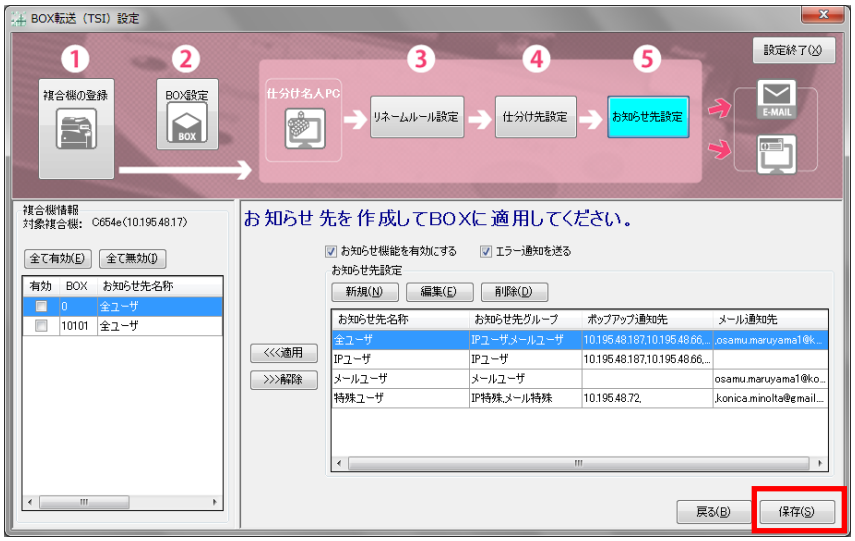
設定方法の詳細については、「4.2.2 BOX を設定する」の「②BOX を有効にする」（65 ページ）を参照してください。

→「4.5.6 BOX 転送（TSI）設定を終了する」へ進む

4.5.6 BOX 転送（TSI）設定を終了する

「複合機の登録」から「お知らせ先設定」まで終了したら、設定値を保存してファクス転送設定を終了します。

1. BOX 転送（TSI）設定画面でお知らせ先設定の手順へ進みます。
2. 「保存」ボタンを選択します。



注意

- 「保存」ボタンは、お知らせ先設定が完了している場合に選択可能となります。選択できない場合は、お知らせ先設定を再設定してください。
- 「保存」ボタンを選択するときは、「お知らせ機能を有効にする」チェックボックスにチェックが入っていることを確認してください。
  「お知らせ機能を有効にする」チェックボックスのチェックを外すと「保存」ボタンが選択できるようになりますが、設定は完了していません。

---

3. 設定保存画面が表示されますので、「はい」ボタンを選択して BOX 転送（TSI）設定値を保存します。
4. BOX 転送（TSI）設定画面右上にある「設定終了」ボタンを選択します。
5. 設定終了画面が表示されますので、「はい」ボタンを選択して BOX 転送（TSI）設定画面を閉じます。

4.6 アドレス帳を設定する

メイン画面で「アドレス帳」ボタンを選択すると、以下の「アドレス帳」画面が表示されます。
アドレス帳には、最大 2000 件までのアドレスが登録できます。

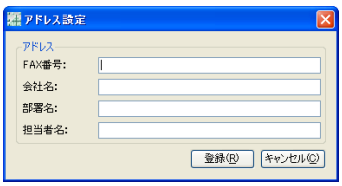
図 4.7　アドレス帳画面

①新規アドレスを作成する

新規アドレスを入力して登録する手順を説明します。

1.　「アドレス帳」画面で「新規」ボタンを選択します。

2.　「アドレス設定」画面が表示されます。項目を入力して、「登録」ボタンを選択します。



■「アドレス設定」画面

項目名	説明
FAX 番号	送信者の FAX 番号を設定します。必須項目です。 以下の制限文字は入力できません。″ ’ ¥ ＊ , / ? _ < > | :
会社名	送信者の会社名を設定します。
部署名	送信者の部署名を設定します。
担当者名	送信者の担当者名を設定します。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。 エラーメッセージが表示される場合は設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

3. 登録したアドレスが、アドレス帳画面に表示されます。

アドレスを編集する方法

登録したアドレスを編集することができます。

(1) 「アドレス帳」画面で、編集したいアドレスを選択して反転させます。

(2) 「編集」ボタンを選択すると、「アドレス設定」画面が表示されます。内容を編集後、「登録」ボタンを選択します。

アドレスを削除する方法

登録したアドレスを削除することができます。

(1) 「アドレス帳」画面で、削除したいアドレスを選択して反転させます。

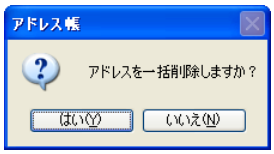
(2) 「削除」ボタンを選択すると、アドレスが削除されます。

アドレスを一括削除する方法

登録したアドレスを一括削除することができます。

(1) 「アドレス帳」画面で、「一括削除」ボタンを選択します。

(2) 以下の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、登録しているアドレスがすべて削除されます。



②アドレス帳をインポート／エクスポートする

アドレス帳をインポート／エクスポートする方法については、「5.2 アドレス帳をインポート／エクスポートする」（126 ページ）を参照してください。

4.7 仕分けを開始・停止する

仕分け設定が完了すると、下図の「仕分けスキャン」ボタンのように青色で表示されます。表示がグレーの状態の仕分けボタンは、まだ設定が完了していません。

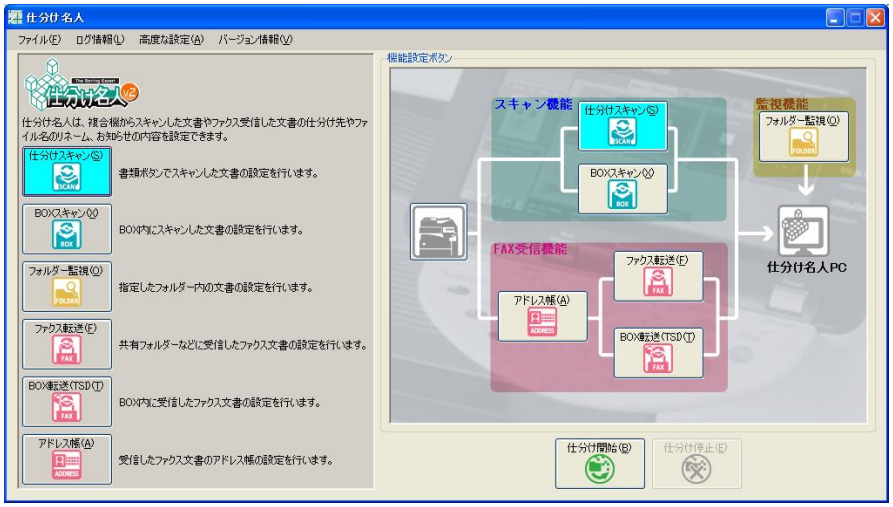
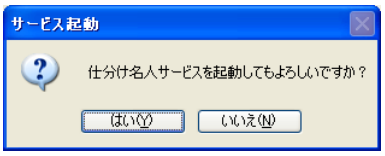


図 4.8　メイン画面

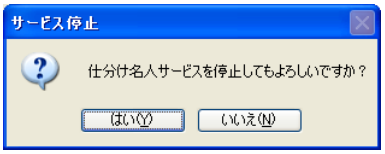
仕分け開始

仕分けが行われていないときは、「仕分け開始」ボタンが選択可能 になっています。仕分けを開始する場合に選択してください。
「仕分け開始」ボタンを選択すると、以下の確認画面が表示されます。



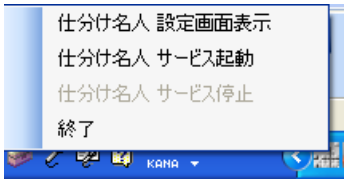
仕分け中止

仕分け実施中は、「仕分け停止」ボタンが選択可能 になります。仕分けを中止する場合に選択してください。
「仕分け開始」ボタンを選択すると、以下の確認画面が表示されます。



右クリックメニュー

仕分けサービスの開始・停止は、タスクトレイのアイコン の右クリックメニューで操作することもできます。



メニューの各項目の機能は以下のとおりです。

仕分け名人 設定画面表示：仕分け名人設定アプリケーションのメイン画面を表示します。

仕分け名人 サービス起動：仕分け名人サービスを起動します。

仕分け名人 サービス停止：仕分け名人サービスを停止します。

終了：仕分け名人設定アプリケーションを終了します。

サービス起動時のチェック項目について

仕分けスキャン機能、BOX スキャン機能、フォルダー監視機能、ファクス転送機能、BOX 転送（TSI）機能ごとに、仕分け名人サービス起動時のチェック項目が異なります。チェック項目と設定データに誤りがある場合には、仕分け名人サービスは起動されません。以下に各機能の状態とチェック項目の関係を示します。

機能	チェック項目
仕分けスキャン	FTP サーバー設定画面にてルートフォルダーが設定されていること
	リネームルール設定にて、リネームルール機能が無効であるか、リネームルール機能が有効で 1 つ以上の書類ボタンに対してリネームルールが設定されていること
	仕分け先設定にて、登録されている全ての書類ボタンに対して仕分け先が設定されていること
	お知らせ先設定にて、お知らせ先機能が無効であるか、お知らせ先機能が有効で 1 つ以上の書類ボタンに対してお知らせ先が設定されていること （「『書類選択画面』のみ表示する」が選択されている場合、仕分け名人アプリが登録済みの複合機に登録されている全ての書類ボタンに仕分け先が設定されていること）
BOX スキャン	BOX スキャン環境設定画面にて、テンポラリディレクトリーが設定されていること
	仕分け先設定にて、自動取得が有効になっている BOX の仕分け先が設定されていること
フォルダー監視	リネームルール設定にて、リネームルール機能が無効であるか、リネームルール機能が有効で 1 つ以上の監視対象フォルダーに対してリネームルールが設定されていること
	仕分け先設定にて、登録されている全ての監視対象フォルダーに対して仕分け先が設定されていること
	お知らせ先設定にて、お知らせ先機能が無効であるか、お知らせ先機能が有効で 1 つ以上の監視対象フォルダーに対してお知らせ先が設定されていること
ファクス転送	FAX 連携転送先設定画面にて、「強制メモリーBOX へ転送」が選択されている場合、BOX スキャン環境設定画面にて、テンポラリディレクトリーが設定されていること
	リネームルール設定にて、リネームルール機能が無効であるか、リネームルール機能が有効で 1 つ以上の送信者 FAX 番号に対してリネームルールが設定されていること
	仕分け先設定にて、FAX 番号未指定の仕分け先が設定されていること

	お知らせ先設定にて、お知らせ先機能が無効であるか、お知らせ先機能が有効で 1 つ以上の送信者 FAX 番号に対してお知らせ先が設定されていること
BOX 転送（TSI）	BOX スキャン環境設定画面にて、テンポラリディレクトリーが設定されていること
	仕分け先設定にて、自動取得が有効になっている BOX の仕分け先が設定されていること

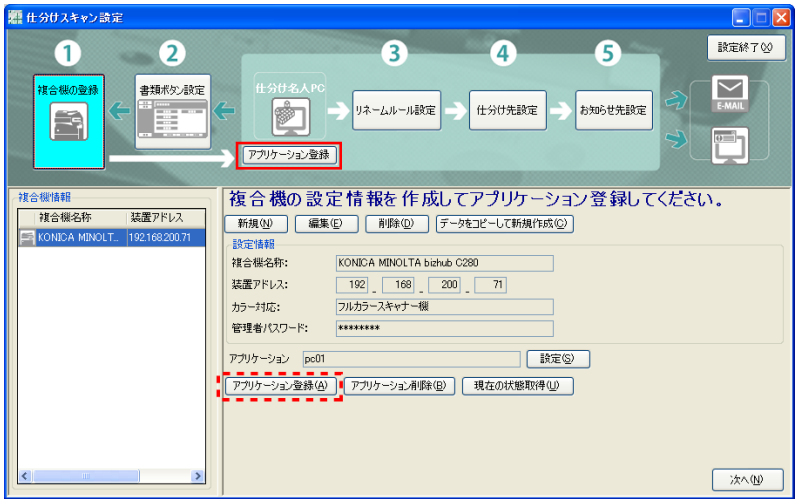
4.8 設定の変更を反映する

仕分け設定の各画面で設定内容を保存する際、サービスが起動中の場合は、サービスの再起動を行うかどうかを確認するダイアログが表示されます。
サービスが停止中の場合は、設定内容の保存のみを行いサービスの起動は行いません。

参考
設定変更を日中に行っておき、業務の終わった夜間や早朝に再起動して変更を反映させることができます。

例として、サービス起動中の複合機へのアプリケーション登録を説明します。

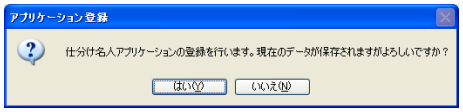
1. 仕分けスキャン設定画面で、「アプリケーション登録」ボタンを選択します。



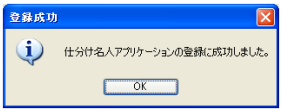
参考
「アプリケーション登録」ボタンは、仕分けスキャン設定画面の各段階で、画面上部の手順設定イメージ上に表示されます。
「複合機の登録」画面では、設定画面下部の「アプリケーション登録」ボタンから登録することもできます。

---

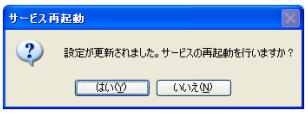
2. アプリケーション登録画面が表示されますので、「はい」ボタンを選択します。



3. アプリケーション登録中の画面の後、登録成功画面が表示されます。「OK」ボタンを選択します。



4. 仕分けサービスが起動中の場合、次にサービスを再起動する確認画面が表示されます。すぐに設定を反映したい場合は、「はい」ボタンを選択して再起動を行います。



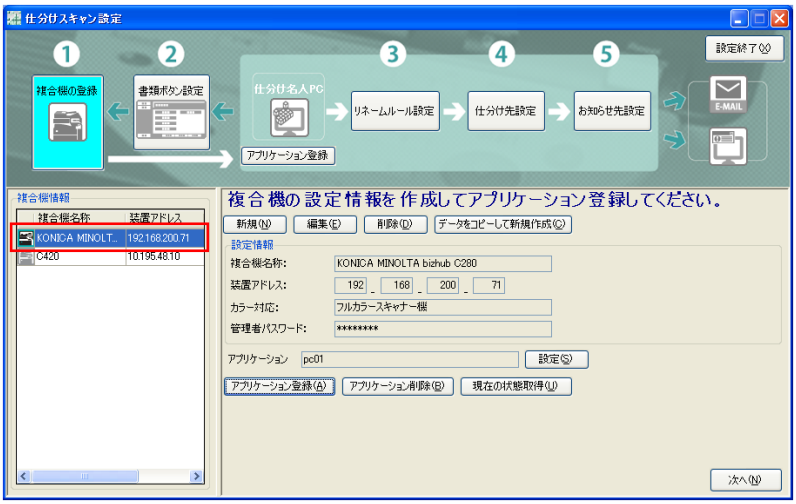
参考

すぐに設定の反映を行わず、次回再起動の際に設定を反映させたい場合は「いいえ」を選択します。

次回起動時には、以下の画面が表示されます。「OK」ボタンを選択して設定を反映させてください。

5. 以下の画面が表示されたら、「OK」ボタンを選択します。

6. 設定が反映されたサービスが起動します。選択した複合機情報の左端に表示されているアイコンが、アプリケーション未登録アイコンからアプリケーション登録済みアイコンに切り替わります。



注意

再起動を行わず、サービスに設定を反映しなかった場合でも、画面上では設定変更が反映された状態が表示されます。

この場合は、設定の変更をサービスに反映させたいタイミングで、必ず再起動を行ってください。

第 5 章　メニューバーからの設定

本章では、仕分け名人のメイン画面上部にあるメニューバーから行う設定や確認について説明します。

参考

メニューバーからの設定変更や操作は、仕分けサービスを停止させてから行ってください。サービス起動中は設定の変更ができません。

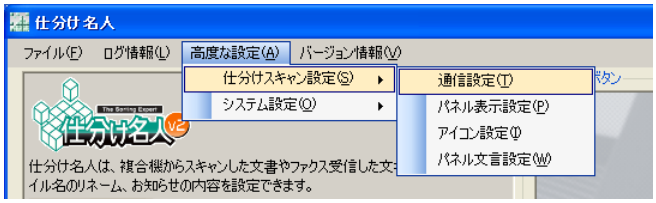


図 5.1　仕分け名人のメニューバー

各メニュー項目の名称と、本章の参照箇所を以下の表に示します。

メニュー項目			説明
ファイル	全設定データ	インポート	5.1 全設定データをインポート／エクスポートする
		エクスポート	
	アドレス帳	インポート	5.2 アドレス帳データをインポート／エクスポートする
		エクスポート	
ログ情報	仕分けログ一覧		5.3 ログ一覧を確認する
	BOX 取得ログ一覧		
	受信 FAX ログ一覧		
高度な設定	仕分けスキャン設定	通信設定	5.4 通信設定を行う
		パネル表示設定	5.5 複合機のパネル表示を設定する
		アイコン設定	5.6 アイコンを設定する
		パネル文言設定	5.7 パネル文言を設定する
	システム設定	FTP サーバー設定	5.8 FTP サーバーを設定する
		ログ情報設定	5.9 ログ情報を設定する
		バックアップ設定	5.10 バックアップを設定する
		上限設定	5.11 通知グループの上限を設定する
		メールサーバー設定	5.12 メールサーバーを設定する
		MFP 登録済み AP 削除ツール	5.13 複合機に登録されている仕分け名人を削除する
		BOX スキャン設定	5.14 BOX スキャンの環境設定を行う
バージョン情報			5.15 バージョンを確認する

5.1 全設定データをインポート／エクスポートする

仕分け名人のメニューバーから、全設定データのインポート／エクスポートを行います。
全設定データのインポート／エクスポート機能は、バックアップや他の PC へのデータ移行などのために使用します。

参考

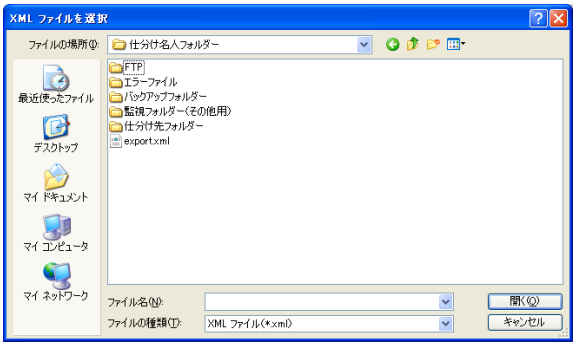
・全設定データとは、インストールフォルダーの SetupApplicationSetting.xml、SearchSetting.xml、SetupOpenAPISetting、および Data フォルダー内の XML ファイル、レジストリ情報の一部を指します。

・お知らせ設定画面グループ情報のインポート／エクスポートについては、「4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する」を参照ください。

全設定データをインポートする

1. メイン画面のメニューバーから「ファイル」→「全設定データ」→「インポート」を選択します。

2. インポートファイル選択のダイアログが表示されます。インポートしたい XML ファイルを選択して、「開く」ボタンを選択してください。

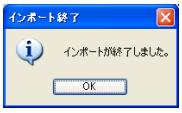


注意

インポート対象ファイルは、同機能でエクスポートされたファイルであることを前提とします。

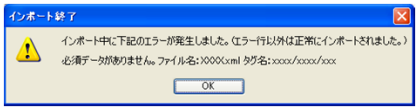
---

3. インポートが終了すると、以下の画面が表示されます。



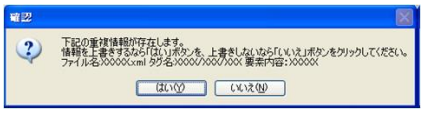
参考

データ内容にエラーがあった場合は、エラー行を読み飛ばしてインポート処理を続行します。インポート終了後、以下のような画面が表示された場合は、内容を確認して「OK」ボタンを選択してください。



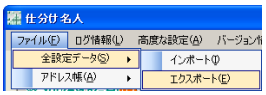
参考

重複するデータが存在する場合は、以下のような上書き確認画面が表示されます。内容を確認のうえ、「はい」または「いいえ」を選択してください。

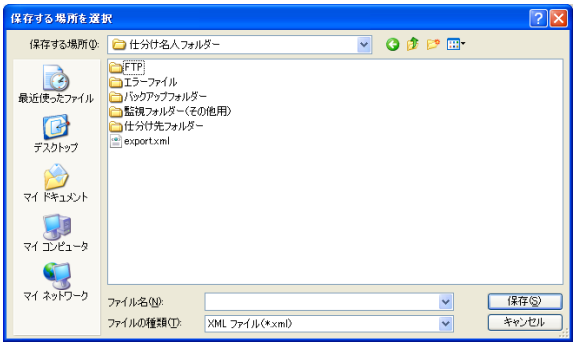


全設定データをエクスポートする

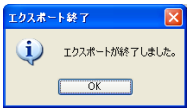
1. メイン画面のメニューバーから「ファイル」→「全設定データ」→「エクスポート」を選択します。



2. 保存先ファイル指定のダイアログが表示されます。XML ファイル名を入力して、「保存」ボタンを選択してください。



3. エクスポートが終了すると、以下の画面が表示されます。

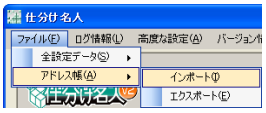


5.2 アドレス帳をインポート／エクスポートする

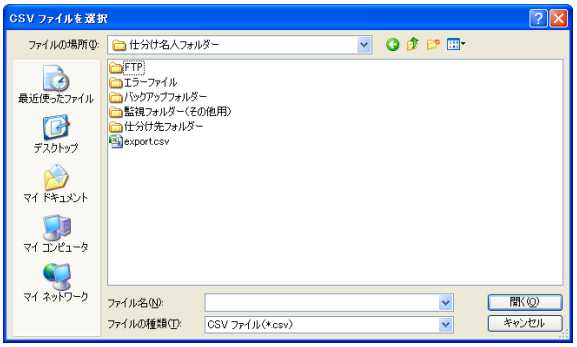
仕分け名人のメニューバーから、アドレス帳の FAX 番号データのインポート／エクスポートを行います。手順 *2.* 以降は、仕分け名人メインメニュー「アドレス帳」画面（「4.7 アドレス帳を設定する」）から「インポート」「エクスポート」ボタンを選択したときと共通の手順です。

アドレス帳をインポートする

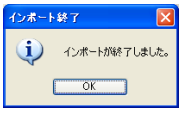
1. メイン画面のメニューバーから「ファイル」→「アドレス帳」→「インポート」を選択します。



2. インポートファイル選択のダイアログが表示されます。インポートしたい CSV ファイルを選択して、「開く」ボタンを選択してください。



3. インポートが終了すると、以下の画面が表示されます。



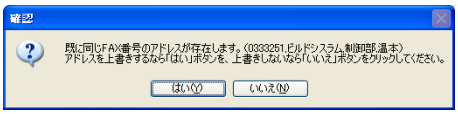
参考

データ内容にエラーがあった場合は、エラー行を読み飛ばしてインポート処理を続行します。インポート終了後、以下のような画面が表示された場合は、内容を確認して「OK」ボタンを選択してください。

FAX 番号のデータに以下の制限文字列が含まれていた場合は、エラー行となります。″ ’ ￥ * , / ? _ < > | :

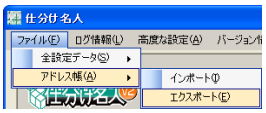
参考

インポート対象の FAX 番号がすでに登録済みの場合、アドレス帳を上書きするかどうかの確認ダイアログを表示します。内容を確認して「はい」または「いいえ」を選択してください。仕分けサービス起動中にアドレスをインポート（上書き）した場合でも、サービスに対して適切なタイミングで反映されます。

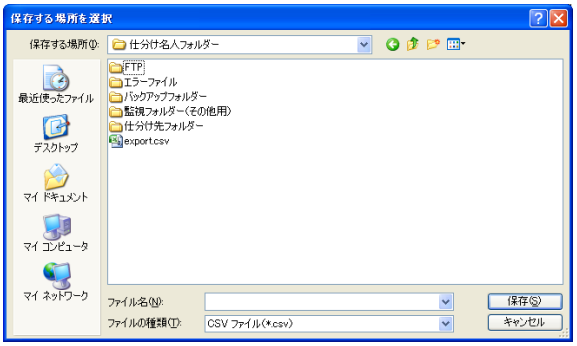


アドレス帳をエクスポートする

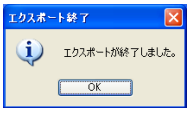
1. メイン画面のメニューバーから「ファイル」→「アドレス帳」→「エクスポート」を選択します。



2. 保存先ファイル指定のダイアログが表示されます。CSV ファイル名を入力して、「保存」ボタンを選択してください。



3. エクスポートが終了すると、以下の画面が表示されます。



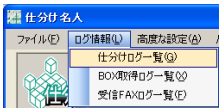
5.3 ログ一覧を確認する

ログ情報メニューは、仕分けログや BOX 取得ログおよび受信 FAX ログ一覧を管理するメニューです。ログ情報の検索や削除、CSV 出力などを行うことができます。

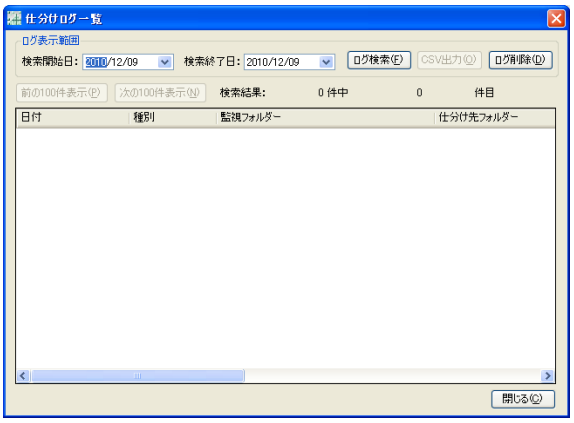
仕分けログ一覧

仕分けログ一覧画面では、仕分けスキャン・BOX スキャン・監視フォルダー・BOX 転送（TSI）・ファクス転送で行った仕分けのログの検索や削除、CSV 出力などを行います。

1. メイン画面のメニューバーから「ログ情報」→「仕分けログ一覧」を選択します。



2. 仕分けログ一覧画面が表示されます。



■「仕分けログ一覧」画面

項目名	説明
検索開始日付／ 検索終了日付	ログ検索の開始日付と終了日付を、カレンダーから設定します。 必須項目です。
「ログ検索」ボタン	現在設定されている範囲のログを検索して、ログ一覧に表示します。
「CSV 出力」ボタン	ログを CSV ファイルに出力します。ログ検索結果が 1 件もない場合は、このボタンは選択できません。
「ログ削除」ボタン	現在設定されている範囲のログを削除します。
「前の 100 件表示」／「後の 100 件表示」ボタン	前後の 100 件分のログをログ一覧に表示します。 前後 100 件のログがない場合は、このボタンは選択できません。
表示件数	表示中の検索結果を、以下の形式で表します。 検索結果［全件数］件中［表示開始件数］-［表示終了件数］件目
ログ一覧	ログの詳細情報を表示します。 最大表示件数は 100 件です。

参考

CSV ファイルの出力形式は、以下のとおりです。

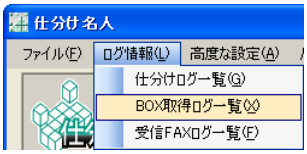
日付, 種別, 監視フォルダー, 仕分け先フォルダー, 元ファイル名,
仕分け後ファイル名, 通知先, 処理結果, 複合機名称（IP アドレス）

3.　操作後、「閉じる」ボタンで画面を終了してください。

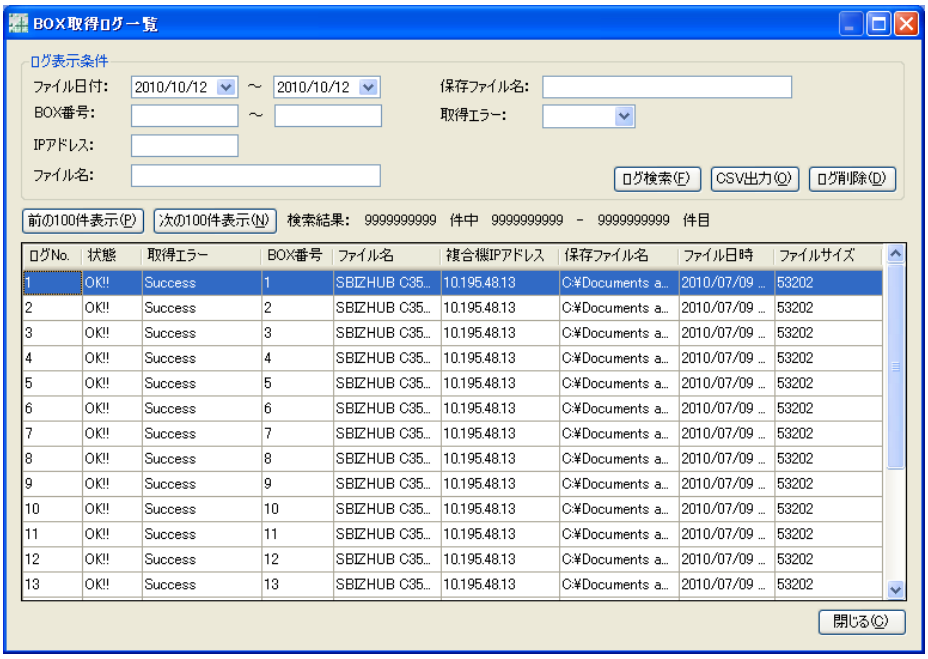
BOX 取得ログ一覧

BOX 取得ログ一覧画面では、複合機の BOX からのファイル取得履歴の検索や削除、CSV 出力などを行います。

1.　メイン画面のメニューバーから「ログ情報」→「BOX 取得ログ一覧」を選択します。



2.　BOX 取得ログ一覧画面が表示されます。



■「BOX 取得ログ一覧」画面

項目名	説明
ファイル日付（開始） ファイル日付（終了）	ログ検索の開始日付と終了日付を、カレンダーから設定します。 必須項目です。
保存ファイル名	検索条件となる保存ファイル名を設定します。
BOX 番号（開始） BOX 番号（終了）	検索条件となる BOX 番号の開始／終了番号を設定します。
取得エラー	検索条件となる取得エラーをプルダウンメニューから選択します。
IP アドレス	検索条件となる IP アドレスを設定します。
ファイル名	検索条件となるファイル名を設定します。
「ログ検索」ボタン	指定された検索条件で検索を行います。
「CSV 出力」ボタン	ログを CSV ファイルに出力します。ログ検索結果が 1 件もない場合は、このボタンは選択できません。
「ログ削除」ボタン	現在表示されている範囲（100 件分）のログを削除します。
「前の 100 件表示」 「後の 100 件表示」 ボタン	前後の 100 件分のログをログ一覧に表示します。 前後 100 件のログがない場合は、このボタンは選択できません。
表示件数	表示中の検索結果を、以下の形式で表します。 検索結果 [全件数]件中 [表示開始件数]- [表示終了件数]件目
BOX 取得ログ一覧	BOX からのファイル取得履歴を一覧表示します。

参考

「状態」「取得エラー」の表示内容は以下のとおりです。

・「状態」

File Not Found!：保存先フォルダーに取得したファイルがありません

File Size Error!!：取得したファイルの BOX 中におけるファイルサイズと、保存先フォルダーにおけるファイルサイズが異なります

N.G. ：取得中にエラーが発生しました

OK!!：正常

・「取得エラー」

Success：取得動作に成功しました

N.G. （エラーコード）：取得動作に失敗しました

仕分け先が FTP の場合は、「状態」は「OK!!」または「N.G.」のみとなります。

また「ファイル日時」及び「ファイルサイズ」欄にも何も表示されません。

3. 操作後、「閉じる」ボタンで画面を終了してください。

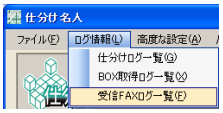
受信 FAX ログ一覧

受信 FAX ログ一覧画面では、受信した FAX 履歴の検索や削除、CSV 出力などを行います。

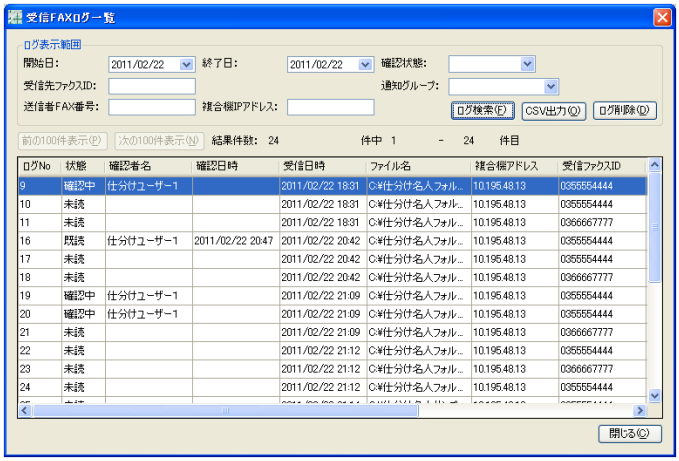
注意

受信 FAX ログ一覧メニューは、仕分けサービス停止時には非アクティブとなり選択できません。仕分けサービス起動中に選択してください。

1. メイン画面のメニューバーから「ログ情報」→「受信 FAX ログ一覧」を選択します。



2. 受信 FAX ログ一覧が表示されます。



■「受信 FAX ログ一覧」画面

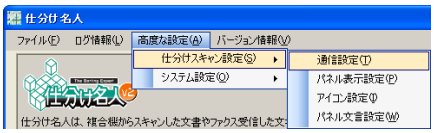
項目名	説明
開始日／終了日	ログ検索の開始日と終了日を、カレンダーから設定します。 必須項目です。
確認状態	検索条件となる確認状態をプルダウンメニューから選択します。
受信先ファクス ID	検索条件となる受信先ファクス ID を設定します。
通知グループ	検索条件となる通知グループをルダウンメニューから選択します。
送信者 FAX 番号	検索条件となる送信者 FAX 番号を設定します。
複合機 IP アドレス	検索条件となる複合機 IP アドレスを設定します。
「ログ検索」ボタン	指定された検索条件で検索を行います。
「CSV 出力」ボタン	受信 FAX ログを CSV ファイルに出力します。ログ検索結果が 1 件もない場合は、このボタンは選択できません。
「ログ削除」ボタン	現在表示されているログを削除します。
「前の 100 件表示」／「後の 100 件表示」ボタン	前後の 100 件分のログをログ一覧に表示します。 前後 100 件のログがない場合は、このボタンは選択できません。
表示件数	表示中の検索結果を、以下の形式で表します。 検索結果［全件数］件中［表示開始件数］-［表示終了件数］件目

3. 操作後、「閉じる」ボタンで画面を終了してください。

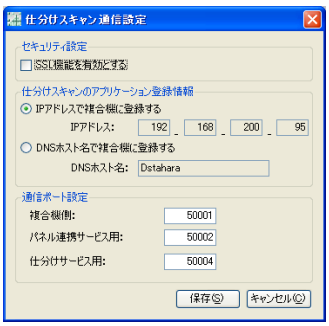
5.4 通信設定を行う

通信設定画面では、仕分けスキャンで使用するセキュリティやアプリケーションの登録方法、通信ポートなどの設定を行います。

1. メイン画面のメニューバーから「高度な設定」→「仕分けスキャン設定」→「通信設定」を選択します。



2. 仕分けスキャン通信設定画面が表示されます。



■「仕分けスキャン通信設定」画面

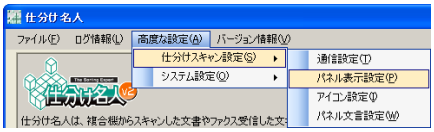
項目名	説明
SSL 通信を有効とする	複合機とアプリケーションサーバー間の通信に SSL 通信を利用する場合にチェックを入れます。
IP アドレスで複合機に登録する	アプリケーション登録時、使用中のコンピューターの情報を IP アドレスで登録する場合に選択します。
IP アドレス	使用中のコンピューターの IP アドレスを表示します。「IP アドレスで複合機に登録する」を選択した場合に有効になります。直接入力はできません。
DNS ホスト名で複合機に登録する	アプリケーション登録時、使用中のコンピューターの情報を DNS ホスト名で登録する場合に選択します。
DNS ホスト名	使用中のコンピューターの DNS ホスト名を表示します。「DNS ホスト名で複合機に登録する」を選択した場合に有効になります。直接入力はできません。
複合機側	複合機側のポート番号を設定します。
パネル連携サービス用	パネル連携サービス用のポート番号を設定します。 →「B.5.2 ScanMfpPanelManager.exe が使用するポート(50002)の変更」を参照
仕分けサービス用	仕分けサービス用のポート番号を設定します。 →「B.5.3 ScanMfpPanelManager.exe が使用するポート(50004)の変更」を参照

3. 「保存」ボタンを選択すると、設定した通信情報が保存されます。

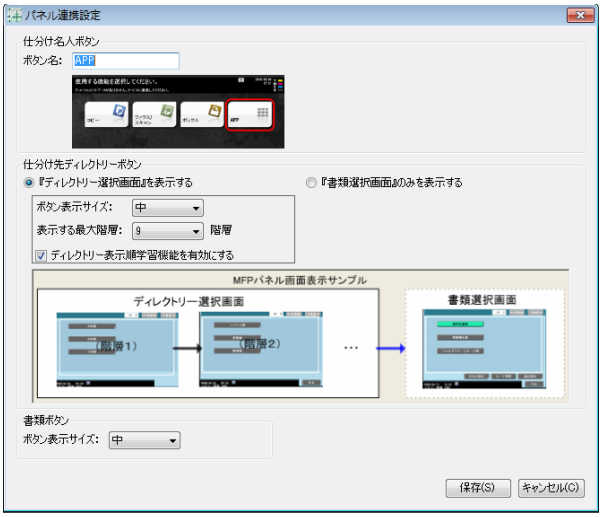
5.5 複合機のパネル表示を設定する

複合機のパネル上に表示されるアプリケーションボタン名や、仕分け先設定方法などの表示設定を行うことができます。

1. メイン画面のメニューバーから「高度な設定」→「仕分けスキャン設定」→「パネル表示設定」を選択します。



2. パネル連携設定画面が表示されます。



■「パネル連携設定」画面

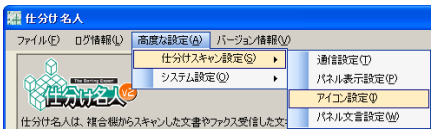
項目名	説明
ボタン名	複合機パネル上に表示するアプリケーションボタン名を入力します。全角・半角共に最大 8 文字入力可能です。
『ディレクトリー選択画面』を表示する	複合機パネル上に表示する仕分け先を、ディレクトリー選択画面で表示する場合に選択します。
ボタン表示サイズ	仕分け先ディレクトリーボタンの表示サイズを、プルダウンメニューから選択します。
表示する最大階層	ディレクトリーの最大階層を、プルダウンメニューから選択します。
ディレクトリーボタン表示順学習機能を有効にする	仕分け先フォルダー配下のディレクトリーの表示順を使用頻度によって上下させる機能を設定します。学習機能を有効にする場合は、チェックを入れます。
『書類選択画面』のみ表示する	複合機パネル上に表示する仕分け先を、書類選択画面のみで表示する場合に選択します。
ボタン表示サイズ	複合機上に表示する書類ボタンの表示サイズをプルダウンメニューから選択します。

3. 設定後、「保存」ボタンを選択すると、設定した情報が複合機に適用されます。

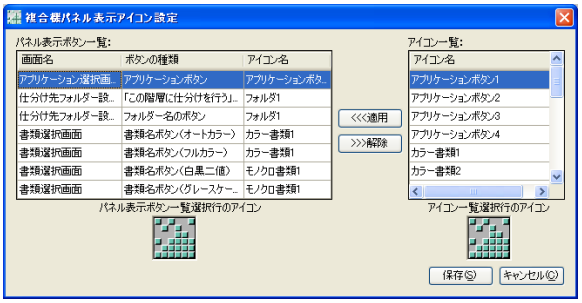
5.6 アイコンを設定する

複合機のパネルに表示する書類名ボタンなどのアイコンを設定することができます。既存のアイコンや作成したアイコンの表示／解除を行います。

1. メイン画面のメニューバーから「高度な設定」→「仕分けスキャン設定」→「アイコン設定」を選択します。



2. 複合機パネル表示アイコン設定画面が表示されます。



「パネル表示ボタン一覧」で選択しているボタンのアイコンと、「アイコン一覧」で選択しているアイコンのプレビューが、画面の下部に表示されます。選択したアイコンをボタンへ適用したり、解除することができます。

注意

保存したアイコン設定はいったん ProfessionalSetting.xml に保存されます。再度アプリケーション登録を行うことによって、複合機のパネルに反映されます。

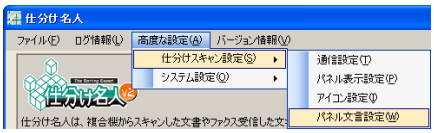
---

3. 設定後、「保存」ボタンを選択すると、設定したアイコン情報が保存されます。

5.7 パネル文言を設定する

複合機のパネルに表示する文言を変更することができます。

1. メイン画面のメニューバーから「高度な設定」→「仕分けスキャン設定」→「パネル文言設定」を選択します。



2. 複合機パネル表示文言設定画面が表示されます。

画面上部のタブで複合機のパネル画面を選択して、変更したい文言を編集してください。

複合機のパネル画面名と変更可能な文言は以下のとおりです。(PanelManagerMessage.xml)

パネル画面名	構成要素	文言
仕分け先ディレクトリー選択画面	メッセージ欄 1	仕分け先ディレクトリを選択してください。
	メッセージ欄 2	(前画面までの選択)
	ボタン	この階層に仕分けを行う
書類選択画面	メッセージ欄 1	原稿をセットして、ご利用の「書類」ボタンを選択してください。
	メッセージ欄 2	(選択ディレクトリ)
	ボタン	仕分け設定
仕分けルール設定画面	メッセージ欄 1	仕分けルールを設定してください。
	ボタン	ファイル名
	ボタン	ファイル任意 1
	ボタン	ファイル任意 2
	ボタン	ファイル任意 3
	ボタン	階層 1
	ボタン	階層 2
	ボタン	階層 3
	ボタン	階層 4
	ボタン	階層 5

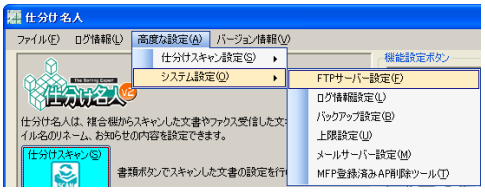
	ボタン	階層 1 任意
	ボタン	階層 2 任意
	ボタン	階層 3 任意
	ボタン	階層 4 任意
	ボタン	階層 5 任意
ファイルリネーム項目設定画面	メッセージ欄 1	仕分けファイルのファイル名称作成方法を選んでください
	ボタン	※ReNameSetting.xml のボタン名を参照
フォルダーリネームルール項目設定画面	メッセージ欄 1	仕分けフォルダーのフォルダー名称作成方法を選んでください
	ボタン	※ReNameSetting.xml のボタン名を参照
ファイル任意文字列設定画面	メッセージ欄 1	仕分けファイルのファイル名につける任意の文字列を入力してください
フォルダー任意文字列設定画面	メッセージ欄 1	仕分けフォルダーのフォルダー名につける任意の文字列を入力してください

3. 設定後、「保存」ボタンを選択すると、設定したパネル文言が複合機に反映されます。

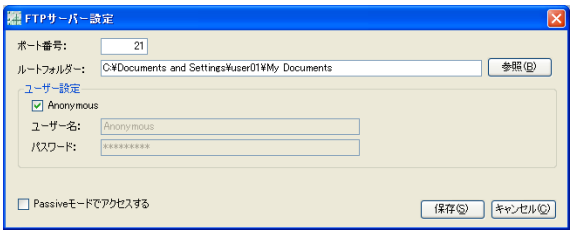
5.8 FTP サーバーを設定する

複合機で仕分け名人を使ってスキャンした画像ファイルは、FTP サーバーを介して仕分け名人アプリケーションをインストールした PC に転送されます。この転送に使用する FTP サーバーの設定を行います。

1. メイン画面のメニューバーから「高度な設定」→「システム設定」→「FTP サーバー設定」を選択します。



2. FTP サーバー設定画面が表示されます。



■FTP サーバー設定画面

項目名	説明
ポート番号	FTP サーバーのポート番号を設定します。 1 から 65535 までの 5 桁の数字のみ有効です。 →「3.1 PC の設定を確認する」を参照
ルートフォルダー	FTP サーバーのルートフォルダーを設定します。 半角英数文字で、最大 255 文字まで入力可能です。
「参照」ボタン	フォルダーを参照します。
Anonymous	Anonymous（匿名）ユーザーのみ FTP サーバーにログイン可能とする場合に、チェックを入れます。Anonymous を選択すると、「ユーザー名」「パスワード」は入力できません。
ユーザー名	FTP サーバーにログインするためのユーザー名を設定します。 半角英数文字で、最大 47 文字まで入力可能です。
パスワード	FTP サーバーにログインするためのパスワードを設定します。 半角英数文字で、最大 31 文字まで入力可能です。
Passive モードでアクセスする	Passive モードでアクセスする場合に、チェックを入れます。

注意

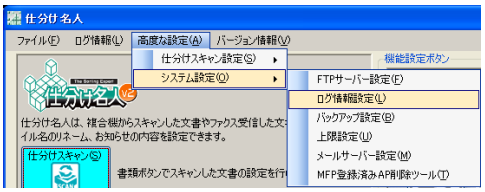
仕分け名人に設定を行う前に、設定用の FTP 情報で実際に FTP サーバーに接続できるかをご確認ください。

3. 設定後、「保存」ボタンを選択すると、設定した FTP サーバー情報が適用されます。

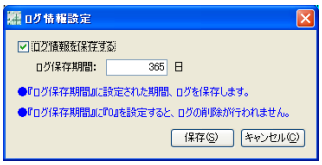
5.9 ログ情報を設定する

ログ情報設定画面では、ログ情報保存の有効／無効と、ログ保存期間を設定します。

1. メイン画面のメニューバーから「高度な設定」→「システム設定」→「ログ情報設定」を選択します。



2. ログ情報設定画面が表示されます。



「ログ情報を保存する」にチェックを入れ、ログ保存期間に 3 桁の半角数字を入力します。
ログ情報は、ログ保存期間に設定した期間保存され、ログ一覧画面で情報を確認できます。

参考

- ログ情報とは、仕分けログ・BOX 取得ログ・受信 FAX ログの設定情報を指します。
- ログの削除は、仕分け名人サービスを起動中、1 時間ごとに行います。従って、自動的にログの削除を行うためには、1 時間以上仕分け名人サービスを起動している必要があります。

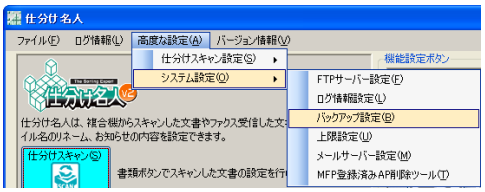
---

3. 「保存」ボタンを選択すると、設定したログ設定情報が保存されます。

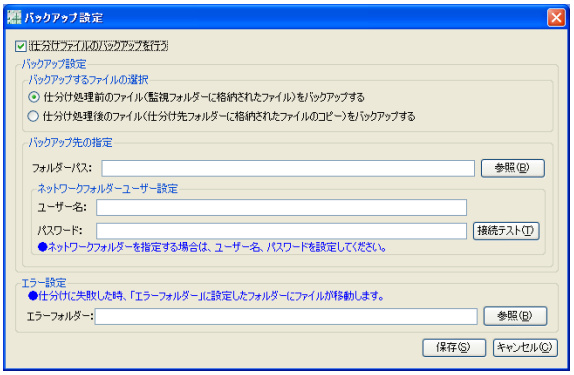
5.10 バックアップを設定する

バックアップ設定画面では、仕分けスキャン、BOX スキャン、監視フォルダー、BOX 転送（TSI）、ファクス転送で行った仕分けファイルのバックアップ設定を行います。また、仕分け作業エラー時のファイル格納フォルダーを設定します。

1. メイン画面のメニューバーから「高度な設定」→「システム設定」→「バックアップ設定」を選択します。



2. バックアップ設定画面が表示されます。



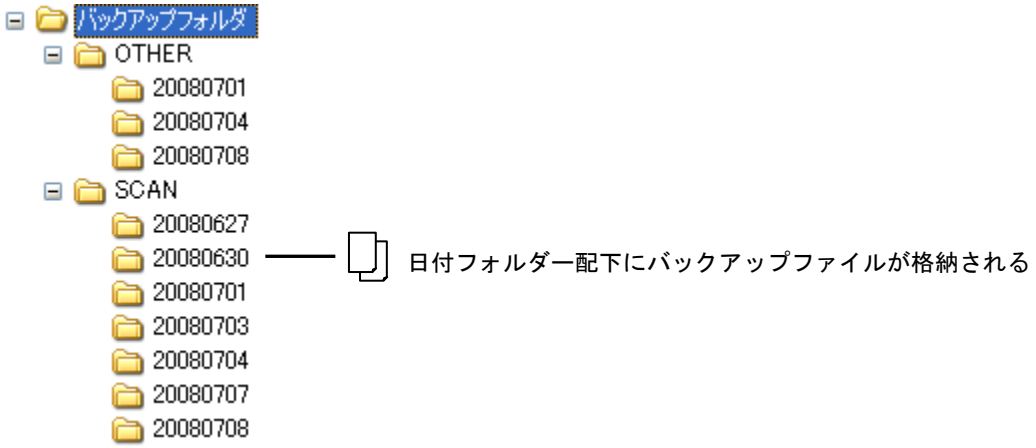
■バックアップ設定画面

項目名	説明
仕分けファイルのバックアップを行う	仕分けファイルバックアップ機能を有効にする場合、チェックを入れます。
仕分け処理前のファイル（監視フォルダーに格納されたファイル）をバックアップする	リネーム処理を行う前のファイルをバックアップフォルダーに格納する場合にチェックを入れます。
仕分け処理後のファイル（仕分け先フォルダーに格納されたファイルのコピー）をバックアップする	リネーム処理後のファイルをバックアップフォルダーに格納する場合に選択します。
フォルダーパス	バックアップ先のフォルダーパスを表示／設定します。
「参照」ボタン	フォルダーを参照します。
ユーザー名	ログインユーザー名を表示／設定します。 （ネットワークフォルダー利用時のみ）
パスワード	ログインパスワードを表示/設定します。 （ネットワークフォルダー利用時のみ）
「接続テスト」ボタン	設定されたデータでネットワークフォルダーに接続できるかテストします。（ネットワークフォルダー利用時のみ）
エラーフォルダー	仕分けエラー発生時に、仕分けファイルを移動して格納するフォルダーを表示します。

3. 「保存」ボタンを選択すると、設定したバックアップ設定が保存されます。

【エラー/バックアップ時のフォルダー構成について】

バックアップ時のフォルダー構成は、指定したフォルダー配下に SCAN/BOX/TSI/FAX/OTHER などの種別でフォルダーを作成し、その下に日付フォルダーを作成します。エラー/バックアップファイルは、日付フォルダー配下に格納されます。



各フォルダー名と格納されるファイルは以下のとおりです。

SCAN：仕分けスキャンのバックアップファイル

OTHER：フォルダー監視のバックアップファイル

BOX：BOX スキャンのバックアップファイル

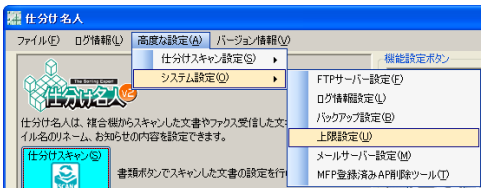
TSI：BOX 転送（TSI）のバックアップファイル

FAX：ファクス転送のバックアップファイル

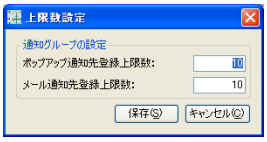
5.11 通知グループの上限を設定する

1 グループ当たりの、お知らせポップアップ通知先とメール通知先の登録上限数を設定します。

1. メイン画面のメニューバーから「高度な設定」→「システム設定」→「上限設定」を選択します。



2. 上限設定画面が表示されます。



各上限数は、1 から 100 までの数字のみ有効です。

3. 「保存」ボタンを選択すると、設定した上限設定が保存されます。

参考

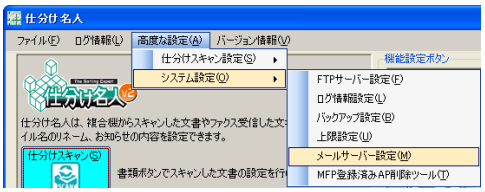
ここで設定する上限は、通知グループを登録する際の上限数です。

すでに上限数の通知グループが登録されている状態で上限数を減らしても、登録されている通知グループは削除されません。また、登録されているグループのすべてにお知らせが通知されます。

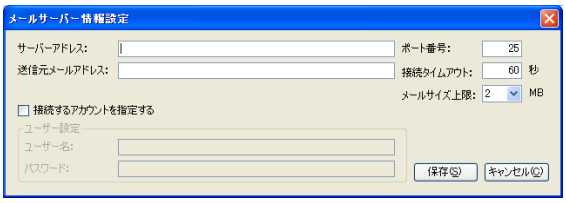
5.12 メールサーバーを設定する

お知らせメール通知を行うためのメールサーバーを設定する画面です。

1. メイン画面のメニューバーから「高度な設定」→「システム設定」→「メールサーバー設定」を選択します。



2. メールサーバー設定画面が表示されます。



■メールサーバー設定画面

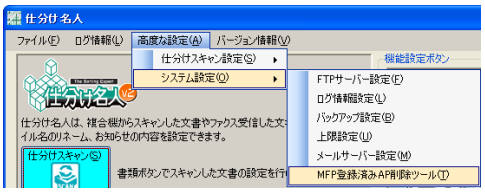
項目名	説明
サーバーアドレス	SMTP サーバーのアドレスを設定します。
ポート番号	FTP サーバーのポート番号を設定します。 1 から 65535 までの 5 桁の数字のみ有効です。 →「3.1 PC の設定を確認する」を参照
送信元メールアドレス	送信元メールアドレスを設定します。 半角英数文字で、最大 255 文字まで入力可能です。
接続タイムアウト	SMTP サーバーのタイムアウト値を設定します。 0 から 300 までの半角数字のみ有効です。
メールサイズ上限	送信できるメールサイズの上限をプルダウンメニューから選択します。
接続するアカウントを指定する	SMTP サーバーに接続するアカウントを直接指定する場合に、チェックを入れます。
ユーザー名	SMTP サーバーのアカウント名を設定します。 最大 255 文字まで入力可能です。
パスワード	SMTP サーバーのパスワードを設定します。 最大 255 文字まで入力可能です。

3. 「保存」ボタンを選択すると、設定したメールサーバー設定が保存されます。

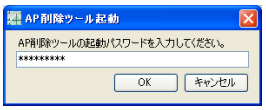
5.13 複合機に登録されている仕分け名人を削除する

複合機に登録されている仕分け名人アプリケーションを削除するツールです。
何らかの問題により、仕分けスキャン設定での「アプリケーション削除」ボタンが動作しない場合、このツールを使用して強制的に削除することができます。

1. メイン画面のメニューバーから「高度な設定」→「システム設定」→「MFP 登録済み AP 削除ツール」を選択します。



2. 起動パスワード入力画面が表示されます。パスワード「appdelete」を入力して、「OK」ボタンを選択します。



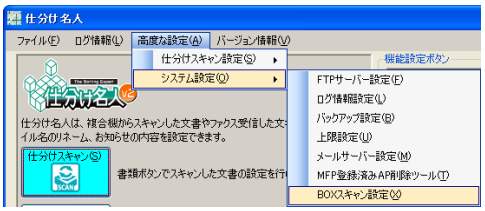
OpenAPI アプリケーション削除ツールが起動します。

注意
仕分け名人アプリケーションの強制削除についての詳細は、サービス実施店までご連絡ください。

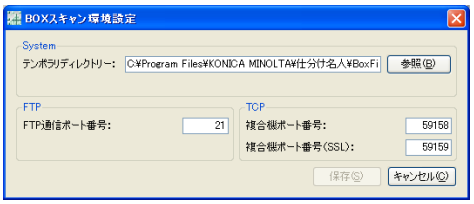
5.14 BOX スキャンの環境設定を行う

BOX スキャンで使用するテンポラリディレクトリーやFTP/TCP のポート番号などの環境設定情報を設定することができます。

1. メイン画面のメニューバーから「高度な設定」→「システム設定」→「BOX スキャン設定」を選択します。



2. BOX スキャン環境設定画面が表示されます。



■「BOX スキャン環境設定」画面

項目名	説明
テンポラリディレクトリー	テンポラリディレクトリーをフルパスで設定します。
「参照」ボタン	テンポラリディレクトリーを選択するダイアログを表示します。
FTP 通信ポート番号	FTP 通信に使用するポート番号を指定します。 →「3.1 PC の設定を確認する」を参照
複合機ポート番号	複合機側のポート番号を指定します。
複合機ポート番号（SSL）	複合機側のポート番号（SSL）を指定します。

3. 「保存」ボタンを選択すると、設定した内容がレジストリに格納されます。

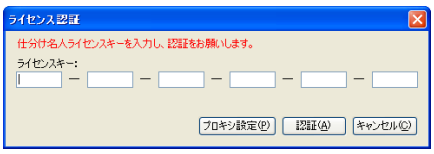
5.15 バージョン情報を確認する

バージョン情報メニューからは、仕分け名人のバージョン確認が行えるほか、製品紹介ページ・よくある質問ページへのリンクが確認できます。
試用期間中の場合は、「ライセンス登録」ボタンが表示されます。ライセンスキーを取得したら、ライセンス認証を行ってください。

ライセンス認証方法

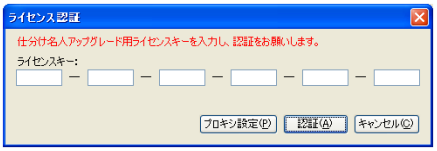
1. バージョン情報メニューをクリックし、仕分け名人バージョン情報画面で「ライセンス登録」ボタンを選択します。

2. ライセンス認証画面が表示されます。ライセンスキーを入力して「認証」ボタンを選択します。



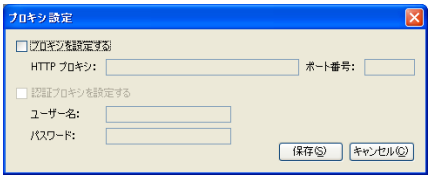
参考

基本機能版から FAX 連携版へのアップグレード時や、旧版仕分け名人（V1.x）からのアップグレード時には、以下のアップグレード用ライセンスキー入力用の画面が表示されます。アップグレード用ライセンスキーを入力してください。



①ライセンス認証にプロキシの情報を設定する場合

ライセンス認証画面の「プロキシ設定」ボタンをクリックすると、「プロキシ設定」画面が表示されます。必要な項目を入力して「保存」ボタンをクリックします。



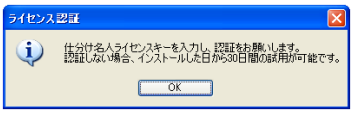
■「プロキシ設定」画面

項目名	説明
プロキシを使用する	プロキシを使用する場合にチェックを入れます。「HTTP プロキシ」「ポート番号」が指定できるようになります。
HTTP プロキシ	HTTP プロキシを設定します。
ポート番号	ポート番号を設定します。
認証プロキシを使用する	認証プロキシを使用する場合にチェックを入れます。「ユーザー名」「パスワード」が指定できるようになります。
ユーザー名	認証プロキシに使用するユーザー名を設定します。
パスワード	認証プロキシに使用するパスワードを設定します。
「登録」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

3.　ライセンス認証後は、「ライセンス登録」ボタンは非表示になり、代わりに「ライセンス確認」ボタンが表示されます。

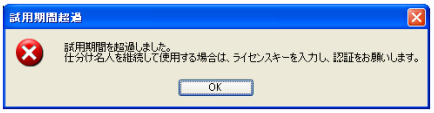
参考

・仕分け名人をインストール後、最初の起動時には以下の画面が表示されます。



「OK」ボタンを選択すると、ライセンス認証画面が表示されます。ライセンスキーを入力してください。

・試用期間経過後に仕分け名人を起動すると、以下の画面が表示されます。



「OK」ボタンを選択すると、ライセンス認証画面が表示されます。ライセンスキーを入力してください。

・ライセンスキーの入手方法については、サービス実施店までご連絡ください。

ライセンス確認方法

ライセンス登録後、バージョン情報メニューの「ライセンス確認」ボタンをクリックすると、登録済みのライセンスコードが表示されます。

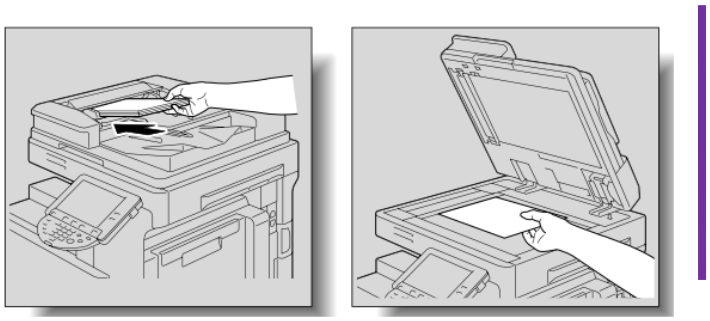
第 6 章　オペレーターの操作

本章では、複合機で仕分け名人を使ってスキャンする方法や、受信 PC で仕分けの新着通知を確認する方法などの、オペレーターの操作について説明します。

6.1 複合機で仕分け名人を使ってスキャンする

複合機に仕分け名人アプリケーションを登録後、仕分け名人サービスを起動したら、複合機で仕分け名人を使用できるようになります。
仕分け名人を使ってスキャンする方法を以下に説明します。

1.　複合機にスキャン原稿をセットします。



2.　複合機の TOP 画面で、「APP」ボタンをタッチします。

図 6.1　複合機 TOP 画面（仕分け名人アプリケーション単独登録時）

図 6.2　複合機 TOP 画面（複数アプリケーション登録時）

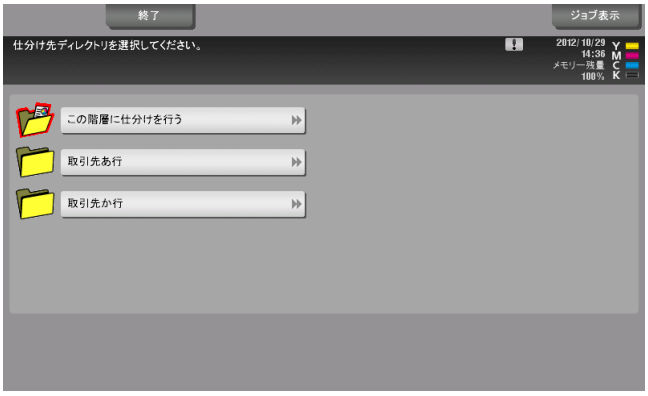
注意

複合機の TOP 画面には、仕分け名人の旧バージョン（～Ver2.2.7）をご利用の場合は「仕分け名人」というボタンが表示されます。

仕分け名人 Ver2.2.8 を利用する場合でも、旧バージョン（～Ver2.2.7）に上書きインストールにてアップデートを行った場合や旧バージョンの設定ファイルをインポートした場合には、「仕分け名人」と表示される場合があります。

パネル連携設定画面の詳細については、「5.5 複合機のパネル表示を設定する」（100 ページ）を参照してください。

3. サーバー接続中画面が表示された後、仕分け先ディレクトリ選択画面が表示されます。



注意

接続に失敗した場合は、接続エラー画面が表示されます。設定を見直してください。

4. スキャン画像の仕分け先として指定したいディレクトリボタンを選択します。

参考

仕分け先のボタン数が 1 画面に収まらない場合は、スクロールバーが表示されます。必要に応じて画面をスクロールしてください。

5. 選択したディレクトリボタンに下位の階層が設定されていると、新たな仕分け先ディレクトリ選択画面が表示されます。引き続き、スキャン画像の仕分け先に該当するディレクトリボタンを選択します。

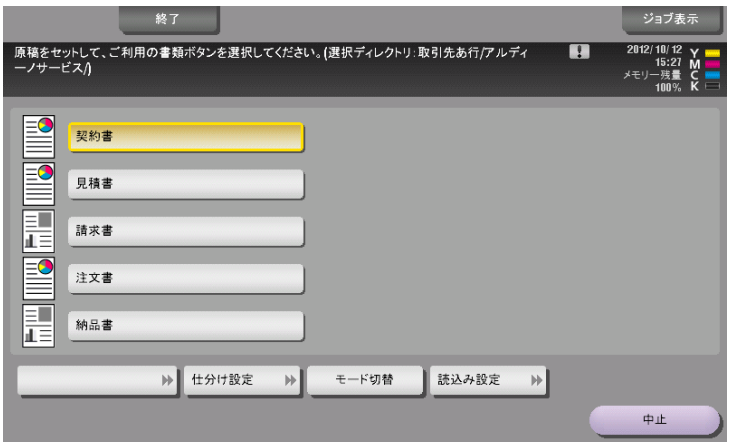
参考

・仕分け先ディレクトリは、最大 9 階層まで表示されます。

・同一階層での画面切り替えはスクロールバーで行います。

・「中止」ボタンをタッチすると、1 つ上位の階層に戻ることができます。

6. 書類選択画面が表示されたら、スキャン画像の仕分け先に指定したい書類ボタンを選択します。



参考

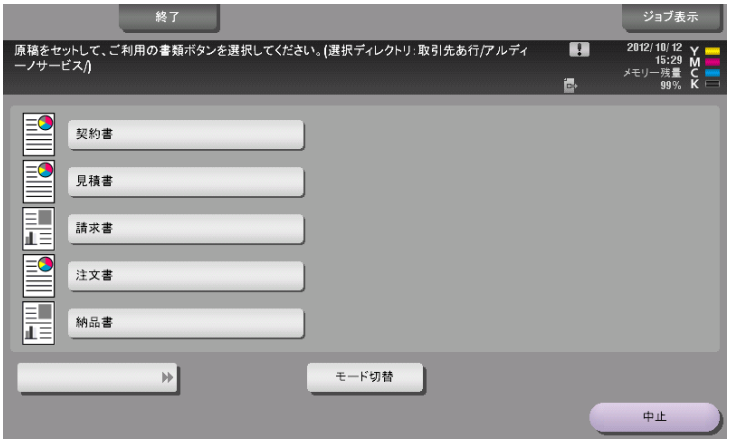
・「仕分け設定」ボタンをタッチすると、選択した書類ボタンに設定されている仕分けルールを変更することができます。詳細については、「仕分けルールを変更する方法」（155 ページ）を参照してください。

・選択中のモードによって、「読込み設定」ボタンまたは「画像設定」ボタンが表示されます。読込設定モードと画像設定モードの切り替えは、「モード切替」ボタンによって行います。詳細については、「スキャンモードを切り替える方法」（153 ページ）を参照してください。

・「仕分け設定」ボタンの左側にある空白のボタン（　　>>）は、タッチしても何も起こりません。

7. 複合機のスタートボタンを押します。

8. スキャンの実行中画面が表示された後、再び書類選択画面が表示されます。「終了」「中止」ボタンをタッチします。



参考
「ジョブ表示」ボタンをタッチすると、実施したスキャンジョブを確認することができます。

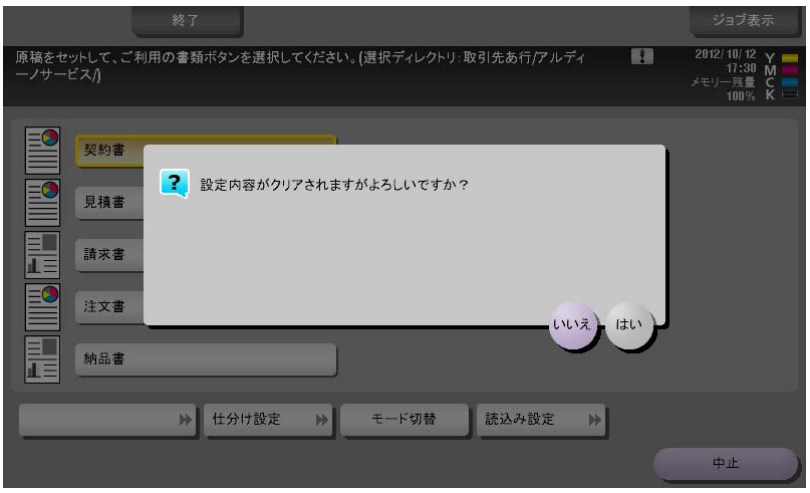
9. 再び TOP 画面が表示されることを確認します。

スキャンモードを切り替える方法

読込設定モードと画像設定モードを切り替える方法を説明します。

(1) 「6.1 複合機で仕分け名人を使ってスキャンする」の手順 6. の書類選択画面で、「モード切替」ボタンをタッチします。

(2) モード切替確認画面が表示されます。「はい」ボタンを選択し、「OK」ボタンをタッチします。



(3) モードが切り替えられたボタンが表示されることを確認します。

読込設定モードの場合

書類選択画面に「読込み設定」ボタンが表示されます。

「読込み設定」ボタンをタッチすると、以下の読込設定画面が表示されます。

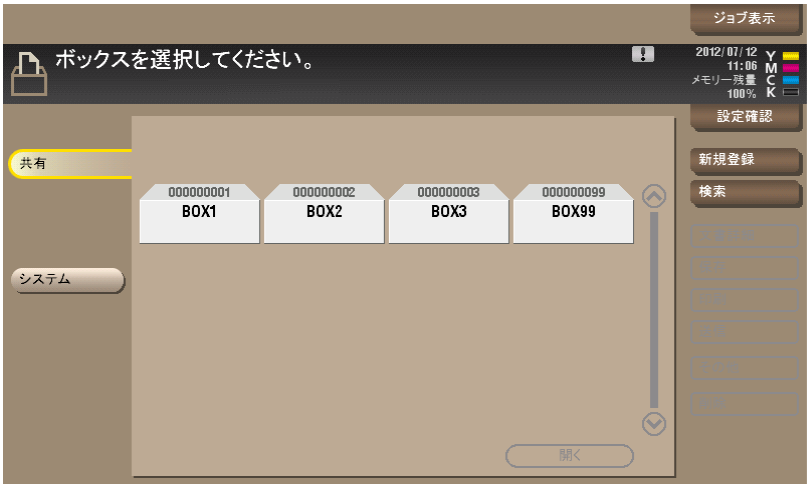
この画面では、スキャンする画像の各種条件の設定が行えます。

書類選択画面または読込設定画面、読込設定の各詳細画面が表示されている状態で、複合機のスタートボタンを押すと、スキャンが実行されます。

画像設定モードの場合

書類選択画面に「画像設定」ボタンが表示されます。

「画像設定」ボタンをタッチすると、以下の BOX 選択画面が表示されます。



「画像設定モード」では、あらかじめ BOX に格納されているファイルを転送して仕分け／リネームすることができます。

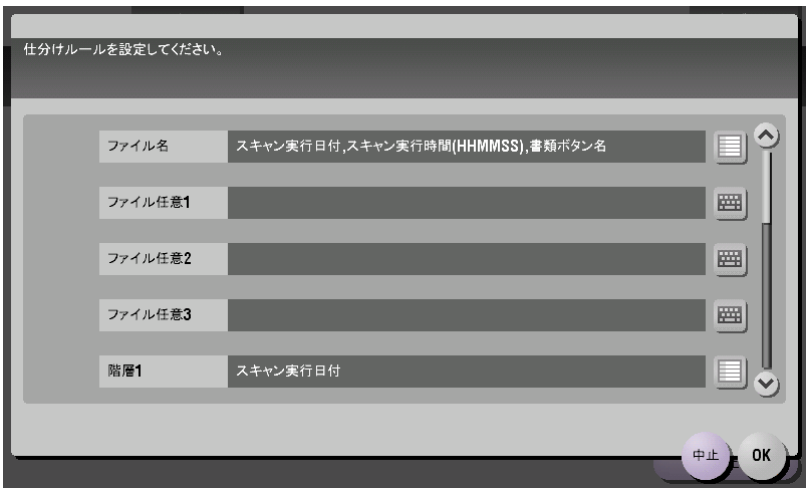
選択した BOX 内に、選択中の書類ボタンと一致するファイル形式の画像ファイルが保存されている場合にファイル送信が可能になります。

仕分けルールを変更する方法

書類ボタンに設定されている仕分けルールを、複合機からの操作で変更することができます。

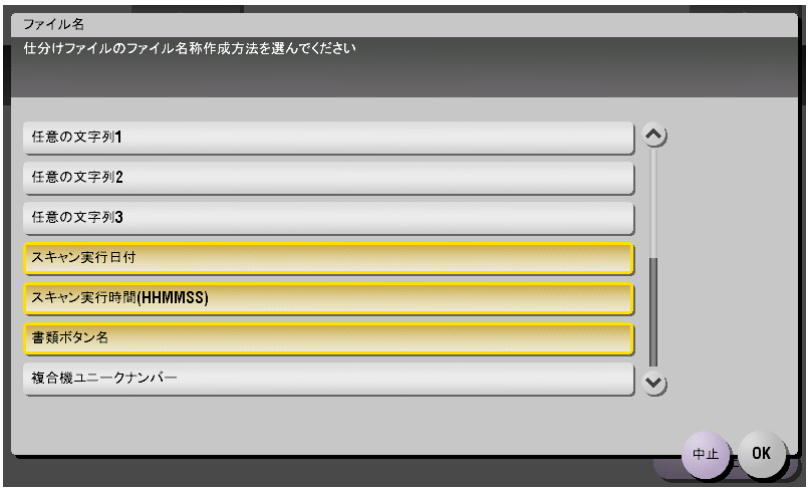
(1) 「6.1 複合機で仕分け名人を使ってスキャンする」の手順 6. の書類選択画面で、「仕分け設定」ボタンをタッチします。

(2) 仕分けルール設定画面が表示されます。



(3) ファイル名のリネームルールを変更したい場合は「ファイル名」ボタンをタッチします。

(4) ファイルリネーム項目設定画面が表示されますので、リネームルールに設定したい項目のボタンとその表示順位を設定した後、「OK」ボタンをタッチします。



(5) 再び仕分けルール設定画面が表示されます。

(6) 任意の文字列 1、2、3 を変更したい場合は、「ファイル任意 1」～「ファイル任意 3」ボタンの中から該当するボタンをタッチします。

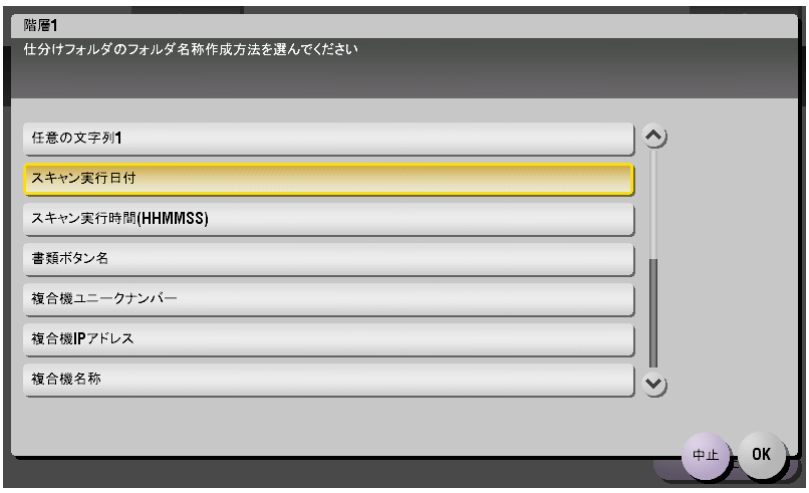
(7) ファイル任意文字列設定画面が表示されますので、文字列を入力後、「OK」ボタンをタッチします。

(8) 再び仕分けルール設定画面が表示されます。他の任意の文字列を変更したい場合は、手順 6、7 を繰り返します。

(9) 保存先フォルダー名のリネームルールを変更したい場合は、「階層 1」～「階層 5」ボタンの中から該当するボタンをタッチします。

参考
目的の階層のボタンが表示されていない場合は、スクロールバーで画面を切り替えてください。

(10) フォルダーリネーム項目設定画面が表示されますので、リネームルールに設定したい項目のボタンとその表示順位を設定した後、「OK」ボタンをタッチします。



(11) 再び仕分けルール設定画面が表示されます。他の階層のフォルダー名リネームルールを変更したい場合は、手順 9、10 を繰り返します。

(12) 保存先フォルダー名のリネームルールに適用する任意の文字列 1 を変更したい場合は、「階層 1 任意」～「階層 5 任意」ボタンの中から該当するボタンをタッチします。

参考
目的の階層のボタンが表示されていない場合は、スクロールバーで画面を切り替えてください。

(13) フォルダー任意文字列設定画面が表示されますので、文字列を入力後、「OK」ボタンをタッチします。

参考

「拡大 ON」ボタンをタッチすると、キーボードを拡大することができます。

(14) 再び仕分けルール設定画面が表示されますので、「OK」ボタンをタッチします。

(15) 再び書類選択画面が表示されます。「6.1 複合機で仕分け名人を使ってスキャンする」の手順 6.に戻って、スキャン操作を継続してください。

6.2 新着通知を確認する

仕分け名人受信アプリケーションがインストールされていると、PC にポップアップ画面を表示して、仕分け処理が行われたことを通知します。本項ではポップアップ画面の操作方法と、タスクトレイ表示から行う仕分け名人受信アプリケーションの設定方法を説明します。

注意

新着通知を表示するには、仕分け名人で以下が正しく設定されている必要があります。

・新着通知機能が有効であること
・通知グループ設定
・新着通知設定
・仕分け先設定の通知先名称

6.2.1 ポップアップ画面の操作

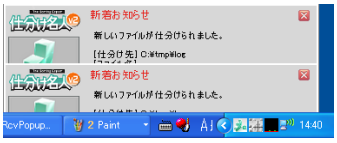
仕分けが行われたときに表示されるポップアップ画面について説明します。

ポップアップ画面の表示

仕分け処理が終了すると、PC にポップアップ画面を表示します。

ポップアップ画面表示中に新たな仕分け処理が行われた場合の表示

ポップアップ画面の表示中に新たな仕分け処理が行われると、新しいポップアップ画面を重ねて表示します。

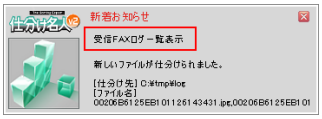


参考

ポップアップ画面は最大 50 画面まで重ねて表示します。

受信ファクスログの表示

「受信 FAX ログ一覧表示」部をクリックすると、受信 FAX ログ一覧が表示されます。



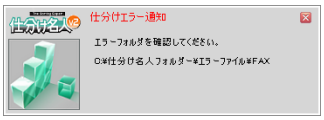
仕分け先フォルダーの表示

ポップアップ画面の本文部を選択すると、Windows のエクスプローラーが起動して仕分け先のフォルダーを表示します。

仕分けエラー通知の表示（BOX スキャン、ファクス転送または BOX 転送（TSI））

BOX スキャン、ファクス転送または BOX 転送（TSI）のお知らせ先設定で「エラー通知を送る」にチェックが入っているとき、仕分け処理に失敗するとお知らせ先にエラー通知のポップアップが表示されます。

ただし、このポップアップをクリックしても、エラーフォルダーは表示されません。



注意

仕分けエラー通知のポップアップを表示させるには、最新の受信アプリケーションのインストールが必要です。

ポップアップ画面の終了

ポップアップ画面を閉じる場合は「×」ボタンを選択します。

参考

複数のポップアップ画面をまとめて閉じることも可能です。詳細については、「6.2.2 タスクトレイの操作」（160 ページ）を参照してください。

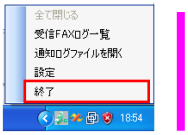
6.2.2 タスクトレイの操作

タスクトレイ表示から行う仕分け名人受信アプリケーションの設定方法について説明します。

メニュー画面の表示

1. タスクトレイの仕分け名人受信アプリケーションアイコンを、右クリックします。

2. 仕分け名人受信アプリケーションのメニュー画面が表示されます。

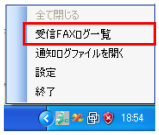


複数のポップアップ画面をまとめて閉じる

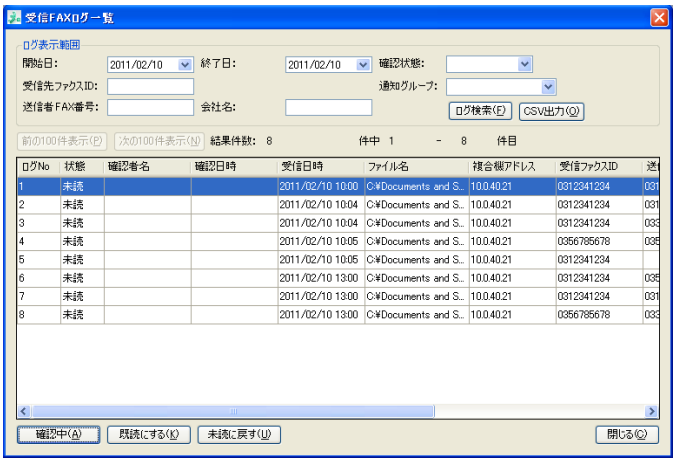
複数のポップアップ画面が表示されている場合、メニュー画面で「全て閉じる」を選択すると、まとめて閉じることができます。

受信 FAX ログを確認する

1. タスクトレイのメニュー画面で、「受信 FAX ログ一覧」を選択します。



2. 受信 FAX ログ一覧画面が表示されますので、必要に応じてログ表示の内容を変更します。



選択した行をダブルクリックすると、受信ファクスデータが表示されます。ただし、実際のファイルが移動・削除されている場合は表示されません。

また、選択した行を右クリックして表示されるメニューから、「確認中」「既読にする」「未読に戻す」ボタンと同機能の操作が行えます。

参考

「状態」欄の「未読」・「確認中」・「既読」の表示は、以下のように遷移します。

ただし、確認中の状態から既読にできるのは、データを確認中にしたユーザーのみです。

■「受信 FAX ログ一覧」画面

項目名	説明
開始日	ログ表示の開始日を設定します。
終了日	ログ表示の終了日を設定します。
確認状態	プルダウンメニューから確認条件を選択します。
受信先ファクス ID	検索条件となる受信先ファクス ID を設定します。
通知グループ	プルダウンメニューから検索条件となる通知グループを選択します。
送信者 FAX 番号	検索条件となる送信者ファクス番号を設定します。
会社名	検索条件となる送信者会社名を設定します。
「ログ検索」ボタン	選択すると、設定された条件で検索してログを表示します。
「CSV 出力」ボタン	選択すると、現在表示されているログを CSV 形式でファイル出力します。 一度に表示されるログは最大 100 件分です。
「前の 100 件表示」ボタン	取得したログが 100 件を超える場合に、現在表示されているログの前 100 件分を表示する場合に選択します。
「次の 100 件表示」ボタン	取得したログが 100 件を超える場合に、現在表示されているログの次 100 件分を表示する場合に選択します。
「確認中」ボタン	選択されているログの状態ステータスを「確認中」に変更します。
「既読にする」ボタン	選択されているログの状態ステータスを「既読」に変更します。
「未読に戻す」ボタン	選択されているログの状態ステータスを「未読」に変更します。
「閉じる」ボタン	受信 FAX ログ一覧画面を閉じます。

3. 「閉じる」ボタンを選択します。

通知ログファイルを確認する

メニュー画面で「通知ログファイルを開く」を選択すると、通知メッセージの受信ログを表示することができます。

【ログ書式】

メッセージ受信ログの書式は下記のとおりです（カンマ区切りの CSV 形式）。

日時,メッセージタイトル,仕分けフォルダ,ファイル名

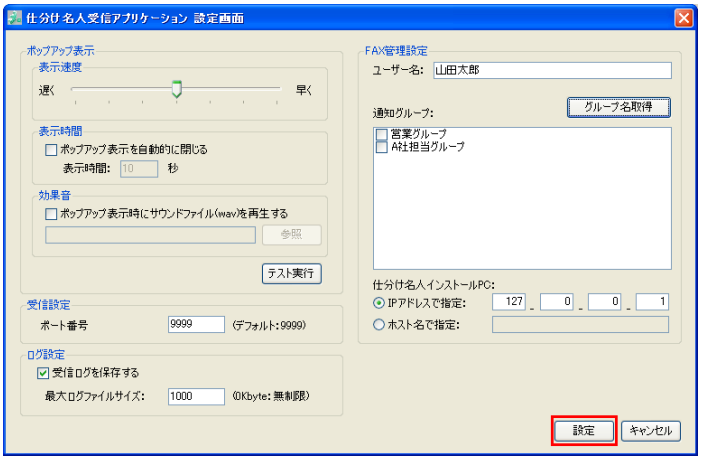
【ログ出力例】

ヘッダ行のみ項目の説明を出力します。

```
日時,メッセージタイトル,仕分けフォルダ,ファイル名
2010/03/31 10:20:05,c:¥temp¥MessageTest 用,C:¥temp¥MessageTest¥A 部¥B 課¥C 班,file.pdf
2010/03/31 12:54:43,c:¥,C:¥temp,リネーム無し_20100331125443.pdf
```

仕分け名人受信アプリケーションの設定を変更する

1. タスクトレイのメニュー画面で、「設定」を選択します。
2. 仕分け名人受信アプリケーション設定画面が表示されますので、各種情報を設定した後に「設定」ボタンを選択します。



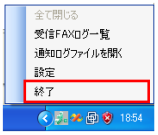
■「仕分け名人受信アプリケーション 設定画面」

項目名	説明
表示速度	ポップアップ画面の表示速度を設定します。
表示時間	「ポップアップ表示を自動的に閉じる」にチェックを入れた場合は自動的に、未選択の場合は設定した時間でポップアップ画面を閉じます。
効果音	「ポップアップ表示時にサウンドファイル(wav)を再生する」にチェックを入れると、ポップアップ画面の表示時に効果音を鳴らします。 「参照」ボタンを選択すると、リストから効果音を選択することができます。
「テスト実行」ボタン	現在の設定でポップアップ画面のテスト表示を行います。
受信設定	通知を受けるための受信ポート番号を「ポート番号」欄に入力します。
ログ設定	ポップアップメッセージの受信ログを保存したい場合、「受信ログを保存する」にチェックを入れます。このとき適用されるログの最大ファイルサイズを、「最大ログファイルサイズ」に入力します。
ユーザー名	受信ファクスログの確認を行う管理者名を設定します。
「グループ名取得」ボタン	本 PC が登録されている通知グループ名を取得して、一覧に表示します。 本ボタンは「仕分け名人インストール PC アドレス」が設定されている場合に有効となります。
仕分け名人インストール PC	本 PC の設定を行います。 「IP アドレスで指定」または「ホスト名で指定」のどちらかを選択し、IP アドレスまたはホスト名を入力します。
「設定」ボタン	設定内容を登録して、画面を閉じます。エラーメッセージが表示された場合は、設定を見直してください。
「キャンセル」ボタン	設定内容を破棄して、画面を閉じます。

3. 再設定画面が表示されますので、「はい」ボタンを選択します。

仕分け名人受信アプリケーションを終了する

仕分け後の通知を受けないようにしたい場合は、メニュー画面で「終了」を選択します。



付録 A　トラブルシューティング

本付録では、よくある質問やエラーメッセージの対処方法について説明します。

ここに記載されていないメッセージや事象については、弊社 Web サイト（http://Konicaminolta.jp/pr/shiwake2-qa）を参照ください。ご確認いただき、対応方法が不明な場合は、サービス実施店までお問い合わせください。

A.1 こんな時には

Q1：仕分け名人を再インストールできません

Q2：複合機のパネルに「リモート操作中です 電源を切断しないでください」と表示されます

Q3：複合機のパネルに「アプリケーションに接続できません」「サーバータイムアウト」と表示されます

Q4：複合機のパネル上に「APP」ボタンが表示されません

Q5：複合機のパネルの履歴に「エラー消去 」と表示されます

Q6：仕分け通知受信ログが保存されません

Q7：ポップアップ画面が表示されません

Q8：ポップアップ画面から仕分け先が表示できません

Q9：複合機からのファイル転送に失敗します

Q10：ネットワークフォルダーに仕分けが行えません

Q11：スキャン実行時、ログ情報一覧画面にログ情報が追加されず、仕分けも行われません

Q12：複合機のパネル上にトラブルコード：C-E002 が表示されます

Q13：複合機のパネル上に表示されないフォルダーがあります

Q14：複合機にアプリケーションが登録できません

Q15：バックアップフォルダーにファイルが移動されません

Q16：「仕分名人サービスの起動に失敗しました

XXXX で使用しているポート番号(nn)は、他のアプリケーションで使用されています。他のアプリケーションを終了するか、ポート番号を変更してください。」というメッセージが表示されます

Q17：「仕分名人サービスの起動に失敗しました

「コンピュータ XXXX でサービス’KonicaMinoltaScanMfpPanelManager’を開始できません。」というメッセージが表示されます

Q18：パネル連携設定画面に表示されない書類ボタンがあります

Q19：「監視対象フォルダー設定」画面で設定したリアルタイム監視フォルダーが動作しません

Q20：タスクトレイに仕分け名人のアイコンが表示されません

A.2 仕分け名人アプリケーションでのエラーメッセージ

A.3 複合機のパネルに表示されるエラーメッセージ

A.1 こんな時には

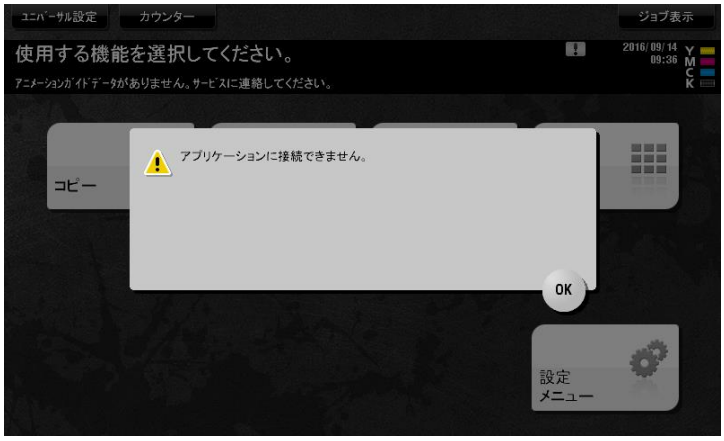
Q1：仕分け名人を再インストールできません

アンインストールに失敗した場合など、LMS サーバーからライセンスを削除できなかった場合には、同じライセンスキーでの再インストールが行えなくなります。新しいライセンスキーの入手が必要になりますので、サービス実施店までご連絡ください。

Q2：複合機のパネルに「リモート操作中です 電源を切断しないでください」と表示されます

複合機に対して、仕分け名人設定アプリケーションを利用してアプリケーションの更新や削除をリモートで行っている場合に表示されます。リモート作業終了後には Top 画面が表示されますので、その後 Top 画面の「APP」ボタンをタッチして、再度パネル操作を行ってください。
この画面が表示される前にパネル操作を行っていた場合は、強制終了されます。

Q3：複合機のパネルに「アプリケーションに接続できません」と表示されます



以下を確認してください。

・複合機がネットワークに接続されていますか？
・仕分け名人をインストールしているコンピュータの電源は ON になっていますか？
・仕分け名人をインストールしているコンピュータはネットワークに接続されていますか？
・仕分け名人をインストールしているコンピュータにて仕分け名人サービスが起動していますか？
・Windows ファイアウォール（または Windows ファイアウォール以外のファイアウォールアプリケーション）の設定で使用するポートが開放されていますか？
・仕分け名人をインストールしているコンピュータの IP アドレス（または DNS ホスト名）と、複合機に登録した IP アドレス（または DNS ホスト名）は一致していますか？

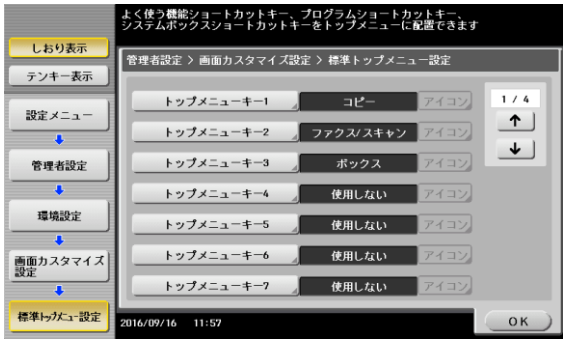
Q4：複合機のパネル上に「APP」ボタンが表示されません

複合機に仕分け名人アプリケーションが登録されていない場合は、「APP」ボタンは表示されません。仕分け名人の「複合機の登録」画面で、複合機に仕分け名人アプリケーションが正しく登録されているか、またアプリケーション名として「APP」が設定されているかを確認してください。
また、複合機の電源投入直後は「APP」ボタンが表示されません。しばらくしてから再度ご確認ください。

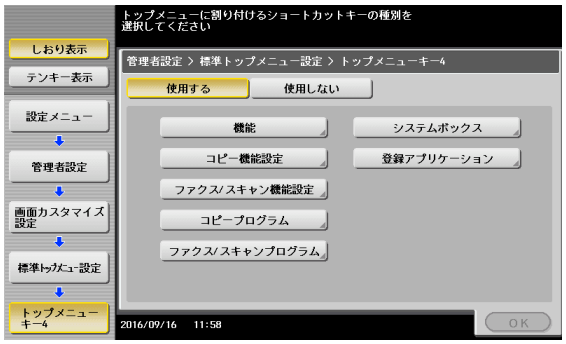
bizhub C754/C654 および bizhub C554/C454/C364/C284/C224 の場合は、管理者設定画面の環境設定で、仕分け名人が登録されていない可能性もあります。

以下の手順で設定してください。

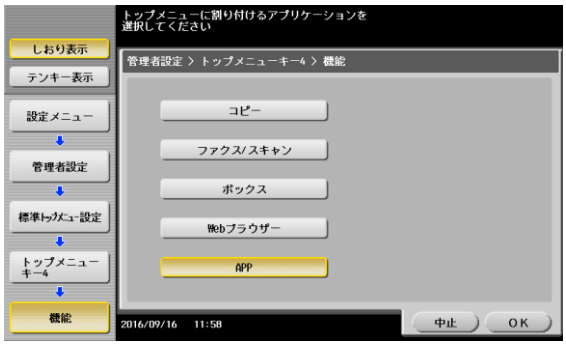
1. 「設定メニュー」→「管理者設定」→「環境設定」→「画面カスタマイズ設定」→「標準トップメニュー設定」で、使用していないトップメニューキーを選択して「OK」ボタンをタッチします。



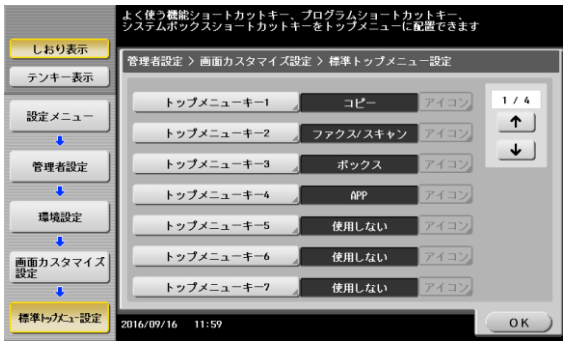
2. 「使用する」ボタンをタッチして「機能」ボタンをタッチします。



3. 「APP」ボタンを選択して「OK」ボタンをタッチします。



4. トップメニューキー4 に、「APP」ボタンが登録されたら OK ボタンをタッチします。



Q5：複合機のパネルの履歴に「エラー消去」と表示されます

複合機から FTP サーバーへのファイル転送に失敗した時は、スキャンジョブ履歴リスト画面に「エラー消去」と表示されます。FTP サーバーの設定をご確認ください。

Q6：仕分け通知受信ログが保存されません

仕分け通知受信ログを保存するには、仕分け名人受信アプリケーションの設定画面で、「受信ログを保存する」にチェックを入れ、「設定」ボタンを選択してください。

Q7：ポップアップ画面が表示されません

ポップアップ画面が表示されない場合は以下の点を確認してください。

1. 仕分け名人受信アプリケーションが起動していることを確認してください。
2. 仕分け名人設定アプリケーションの「通知グループ設定」画面で設定したポート番号と、仕分け名人受信アプリケーションの設定画面で表示されているポート番号が一致していることを確認してください。
3. Windows OS でユーザーの簡易切り替え機能を使用している環境では、同じ受信ポート番号で同時に複数のユーザーが仕分け名人受信アプリケーションを起動すると、2 番目以降に起動された仕分け名人受信アプリケーションのポート番号が自動で変更されます。同時に複数のユーザーで仕分け名人受信アプリケーションを使用する場合は、ユーザーごとに異なるポート番号を設定してください。また、仕分け名人設定アプリケーションの通知グループ設定で、ユーザーごとに通知グループを設定してください。

Q8：ポップアップ画面から仕分け先が表示できません

ポップアップ画面クリック時に仕分け先フォルダーが表示されない場合は、仕分け先フォルダーへのアクセス権がないか、仕分け先フォルダーが存在しません。アクセス権の確認と、仕分け先フォルダーの存在確認を行ってください。

Q9：複合機からのファイル転送に失敗します

複合機からのファイル転送に失敗する場合は、下記の項目を確認してください。

1. 仕分け名人をインストールしているコンピュータにて仕分け名人サービスが起動していますか？
2. 仕分け名人をインストールしているコンピュータの電源は ON になっていますか？
3. 仕分け名人をインストールしているコンピュータはネットワークに接続されていますか？
4. 仕分け名人をインストールしているコンピュータの IP アドレス（または DNS ホスト名）と、複合機がファイル転送先として指定している IP アドレス(または DNS ホスト名)は一致していますか？
5. 仕分け名人をインストールしているコンピュータにて設定したポート番号が、ファイアウォールの設定で開放されていますか？
6. ファイアウォールの例外プログラムとして仕分け名人が登録されていますか？

Q10：ネットワークフォルダーに仕分けが行えません

ネットワーク内の仕分け先フォルダーにファイルが転送されない場合は、以下の項目を確認してください。

1. 仕分け名人サービスが起動していますか？
2. 仕分け先のコンピュータの電源は ON になっていますか？
3. 仕分け先のコンピュータはネットワークに接続されていますか？
4. 仕分け先コンピュータのアドレス、ファイルパス、ユーザー設定は間違っていませんか？
5. 本製品のインストール時に「ネットワークフォルダーを使用する」のチェックを OFF にしてインストールしませんでしたか？

   「ネットワークフォルダーを使用する」のチェックを OFF にしてインストールした場合は、いったんアンインストールし、「ネットワークフォルダーを使用する」のチェックを ON にして再度インストールをしてください。

参考

再インストールせずに手動で設定を変更することも可能ですが、高度なコンピューター知識を必要とします。

手動での設定方法は「B.3 仕分け名人サービスにログオンアカウントを設定する」をご参照ください。

Q11：スキャン実行時、ログ情報一覧画面にログ情報が追加されず、仕分けも行われません

FTP のルートフォルダーとして、ログオンユーザーのマイドキュメントを指定している場合は、マイドキュメントがプライベートに設定されていないか確認してください。設定されていた場合は、仕分け名人メニューバーの「高度な設定」→「システム設定」→「FTP サーバー設定」から、ルートフォルダーの場所をマイドキュメント以外に設定するか、マイドキュメントのプライベートの設定を解除してください。

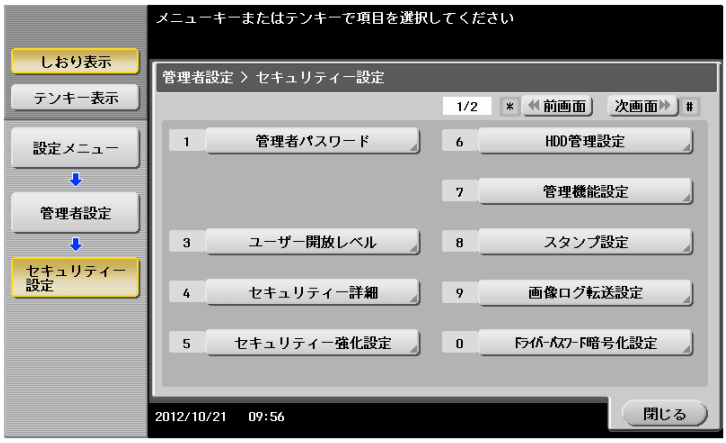
参考

マイドキュメントのプライベートの設定を解除する方法については、マイクロソフトのサポートページを参照してください。

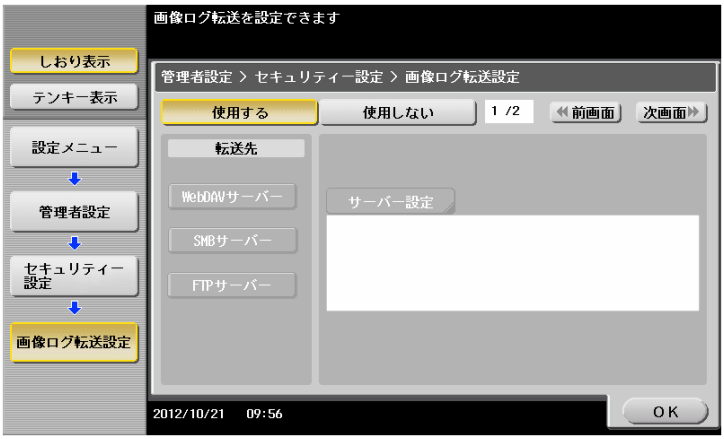
Q12：複合機のパネル上にトラブルコード：C-E002 が表示されます

複合機の「画像ログ転送設定」にて、「使用する」が選択されている場合は、仕分け名人アプリケーションを利用することができません。トラブルコード：C-E002 が表示されることがあります。以下の手順で「画像ログ転送機能」を無効にしてください。

1. 「管理者設定」→「管理者パスワード入力」→「セキュリティー設定」→「画像ログ転送設定」を選択します。



2. 画面上部の「使用しない」ボタンをタッチします。



Q1312：複合機のパネル上に表示されないフォルダーがあります

Windows 上で隠しファイル属性がついたフォルダーは、複合機のパネル上に表示されません。フォルダーのプロパティで隠しファイル属性を解除するか、仕分け名人の設定ファイル（ScanSortSetting.xml）を以下のように修正し、隠しフォルダーを表示する設定にしてください。

ファイルの場所：仕分け名人インストールフォルダーの\Data\ScanSortSetting.xml

変更内容：以下の行の false を、true に書き替えます。

```
<IsDisplayHideFolder>false</IsDisplayHideFolder>
```

修正後、仕分け名人サービスを再起動してください。

Q14：複合機にアプリケーションが登録できません

「仕分け名人アプリケーションの登録に失敗しました。」のメッセージが表示された場合は、下記の内容をご確認ください。

1. 複合機の電源は ON になっていますか？
2. 複合機はネットワークに接続されていますか？
3. 仕分け名人で設定した複合機の IP アドレスが間違っていませんか？

   複合機本体の IP アドレスと、仕分け名人の複合機登録画面で設定した IP アドレスが一致していることを確認ください。
4. 仕分け名人の複合機登録画面で設定した管理者パスワードと、複合機に設定されている管理者パスワードは一致していますか？
5. 登録対象の複合機に、すでに 10 件以上のアプリケーションが登録されていませんか？
6. 複合機で、仕分け名人を使用してスキャン実行中またはスキャンファイル転送中ではありませんか？

   スキャン実行、スキャンファイル転送が終了してから再度アプリケーション登録を実施してください。
7. 複合機のパネルに「リモート操作中です 電源を切断しないでください」が表示されていませんか？
8. 複合機に他のコンピュータから PageScope WebConnection の管理者モードでログインしている場合や、仕分け名人の登録/削除/複合機検索/最新状態取得中操作をしている場合などは「リモート操作中です 電源を切断しないでください」が表示されます。この画面が表示されている間、アプリケーション登録は出来ません。
9. 複合機を管理者モードで使用中ではありませんか？

   複合機を管理者モードで使用中の場合、アプリケーション登録はできません。管理者モードを終了してからアプリケーション登録を実施してください。

Q15：バックアップフォルダーにファイルが移動されません

バックアップフォルダーにファイルが格納されない場合は、以下をご確認ください。

1. 仕分け名人設定アプリケーションの「バックアップ設定」画面で、ネットワークフォルダーのユ

ーザー設定を行っている場合、設定したユーザーにバックアップフォルダーへの書込み権限があることをご確認ください。

2. 「バックアップ設定」画面の「仕分けファイルのバックアップを行う」のチェックが ON になっていることをご確認ください。
3. 本製品のインストール時に「ネットワークフォルダーを使用する」のチェックを OFF にしてインストールした場合は、ネットワークフォルダーへのバックアップは行えません。バックアップ先としてローカルフォルダーを指定するか、ネットワークフォルダーを使用できる設定にしてください。（→「Q10 ネットワークフォルダーに仕分けが行えません」）

Q16：「仕分名人サービスの起動に失敗しました
XXXX で使用しているポート番号(nn)は、他のアプリケーションで使用されています。他のアプリケーションを終了するか、ポート番号を変更してください。」というメッセージが表示されます

仕分け名人アプリケーション（XXXX）で使用するポート番号（nn）が、他のアプリケーションで使用されていないかご確認ください。

→「3.1　PC の設定を確認する」
→「B.5　仕分け名人アプリケーションが使用するポート番号を変更する（仕分け名人）」）

Q17：「仕分名人サービスの起動に失敗しました

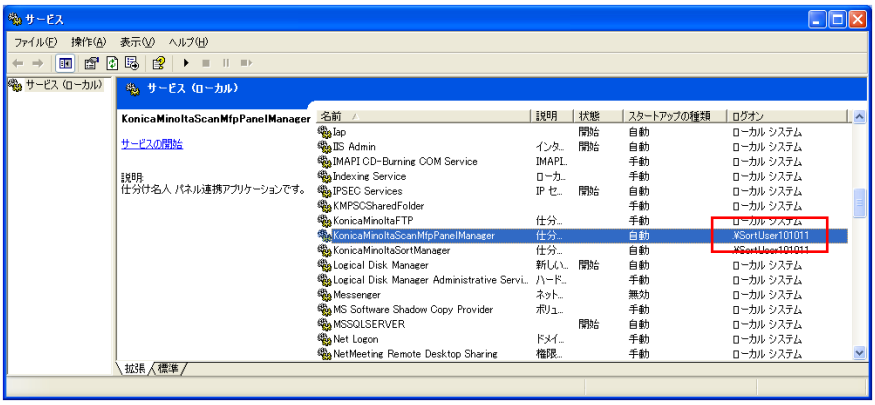
コンピュータ XXXX でサービス’KonicaMinoltaScanMfpPanelManager’を開始できません。」というメッセージが表示されます

以下の 2 つの可能性があります。

①仕分け名人サービスに設定されているアカウント情報が変更された場合

仕分け名人アプリケーションを「ネットワークフォルダーを利用する」設定でインストールした場合、仕分け名人のサービス(KonicaMinoltaScanMfpPanelManager、KonicaMinoltaSortManager)にログオンアカウントが設定されます。このログオンアカウント情報が存在しないか、変更されている場合は、仕分け名人サービスの起動に失敗します。以下の手順で正しく設定が行われているか確認してください。

1. Windows の「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」→「サービス」で「サービス」画面を開きます。



2. サービス名「KonicaMinoltaScanMfpPanelManager」、「KonicaMinoltaSortManager」の「ログオン」欄に設定されているユーザー名を確認します。このユーザーが以下の条件をすべて満たしていることを確認します。
   ・管理者権限（Administrators）であること
   ・パスワードが設定されていること（パスワードが未設定のユーザーは設定できません）
   ・インストールするコンピュータのローカルユーザーであること
   管理者権限が設定されているかどうかの確認方法は、「B.1 管理者権限を持つユーザーの確認」を参照ください。
   新しく仕分け名人サービスに設定するユーザーを作成する場合は、「B.2 仕分け名人サービス用のユーザーを作成する」を参照ください。
   仕分け名人サービスのログオンアカウントを変更する場合は、「B.3. 仕分け名人サービスにログオンアカウントを設定する」を参照ください。

②仕分け名人サービスが使用できない場合

仕分け名人サービスが削除されているか、無効になっている可能性があります。Windows の「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」→「サービス」で「サービス」画面を開き、下記の 34 つの仕分け名人サービスが存在することをご確認してください。
また、「スタートアップの種類」が、KonicaMinoltaFTP は「手動」、KonicaMinoltaScanMfpPanelManager、KonicaMinoltaSortManager の 2 つは「自動」になっていることをご確認ください。

・KonicaMinoltaFTP
・KonicaMinoltaScanMfpPanelManager
・KonicaMinoltaSortManager

上記のサービスが存在しない場合は、インストールガイドを参照してプログラムの修復または再インストールを行ってください。

Q18：書類ボタン設定画面に表示されない書類ボタンがあります

複合機の登録画面で、モノクロスキャナー機として登録した場合、書類ボタン設定画面にはファイル形式が「Jpeg」または「CompactPDF」の書類ボタンは表示されません。

Q19：「フォルダー監視機能」で設定したリアルタイム監視フォルダーが動作しません

スキャン画像が監視フォルダーに保存されたかを、リアルタイムで確認する場合にチェックを入れます。
リアルタイム監視は、Windows OS 上のネットワークフォルダーにのみの対応となり、Linux 等の OS 上のネットワークフォルダーは非対応となります。
Linux 等の OS で動く NAS の中にあるネットワークフォルダーを監視フォルダとして利用される場合、「リアルタイムに監視する」にチェックが入っていると正常に仕分けされない場合がありますので、「リアルタイムに監視する」のチェックは外してご利用ください。

Q20：タスクトレイに仕分け名人のアイコンが表示されません

複合機にアプリケーションを登録可能な環境かどうか（複合機の IP アドレスや SSL 設定が変更されていないか、複合機が管理者モードになっていないか）ご確認後、再度仕分け名人設定アプリケーションを起動してください。詳細については、サービス実施店までお問い合わせください。

A.2 仕分け名人アプリケーションでのエラーメッセージ

仕分け名人アプリケーションで表示される主なエラーメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因と対処方法
アプリケーションは既に起動しています。	設定アプリケーションがすでに起動しています。PC のタスクトレイを確認してください。
仕分け名人サービスの起動に失敗しました。	設定データに誤りがあるため、仕分け名人サービスを起動できませんでした。以下の設定を確認してください。 →「B.1 管理者権限を持つユーザーを確認する（Windows）」 →「B.2 仕分け名人サービス用のユーザーを作成する（Windows）」 →「B.3 仕分け名人サービスにログオンアカウントを設定する」
選択中のリネームルール名は、利用中のため削除できません。	利用中のリネームルールを削除しようとしました。登録されているリネームルールを変更してから、削除してください。
選択したフォルダー名ルールは使用されているため、削除できません。	使用中のフォルダー名ルールを削除しようとしました。登録されているフォルダー名ルールを変更してしてから、削除してください。
選択した通知グループは使用されているため、削除できません。	使用中の通知先グループを削除しようとしました。登録されている通知先グループを変更してから、削除してください。
選択中の書類ボタンは、複合機に登録済みのため削除できません。	複合機に登録されている書類ボタンを削除しようとしました。登録されている書類ボタンを変更してから、削除してください。
選択中の仕分け先は、利用中のため削除できません。	利用中の仕分け先を削除しようとしました。登録されている仕分け先を変更してから、削除してください。
選択中のお知らせ先は、利用中のため削除できません。	利用中のお知らせ先を削除しようとしました。登録されているお知らせ先を変更してから、削除してください。
接続が失敗しました。	ネットワークフォルダー、または FTP フォルダーへの接続に失敗した場合に表示されます。以下の内容をご確認ください。 ・正しい DNS ホスト名が指定されていますか？ ・正しいファイルパスが指定されていますか？ ・正しいポート番号が指定されていますか？ ・正しいアカウント情報が指定されていますか？ また、エクスプローラーでネットワークフォルダーや FTP フォルダーへ接続できるかもご確認ください。
FTP サーバーのルートフォルダーが存在しません。サービスの起動を中止します。	FTP サーバー設定画面の「ルートフォルダー」で設定されたフォルダーが存在しません。存在するフォルダーを再設定してください。 →「5.8 FTP サーバーを設定する」
仕分け名人アプリケーションの登録に失敗しました。	「Q14：複合機にアプリケーションが登録できません」を参照してください。
仕分け名人アプリケーションの削除に失敗しました。	下記の内容をご確認ください。 1. 複合機の電源は ON になっていますか？ 2. 複合機が現在使用中ではありませんか？ 3. 仕分け名人に登録している複合機の管理者パスワードと、実際の複合機の管理者パスワードは一致していますか？ →「4.1.1 複合機を登録する」 4. 複合機の装置アドレス（IP アドレス）や、PC の IP アドレスが変更されていませんか？IP アドレスが変更されていた場合は、アプリケーションの削除ができません。 強制的にアプリケーションを削除したい場合は、「5.13 複合機に登録さ

	れている仕分け名人を削除する」（144 ページ）を参照してください。
仕分け名人サービスの停止に失敗しました。	現在、複合機から仕分け名人アプリケーションを利用している人がいないかご確認ください。 上記以外の場合で、コンピュータを再起動しても状況が改善しない場合は、サービス実施店までお問い合わせください。
データの保存に失敗しました。	設定データの保存に失敗しました。サービス実施店までお問い合わせください。

A.3 複合機のパネルに表示されるエラーメッセージ

複合機のパネルに表示される主なエラーメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因と対処方法
選択したアプリケーションは使用できません。「仕分け名人」設定アプリケーションの「パネル連携設定画面」で AP 登録状態が「登録済み」になっているかご確認ください。	仕分け名人設定アプリケーションで管理している登録情報に存在しないアプリケーションが選択されました。再度アプリケーション登録を行ってください。
指定されたデータが存在しません。「終了」ボタンで一旦アプリケーションを終了し、もう一度操作してください。	表示画面のデータ取得に失敗しました。サービス実施店までお問い合わせください。
未サポートリクエストを受信しました。「終了」ボタンで一旦アプリケーションを終了し、もう一度操作してください。	パネル連携アプリケーションが対応していないリクエストを受信しました。サービス実施店までお問い合わせください。
セッションタイムアウトになりました。「終了」ボタンで一旦アプリケーションを終了し、もう一度操作してください。	現在パネル連携アプリケーションが過負荷となっているか、20 分以上操作がされませんでした。終了ボタンを選択し、再度操作を行ってください。
予期せぬエラーが発生しました。「終了」ボタンで一旦アプリケーションを終了してください。 また、ご使用の「仕分け名人設定アプリケーション」にて仕分け名人サービスを「停止」した後、再度「起動」して、もう一度操作してください。	予期せぬエラーが発生しました。サービス実施店までお問い合わせください。
仕分け先フォルダー(○○○○)が存在しません。仕分け名人設定アプリケーションで仕分け先を再設定してください。	仕分け名人設定アプリケーションにて設定済みの仕分け先フォルダーが存在しません。フォルダーを作成するか、別の仕分け先を設定してください。
選択した仕分け先ディレクトリーが存在しません。もう一度操作してください。	仕分け名人設定アプリケーションにて設定済みの仕分け先フォルダーが存在しません。フォルダーを作成するか、別の仕分け先を設定してください。
仕分け先フォルダー(○○○○)のアクセス権限が無いためアクセスできません。○○○○フォルダーのアクセス権限をご確認ください。	仕分け名人設定アプリケーションにて設定済みの仕分け先フォルダーへのアクセス権がありません。アクセス権を再設定するか、別の仕分け先を指定してください。 「ネットワークフォルダーを使用する」のチェックを OFF にしてインストールした状態で、仕分け先としてネットワークフォルダーを選択すると、このエラーメッセージが表示されます。 仕分け名人からネットワークフォルダーを利用可能にする設定手順については、「Q10：ネットワークフォルダーに仕分けが行えません」を参照ください。

メッセージ	原因と対処方法
仕分け先フォルダー(〇〇〇〇)に接続できません。接続可能かどうかご確認ください。	設定した仕分け先フォルダーに接続できません。 ■仕分け先フォルダーがネットワーク上にある場合 仕分け先フォルダーが存在する PC がネットワークに接続されているかご確認ください。 仕分け先設定画面のユーザー設定でしているユーザーID とパスワードでネットワークフォルダーに接続可能か確認してください。 ■仕分け先フォルダーが FTP の場合 「FTP サーバー設定」画面で設定している設定方法や、ユーザーID・パスワードが正しいかを確認してください。
ファイル転送先アドレスが取得できませんでした。仕分け名人 FTP サーバーの状態をご確認ください。	仕分け先の FTP サーバーに、「FTP サーバー設定」画面で設定している接続方法で接続できるかを確認してください。

付録 B　その他の設定

本付録では、Windows OS、仕分け名人設定アプリケーション、複合機における詳細な設定方法について説明します。仕分け名人の使用中にトラブルが発生した場合や、デフォルトの設定を変更したい場合など、必要に応じてこれらの設定を行ってください。

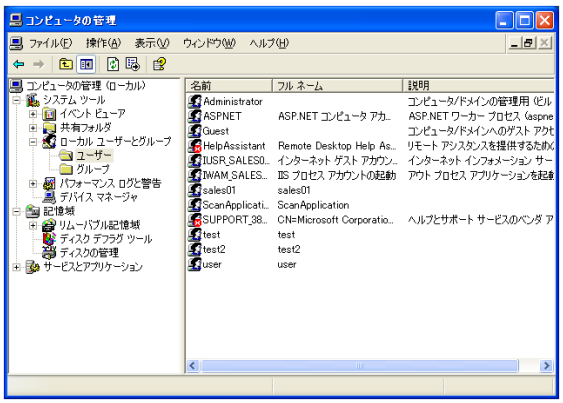
B.1 管理者権限を持つユーザーを確認する（Windows）
B.2 仕分け名人サービス用のユーザーを作成する（Windows）
B.3 仕分け名人サービスにログオンアカウントを設定する（Windows）
B.4 ファイアウォールの設定変更（Windows）
B.5 仕分け名人アプリケーションが使用するポート番号を変更する（仕分け名人）
B.6 宛先確認機能の設定を無効にする（複合機）
B.7 複合機の受信ファクス転送先フォルダーを設定する（複合機）
B.8 仕分け名人サービスの遅延開始を設定する

B.1 管理者権限を持つユーザーを確認する（Windows）

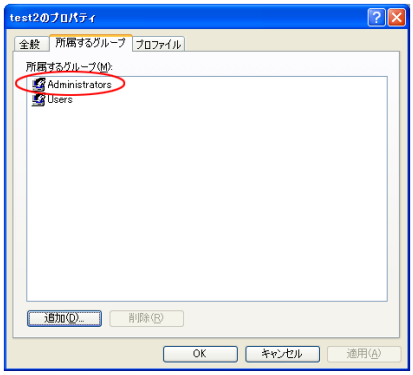
ユーザーが管理者権限を持つかどうかは、以下の手順で確認します。

1. 「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」より、「コンピュータの管理」画面を開きます。
2. 「ローカルユーザーとグループ」→「ユーザー」を選択します。

   コンピュータに登録されているユーザーのユーザー名の一覧が表示されます。



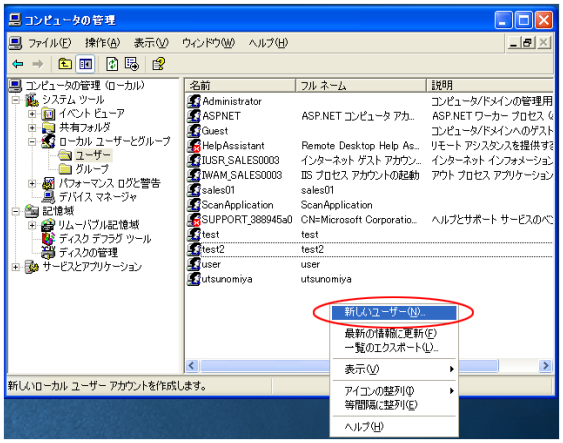
3. ユーザー名をダブルクリックし、プロパティ画面を開きます。次に、プロパティ画面の「所属するグループ」タブをクリックします。
4. ユーザーが所属しているグループ名が表示されます。表示されているグループ内に、「Administrators」があれば、管理者権限を持つユーザーです。



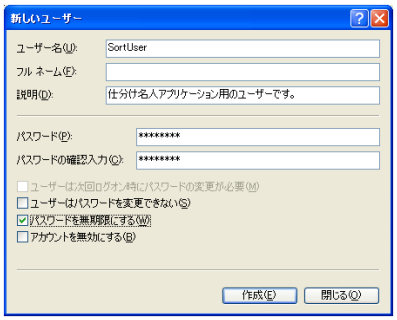
B.2 仕分け名人サービス用のユーザーを作成する（Windows）

以下の手順で、仕分け名人サービスのログオンアカウントとして使用するユーザーを作成します。

1. 「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」より、「コンピュータの管理」画面を開き、「ローカルユーザーとグループ」→「ユーザー」を選択します。
2. 次に、画面右側のスペースで右クリックし、「新しいユーザー」を選択します。



3. 「新しいユーザー」画面が表示されます。以下の項目を入力して、「作成」ボタンをクリックします。



ユーザー名：（任意のユーザー名）

フルネーム：（空欄）

説明：分かりやすい文字列を入力します。

パスワード：（任意の文字列）

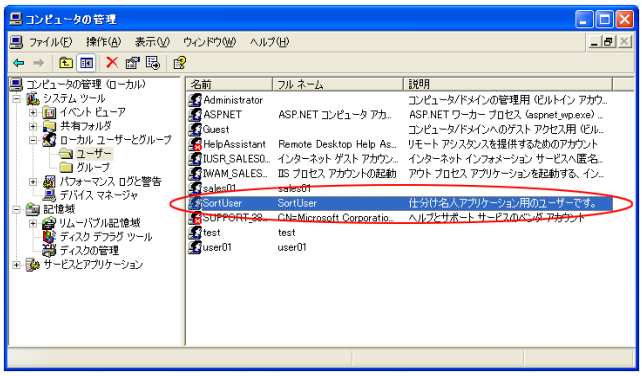
ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要：チェックを OFF にします。

ユーザーはパスワードを変更できない：チェックを OFF にします。

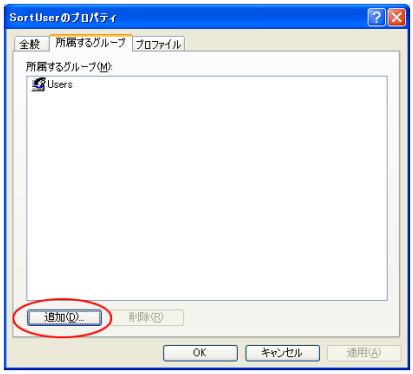
パスワードを無期限にする：チェックを ON にします。

アカウントを無効にする：チェックを OFF にします。

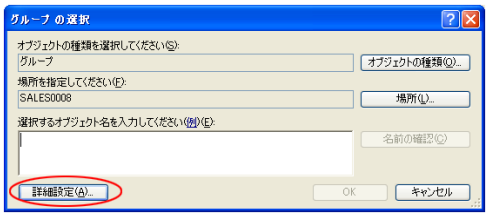
4. 「コンピュータの管理」画面に戻ります。追加したユーザーが表示されていることを確認し、追加したユーザーをダブルクリックします。



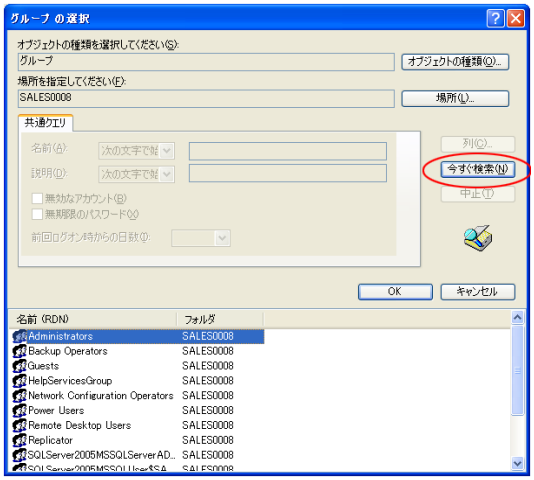
5. ユーザーのプロパティ画面が表示されます。「所属するグループ」タブを選択し、「追加」ボタンをクリックします。



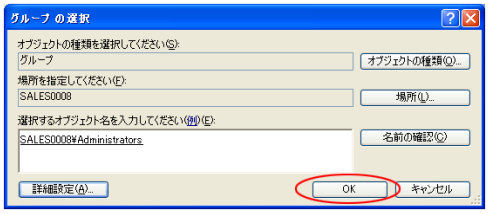
7. 「グループの選択」画面が表示されます。「詳細設定」ボタンをクリックします。



8. 「今すぐ検索」ボタンをクリックし、グループの一覧を表示します。次に「Administrators」を選択し、最後に「OK」ボタンをクリックします。



9. グループ名が表示された状態で「グループの選択」画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックして、画面を閉じます。



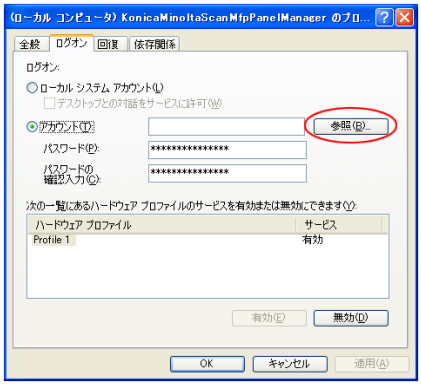
10. 選択したユーザーのグループに、Administrators が付加されていることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。

B.3 仕分け名人サービスにログオンアカウントを設定する（Windows）

以下の手順で、仕分け名人サービス（KonicaMinoltaScanMfpPanelManager および KonicaMinoltaSortManager）にログオンアカウントを設定します。
設定するユーザーは、管理者権限を持ち、パスワードが設定され、ご使用のコンピュータ名と異なるユーザー名である必要があります。

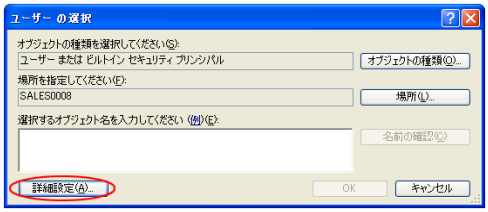
1. 「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」→「サービス」より、「サービス」画面を開きます。

2. 「KonicaMinoltaScanMfpPanelManager」をダブルクリックして表示される「プロパティ」画面で、「ログオン」タブを選択します。
3. 「アカウント」のラジオボタンをクリックした後、「参照」ボタンをクリックします。

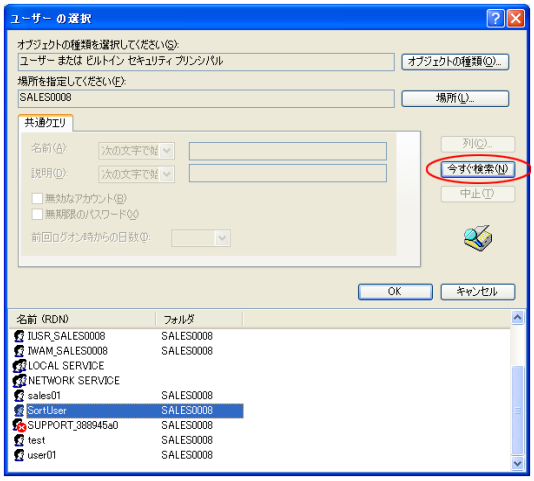


「ユーザーの選択」画面が表示されます。

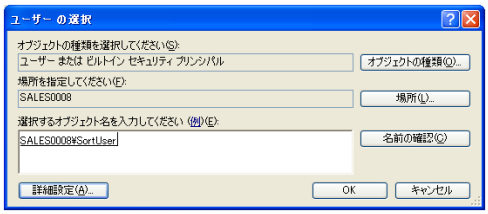
4.　「詳細設定」ボタンをクリックします。



5.　「今すぐ検索」ボタンをクリックし、ユーザーの一覧を表示します。次に、管理者権限を持ち、パスワードが設定されているユーザーを選択し、最後に「OK」ボタンをクリックします。

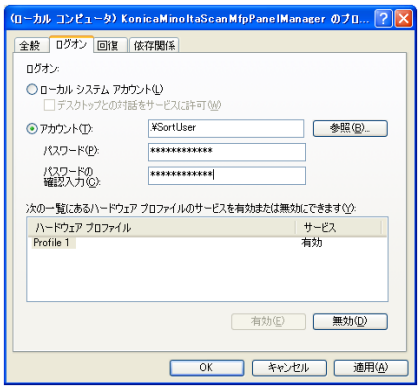


6.　ユーザー名が入力された状態で「ユーザーの選択」画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックして、画面を閉じます。



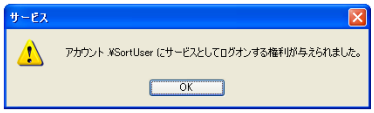
7. アカウント欄が入力された状態で、「プロパティ」画面に戻ります。「パスワード」欄も入力された状態になりますが、一度削除し、選択したアカウントのパスワードを再度入力してください。

入力後、「OK」ボタンをクリックします。



参考

選択したアカウントが、現在まで一度もサービスのログオンアカウントとして設定されていない場合、下記のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックして画面を閉じてください。



8. 続いて「KonicaMinoltaSortManager」を選択し、同様の操作（手順 1.～7.）を行います。

B.4 ファイアウォールの設定変更（Windows）

仕分け名人アプリケーションは、複合機や他のコンピュータと通信を行います。この通信が Windows ファイアウォールでブロックされないよう、Windows ファイアウォールの例外プログラムに以下のプログラムを追加します。

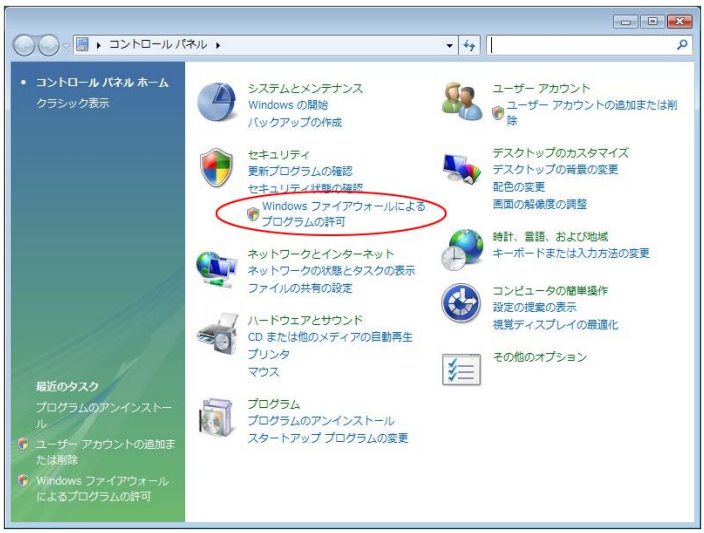
・KonicaMinoltaFTP.exe
・ScanMfpPanelManager.exe
・SortManager.exe

参考

・仕分け名人のインストール時には、上記のプログラムが Windows ファイアウォールの例外プログラムとして自動的に設定されます。インストール時に Windows ファイアウォールの設定に失敗した場合や、その他のファイアウォールアプリケーションをご使用の場合は、手動での設定が必要になります。
・その他のファイアウォールアプリケーションをご使用の場合は、アプリケーションのマニュアルを参照して、上記の 34 プログラムを例外として登録してください。

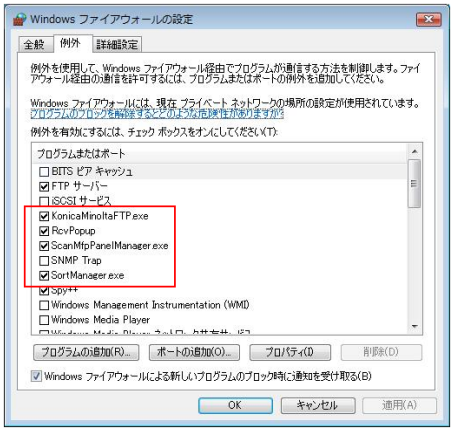
Windows Vista でのファイアウォールの例外設定方法

1. コントロールパネルから、「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」をクリックします。



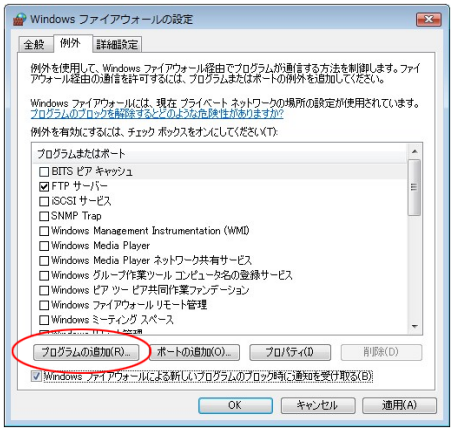
クラシック表示の場合には、「コントロールパネル」→「Windows ファイアウォール」→「設定の変更」を選択します。

2. 例外タブを選択すると、Windows ファイアウォールの例外として設定されているプログラムが表示されます。「プログラムまたはポート」欄に、「KonicaMinoltaFTP.exe」、「ScanMfpPanelManager.exe」、「SortManager.exe」が表示されていることを確認してください。



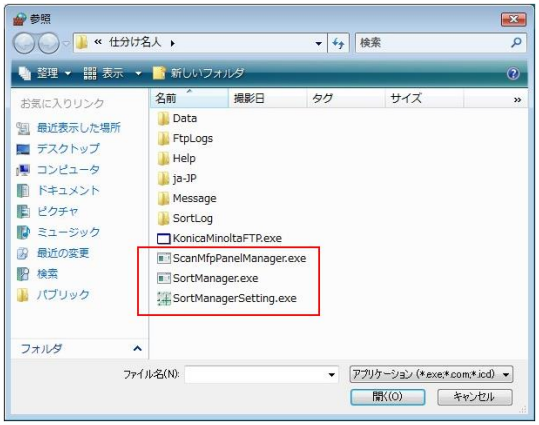
ひとつでも表示されていない項目がある場合は、以下の手順で設定を追加してください。

4.　「プログラムの追加」ボタンをクリックします。



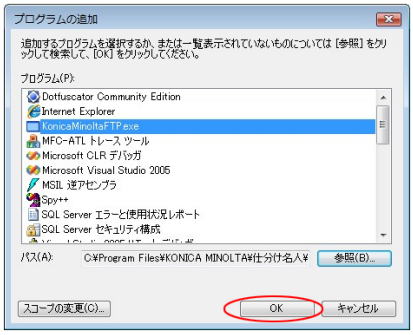
5.　プログラムの一覧が表示されます。仕分け名人アプリケーションは、一覧中には表示されていませんので、「参照」ボタンをクリックします。

6.　参照ダイアログが表示されます。仕分け名人のインストールフォルダーに移動して、KonicaMinoltaFTP.exe、ScanMfpPanelManager.exe、SortManager.exe を表示させます。

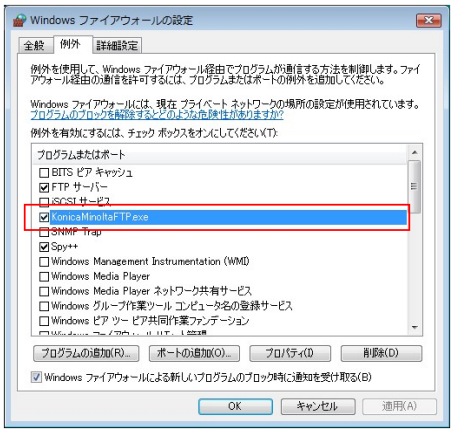


7.　KonicaMinoltaFTP.exe を選択し、「開く」ボタンをクリックします。

8. プログラムの一覧に、KonicaMinoltaFTP.exe が追加されます。「OK」ボタンをクリックします。



9. Windows ファイアウォールの例外として設定されているプログラムに、KonicaMinoltaFTP.exe が追加されます。



10. 以上の手順で、Windows ファイアウォールの例外にプログラムが登録されます。

同様に、ScanMfpPanelManager.exe、SortManager.exe を、ひとつずつ例外プログラムとして追加してください。登録後、「OK」ボタンをクリックして、画面を閉じます。

B.5 仕分け名人アプリケーションが使用するポート番号を変更する（仕分け名人）

仕分け名人アプリケーションでは、複合機との通信に下記ポート番号を使用します。

KonicaMinoltaFTP.exe	ポート番号：21
ScanMfpPanelManager.exe	ポート番号：50002
SortManager.exe	ポート番号：50004

これらのポート番号がすでに使用されている場合、以下の手順で変更してください。

注意

変更したポート番号は、次回仕分け名人サービスを起動した時に有効になります。

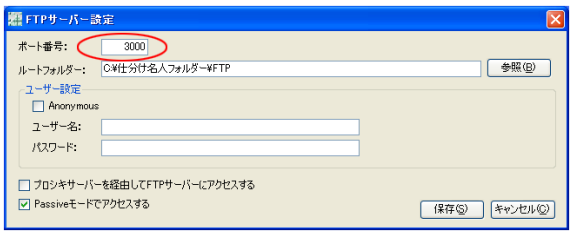
参考

PC で使用されているポート番号を確認する方法については、「第 3 章　準備」の「使用中のポート番号を確認する方法」（5 ページ）を参照してください。

B.5.1 KonicaMinoltaFTP.exe が使用するポート(21)の変更

仕分け名人のメイン画面メイン画面上部にあるメニューバーから「高度な設定」→「システム設定」→「FTP サーバー設定」を選択し、設定値を入力します。

以下はポート番号に「3000」を設定した場合の例です。



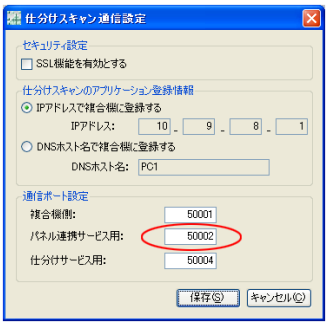
参考

詳細については、「5.8 FTP サーバーを設定する」（138 ページ）を参照ください。

B.5.2 ScanMfpPanelManager.exe が使用するポート(50002)の変更

仕分け名人のメイン画面メイン画面上部にあるメニューバーから「高度な設定」→「仕分けスキャン設定」→「通信設定」を選択し、パネル連携サービス用のポート番号を入力します。

以下はポート番号に「xxxx」を設定した場合の例です。



参考

詳細については、「5.4 通信設定を行う」(133 ページ) を参照ください。

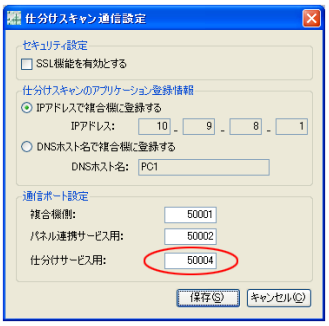
注意

ポート番号を変更する前に、複合機に仕分け名人アプリケーションが登録されていないか確認ください。ポート番号の変更は、複合機へのアプリケーション登録を解除してから行ってください。

B.5.3 SortManager.exe が使用するポート(50004)の変更

仕分け名人のメイン画面メイン画面上部にあるメニューバーから「高度な設定」→「仕分けスキャン設定」→「通信設定」を選択し、仕分けサービス用のポート番号を入力します。

以下はポート番号に「xxxx」を設定した場合の例です。



参考

詳細については、「5.4 通信設定を行う」(133 ページ)を参照ください。

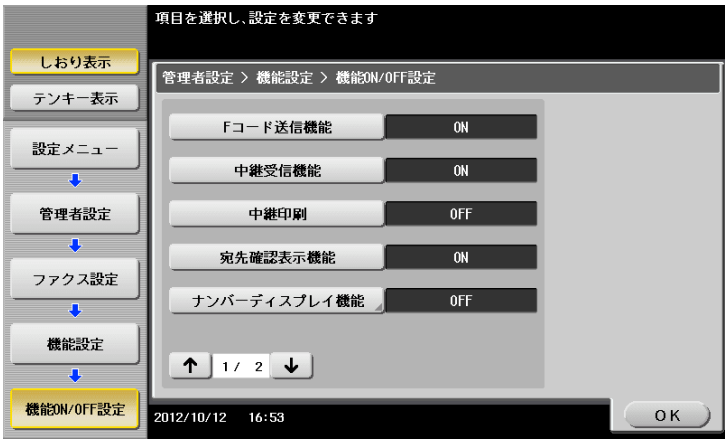
注意

ポート番号を変更する前に、複合機に仕分け名人アプリケーションが登録されていないか確認ください。ポート番号の変更は、複合機へのアプリケーション登録を解除してから行ってください。

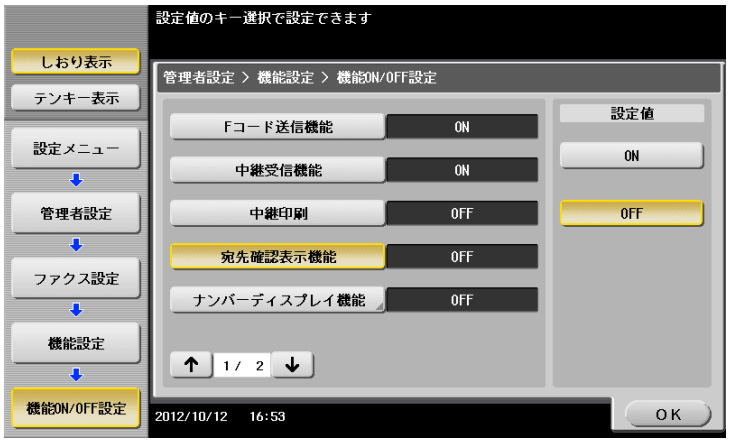
B.6 宛先確認機能の設定を無効にする（複合機）

仕分け名人と複合機の「宛先確認機能」は併用することができません。複合機の「宛先確認機能」が有効になっている場合は、以下の手順で無効にしてください。

1. 「管理者設定」→「管理者パスワード入力」→「ファクス設定」→「機能設定」→「機能 ON/OFF 設定」を選択します。



2. 「宛先確認表示機能」を選択し、「OFF」ボタンを選択した後「OK」ボタンをタッチしてください。



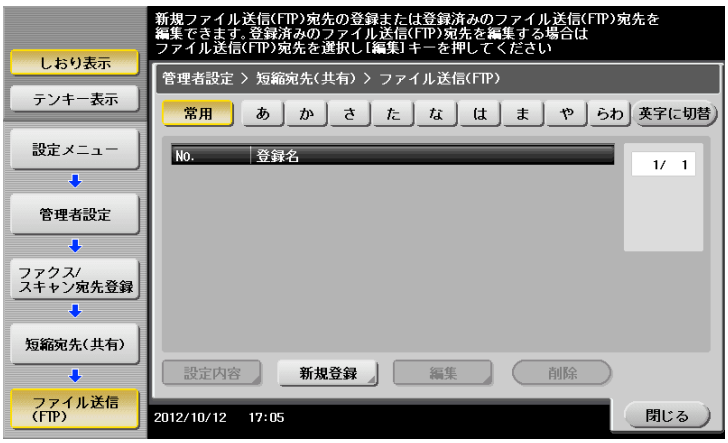
B.7 複合機の受信ファクス転送先フォルダーを設定する（複合機）

仕分け名人の FAX 連携機能を使用するためには、複合機で受信したファクスの転送先フォルダーを指定しておく必要があります。
以下の①～②の手順で、まず宛先を登録し、転送ファクスの設定を行ってください。

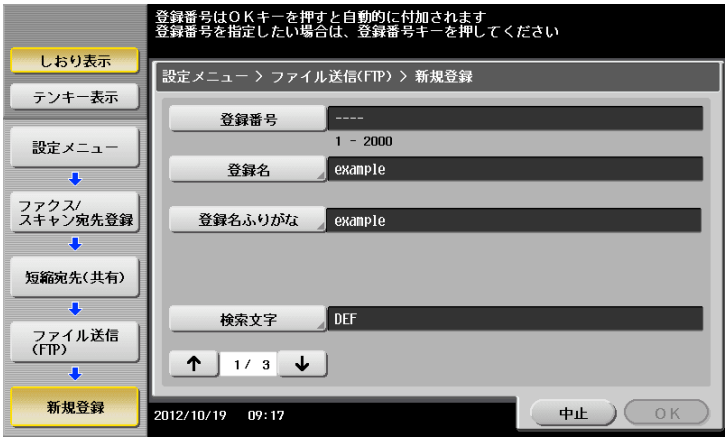
①宛先の登録

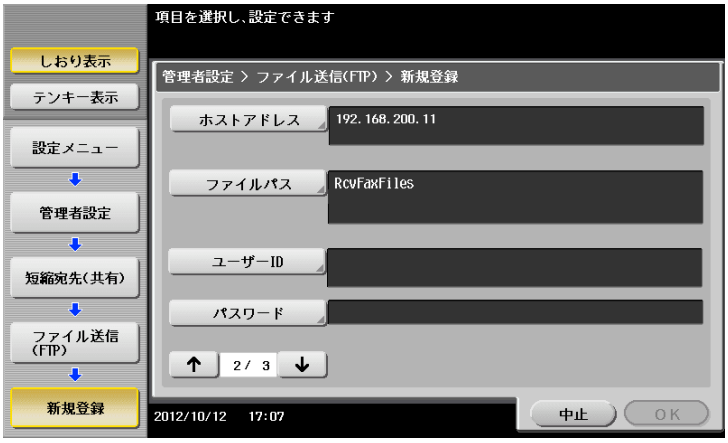
1. 「管理者設定」→「宛先/ボックス登録」→「ファクス/スキャン宛先登録」→「短縮宛先(共有)」→「ファイル送信(FTP)」または「ファイル送信(SMB)」を選択します。

2. 「新規登録」を選択します。（以下は、「ファイル送信(FTP)」の画面で説明しています。）



3. 「登録名」を入力し、「ホストアドレス」「ファイルパス」を続けて入力します。

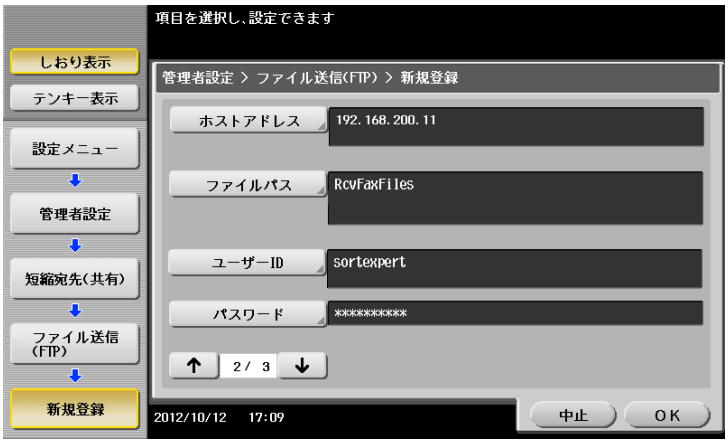




注意

「ホストアドレス」は、通常仕分け名人のインストール PC のアドレスですが、仕分け名人の「FAX 連携転送先設定」画面の転送先フォルダー設定がネットワークフォルダーの場合、他の PC のアドレスとなります。

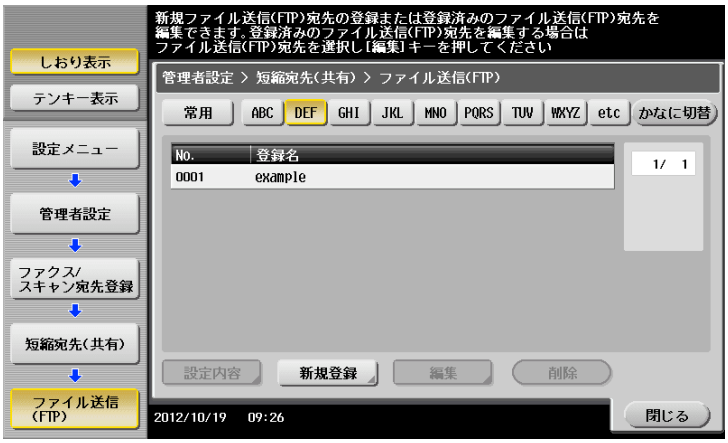
4. 次画面で、FTP のユーザーID/パスワードなどの接続設定を入力して、「OK」ボタンを選択します。



注意

初期状態のユーザー名は「sortexpert」、パスワードは「sortexpert」となっています。必要に応じて適宜ユーザーID／パスワードを変更してください。

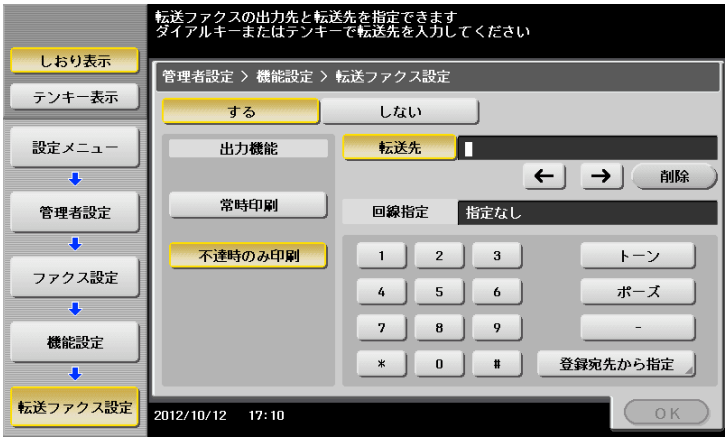
5.　登録したファイル送信の宛先が表示されたことを確認して、「閉じる」ボタンを選択します。



②転送ファクス設定

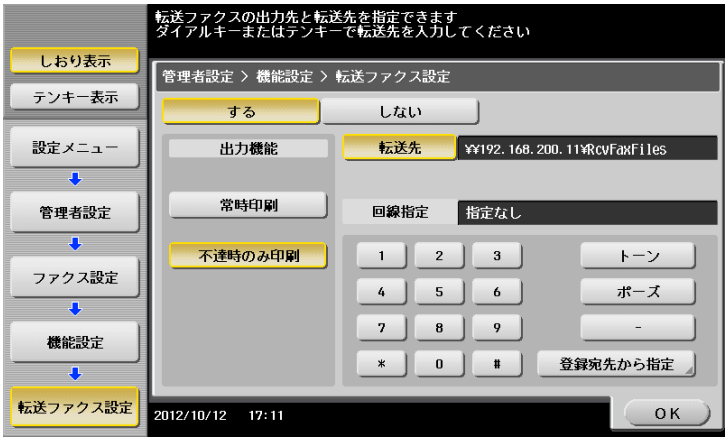
1.　「管理者設定」→「ファクス設定」→「機能設定」→「転送ファクス設定」を選択します。

2.　「転送ファクス設定」画面で、「する」を選択し、「登録宛先から指定」を選択します。



3.　「登録宛先から指定」画面で、①で登録した宛先を選択、「OK」ボタンを選択します。

4.　「転送先」欄に、設定したホストアドレスとパスが表示されます。



5.　「OK」ボタンを選択すると、設定内容が登録されます。

B.8 仕分け名人サービスの遅延開始を設定する

仕分け名人サービスの起動開始時間を設定します。

PC起動時に自動サービス起動に失敗する場合、仕分け名人の起動タイミングを遅延させる目的で設定します。デフォルトの設定は3分間です。

遅延時間などの設定を変更したい場合は、サービス実施店までお問い合わせください。

付録 C　用語集

LMS（License Management System）サーバー

ネットワークを通じてアプリケーションのライセンスを監視するサーバー。
アプリケーションソフトが同時に使用される本数を調べ、利用を許諾されたライセンス数以上にアプリケーションを実行させないようにします。

OpenAPI

公開されているアプリケーション機能。
対応する複合機に搭載されている bizhub Open API により、ネットワーク通信や標準化されたカスタマイズが可能になります。

FTP（File Transfer Protocol）

TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコル。
FTP サーバーを介して、ホスト名（アドレス）・ユーザー名・パスワードなどの情報により、ファイルを転送します。

SMB（Server Message Block）

ネットワーク内のファイル共有やプリンタ共有を実現するプロトコル。
MS-DOS 時代から広く使われているアプリケーションです。

SSL（Secure Socket Layer）

ネットワーク上で情報を暗号化し、機密性の高い情報を安全に送受信するプロトコル。
複合機との連携に SSL を使用する場合は、SSL 用のポート番号が必要になります。

PageScope Web Connection

複合機の詳細設定やステータスの確認を、Web ブラウザ上で行えるユーティリティ。
対応する複合機は、様々な設定を PC 側から簡単に行うことができます。

装置アドレス

複合機の IP アドレス。確認方法については、「3.2 複合機の設定情報を確認する」を参照ください。

CompactPDF

スキャンした画像の PDF サイズを小さくして保存する形式。テキストと画像を分離して、それぞれに最適な圧縮を行うことで PDF サイズを小さくします。
対応する複合機で選択できます。モノクロスキャナー機では選択できません。

書類ボタン

ファイルの仕分け先を、使用目的などに応じて分類します。
複合機のパネル上から書類ボタンを選択することで、仕分け先のフォルダーやリネームルール、保存するファイル形式などの設定で仕分けされます。

部門認証

複合機の BOX にアクセスするための認証方法です。グループ BOX の場合は必ず必要になります。部門認証の設定方法については、お使いの複合機のマニュアルを参照ください。

外部サーバー認証

外部のサーバーを用いてユーザーの認証を行います。対応する外部サーバーの種類は、お使いの複合機のマニュアルを参照ください。

中間サーバー認証（拡張サーバー認証）

コニカミノルタ製のツール（Page Scope Enterprise Suite)を用いてユーザーの認証を行います。詳細については、お使いの複合機のマニュアルを参照ください。

製造・国内総販売元
コニカミノルタジャパン株式会社
〒105-0023 東京都港区芝浦 1-1-1 浜松町ビルディング

© 2016 KONICA MINOLTA JAPAN, INC.

2016.07